

住宅性能診断士 ホームズ君

すまいの

かんたんプレゼン



操作マニュアル

INTEGRAL[®]

株式会社インテグラル

《目次》

システムの概要.....	1	3-3-10 ポーチ柱.....	41
連携可能なファイル形式、ソフト.....	2	3-3-11 犬走り.....	41
マニュアル一覧.....	3	2-3-12 ウッドデッキ.....	42
起動ライセンスの選択.....	4	3-3-13 アプローチ・地面装飾.....	42
操作画面の各部名称.....	5	3-3-14 内装外構 編集.....	42
【メインメニュー】の各部名称.....	5	3-4 3Dパーツの入力.....	43
【CAD入力画面】の各部名称.....	6	3-4-1 3Dパーツ.....	44
【3Dビュー画面】の各部名称.....	8	3-4-2 自由パーツ作成.....	45
1. メインメニュー.....	9	3-4-3 パーツ編集.....	46
1-1 新規作成、開く、保存.....	9	4. 3Dビュー.....	47
1-2 建物概要.....	9	4-1 表示設定.....	48
1-3 プラン選択.....	9	4-1-1 整列.....	48
1-4 データ連携・読込.....	10	4-1-2 表示設定.....	48
■データ連携(すまいのかんたんプレゼン ⇒ ホームズ君他ソフト)	10	4-1-3 影設定、日当り.....	49
■データ読込(ホームズ君他ソフト ⇒ すまいのかんたんプレゼン)	10	4-1-4 画角.....	50
	11	4-1-5 視点高さ.....	50
	11	4-1-6 視点操作と画角.....	51
2. 下絵読込.....	12	4-2 視点操作.....	52
2-1 概要.....	12	4-2-1 視点操作【CAD入力画面】.....	52
2-2 各操作.....	12	4-2-2 視点操作【3Dビュー画面】.....	52
3. CAD入力.....	16	4-3 ビューモード.....	53
3-1 敷地・隣棟の入力.....	16	4-3-1 外観.....	53
3-1-1 敷地(自宅・隣地).....	17	4-3-2 透過.....	53
3-1-2 地盤高さ.....	18	4-3-3 鳥瞰.....	53
3-1-3 隣棟.....	19	4-3-4 内観.....	54
3-2 自宅の入力.....	20	4-3-5 ウォークスルー.....	55
3-2-1 壁.....	21	4-3-6 眺望.....	59
3-2-2 開口部.....	24	4-4 テクスチャ設定.....	60
3-2-3 開口高さ.....	25	4-5 パーツ編集.....	62
3-2-4 開口タイプ.....	25	4-6 前景.....	64
3-2-5 特殊窓.....	26	4-7 視点保存.....	64
3-2-6 部屋名称・背景色.....	28	4-8 背景・パノラマ設定.....	65
3-2-7 階段.....	29	4-8-1 背景設定.....	65
3-2-8 バルコニー.....	31	4-8-2 パノラマ設定.....	66
3-2-9 屋根.....	32	5. クイック判定.....	69
3-2-10 太陽光パネル.....	33	5-1 耐震性能.....	69
3-2-11 網掛け.....	34	5-2 断熱性能.....	70
3-2-12 LINE(線分)入力.....	34	6. 日当り.....	71
3-2-13 自宅移動.....	35	6-1 日影.....	71
3-3 内装・外構の入力.....	36	6-2 日当り.....	72
3-3-1 土間床.....	37	6-3 日当り断面.....	73
3-3-2 上り框.....	37	6-4 すまいの敷地・日当りレポート.....	74
3-3-3 玄関ドア.....	38	7. シミュレーション.....	75
3-3-4 内部開口部 建具仕様、外部開口部 付属部材.....	38	7-1 概算室温.....	75
3-3-6 天井.....	39	7-2 概算ZEH.....	76
3-3-7 梁/垂木(あらわし).....	40	7-3 光熱費.....	76
3-3-8 柱.....	40	7-4 通風.....	77
3-3-9 ポーチ床.....	41	8. 印刷.....	78



システムの概要

ホームズ君「すまいのかんたんプレゼン」(以下、本システム)は、家づくりの初期設計と営業を支援するプレゼンテーションソフトです。

2次元CADの直感的な操作で、軽快、かつリアルに訴求力のある3Dパースが作成できます。建設地の周辺状況も入力でき、施主と具体的なイメージの共有が行えます。

さらに、日影・日当り・通風のシミュレーション、および、耐震性・省エネ性・快適性に対するクイック判定も簡単に行えます。

また、ホームズ君他シリーズのデータ読み込み、および本システムから他シリーズへのデータ連携が行えます。

■適用範囲

- ・3階建てまで
- ・スキップフロア、地下室は入力不可
- ・モジュール幅・・・400mm～3000mm

■3Dパース作成

- ・イメージ確認(外観、透過、鳥瞰、4面、内観、ウォークスルー、眺望)
- ・テクスチャ貼付け
- ・印刷(建物3次元CG)

■平面図・立面図作成

- ・印刷(間取り図、立面図、3Dビュー水平投影、3Dビュー外観パース)
- ・DXF出力

■シミュレーション

- ・日影、日当り、窓への日当り確認、軒の出シミュレーション、通風

■クイック判定

- ・耐震等級 品確法壁量計算(概算)/床倍率(概算)/耐震等級判定
対象の構法:木造軸組構法
- ・断熱性能判定 UA値(概算)
対象の構法:木造軸組構法、枠組壁工法
- ・室温
- ・ZEH
- ・光熱費

ご注意

※クイック判定は簡易的なものです。詳細な検討はホームズ君「構造EX」、「省エネ診断エキスパート」で行ってください。
※確認申請や評価機関への申請に、クイック判定の結果はお使いいただけません。

■必要なシステム構成

▼パソコン本体 : 下記の要件(OS、ディスプレイ、ハードディスク、メモリ、インターフェース、ビデオカード)を全て満たすコンピュータ

【注意事項】次の環境には対応していません(動作保証外です)

- ・Apple Mac
- ・仮想マシン(VMware、VirtualBox、Hyper-V、Parallels、VDIやDaaS等のデスクトップ仮想化)
- ・自作パソコン
- ・Arm版 Windows OS

▼OS : Microsoft Windows 11 (64ビット版)※1

Microsoft Windows 10 (64/32ビット版)※1 ※2

※1 下記のフォルダ(下記フォルダ以下の全フォルダ)においては、ホームズ君製品のインストールや実行は行えません。(動作保証外)

[Program Files]、[Program Files (x86)]、[Program Files (Arm)]、[ProgramData]、[Windows]

※2 Windows10へのホームズ君製品の対応は、Microsoftによるサポート(無償)の終了日(2025年10月14日)まで。

また、Microsoftのサポートが終了しているWindows10のバージョンについては、ホームズ君製品の動作保証の対象外。Windows10のサポート対象バージョンについては下記サイトでご確認ください。

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/lifecycle/products/windows-10-home-and-pro>

【注意事項】

- ・Windowsのタブレットモードには対応していません(動作保証外です)
- ・このページの内容は、ホームズ君製品の最新バージョンにおける動作要件です。バージョンによっては、各OSでの動作を保証していないものがございます。詳細は、以下のページをご確認ください。

・「Windows 11 対応状況について」 <https://www.homeskun-f.com/support/win11.html>

・「Windows 10 対応状況について」 <https://www.homeskun-f.com/support/win10.html>

▼ディスプレイ : 解像度1024×768ピクセル以上

▼ハードディスク : 本プログラム専用の領域として3GB以上 (ユーザー作成データ用の領域は除く)

▼メモリ : 上記OSの推奨値以上

▼インターフェース : USB2.0以上に対応したUSBポートが1つ以上搭載されていること
(USB認証キーの接続にUSBポートが1つ必要となります)

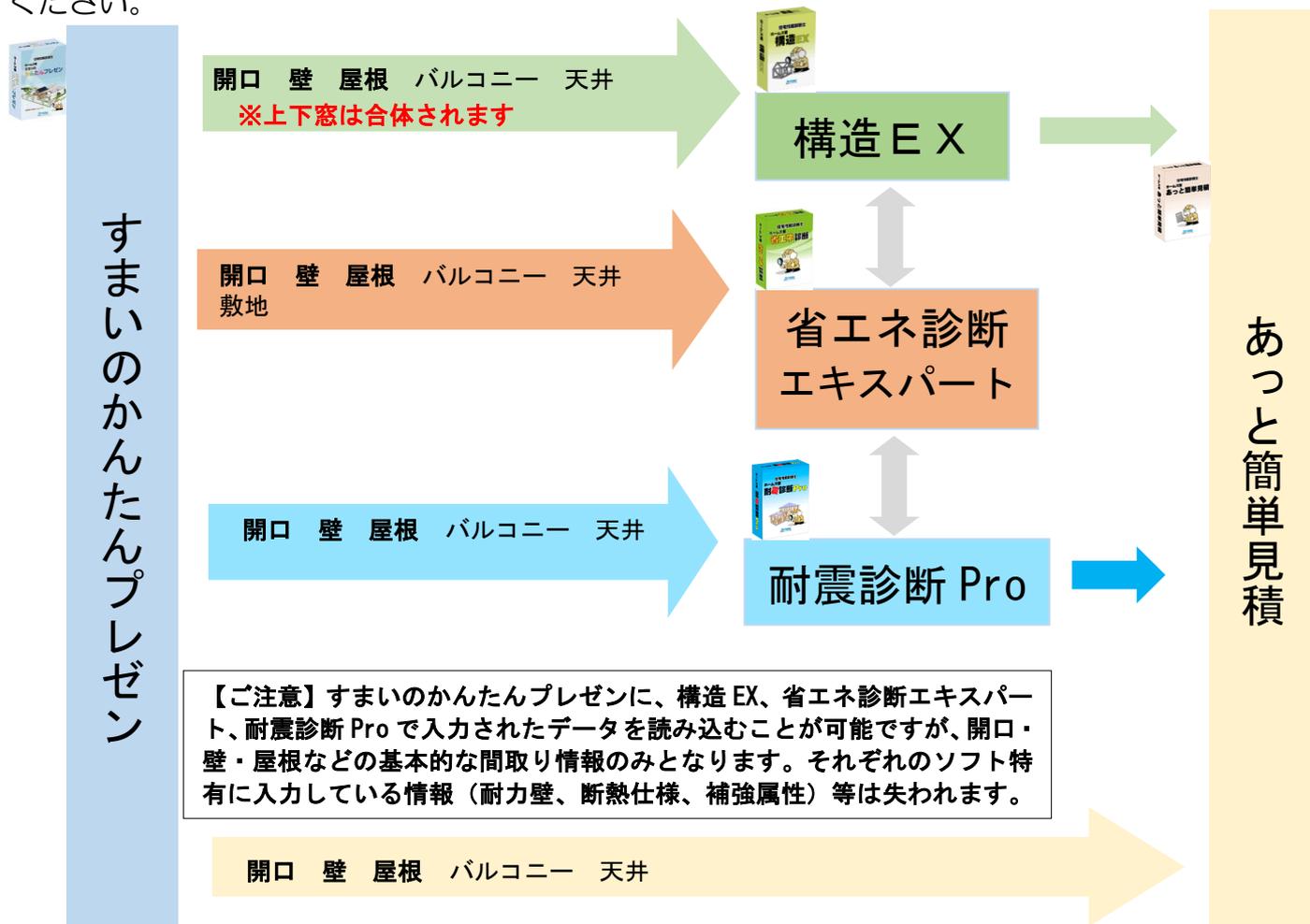
▼ビデオカード : メーカーおよびバージョンによっては、一部3Dビュー画面での操作が行えない場合があります。

連携可能なファイル形式、ソフト

- ホームズ君シリーズが対応しているファイル形式、ソフトは以下のとおりです。
- 対応に関する仕様の詳細については、各ソフトのマニュアルをご覧ください。

ファイル形式・ソフトウェア	機能	すまいの かんたん プレゼン	構造 EX	耐震診断 Pro	省エネ診断 エキスパート	あっと 簡単見積
DXF	下絵表示	○	○	○	○	○
	読込(壁)	○	×	×	×	×
	出力(平面)	○	○	○	○	×
	出力(立面)	○	○	○	-	×
JWW	下絵表示	○	○	×	×	×
	読込(壁)	○	×	×	×	×
	出力(平面)	×	○	×	×	×
	出力(立面)	×	○	×	-	×
CEDXM	読込	○	○	○	○	○
	出力	○	○	○	○	○
マイホームデザイナー	読込	○	○	○	○	×
	出力	○	○	○	○	×
ホームズ君	すまいのかんたんプレゼン	読込・連動	○	○	○	○
	構造 EX		○	○	○	○
	耐震診断 Pro		○	○	○	○
	省エネ診断エキスパート		○	×	×	×
	あっと簡単見積		×	×	×	×

- 「すまいのかんたんプレゼン」から「構造 EX」「耐震診断 Pro」「省エネ診断エキスパート」「あっと簡単見積」への連動、その逆向きの連動方法においては「1-4 データ連携・読込」を参照ください。



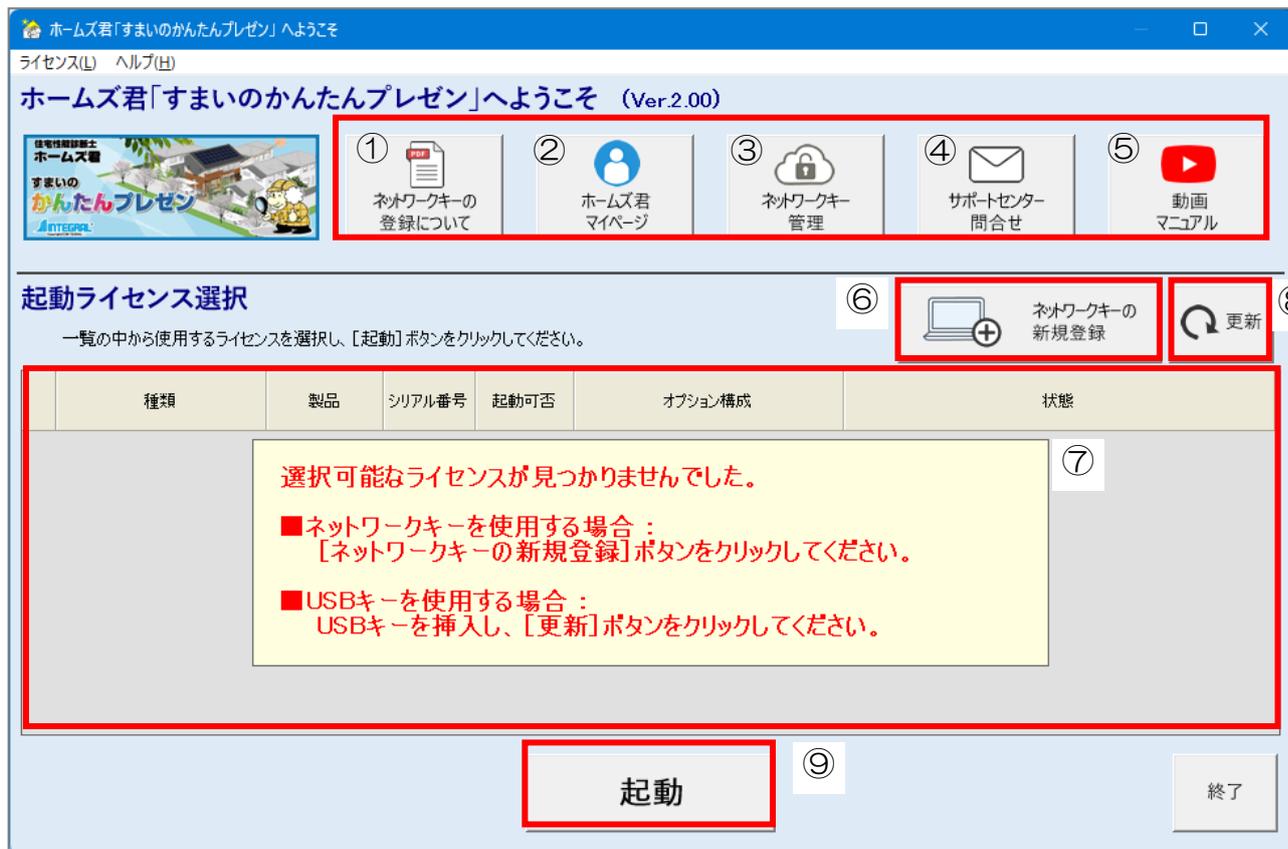
マニュアル一覧

- ・ホームズ君「すまいのかんたんプレゼン」には下記の 11 種類のマニュアルがあります。
- ・①～⑫の全てのマニュアルは  PDF ファイルで提供しています。

<p>①操作マニュアル</p>  <p>現在ご覧いただいているマニュアルです。 ホームズ君「すまいのかんたんプレゼン」の主な機能、及び操作方法を解説します。</p>	<p>⑦事例集（屋根入力）</p>  <p>屋根の入力方法について実例を通して解説します。</p>
<p>②操作マニュアル（3D パーツ登録編）</p>  <p>3D パーツ登録、編集機能の詳細について解説します。</p>	<p>⑧よくわかる品確法壁量計算</p>  <p>品確法による壁量計算について解説します。</p>
<p>③クイックリファレンス（基本編）</p>  <p>基本の手順を A3 用紙サイズ 1 枚にまとめたガイドです。</p>	<p>⑨よくわかる床倍率</p>  <p>床倍率について解説します。</p>
<p>④クイックリファレンス（3D パーツ登録・編集）</p>  <p>3D パーツ登録・編集の手順を A3 用紙サイズ 1 枚にまとめたガイドです。</p>	<p>⑩よくわかる H28 省エネ</p>  <p>平成 28 年省エネ基準について解説します。</p>
<p>⑤事例集（敷地・隣棟）</p>  <p>敷地および隣棟の入力方法について実例を通して解説します。</p>	<p>⑪よくわかる ZEH</p>  <p>ZEH について解説します。</p>
<p>⑥事例集（自由パーツ作成）</p>  <p>自由パーツの作成方法について実例を通して解説します。</p>	<p>⑫よくわかる一次エネルギー消費量</p>  <p>一次エネルギー消費量について解説します。</p>

起動ライセンスの選択

ホームズ君「すまいのかんたんプレゼン」を起動すると、起動ライセンスの選択画面が表示されます。



- ① ネットワークキーで使用する場合の登録方法を表示します。
- ② マイページを表示します。
(マイページでは、インストール用プログラムのダウンロード、ネットワークキーの管理、安心フォーラム会員専用の動画視聴などが行えます。)
- ③ マイページのネットワーク管理画面を表示します。
(ネットワークキーを登録した PC の変更などが行えます。)
- ④ サポートセンターのメール問合せフォームを表示します。
- ⑤ ホームズ君製品の操作マニュアルやセミナー動画の Web ページを表示します。
- ⑥ ホームズ君をネットワークキーで起動するための「シリアル番号」および「ネットワークキー用登録コード」を入力します。
- ⑦ ネットワークキーの登録が完了している場合、または USB キーを PC に挿入している場合、そのライセンス情報（製品名やシリアル番号、オプション構成）が表示されます。
起動したいライセンスを選択して起動します。
- ⑧ 「起動ライセンス選択」画面の更新を行います。
主に以下の場合にお使いください。
 - ・USB キーを挿入せずに起動してしまった場合
 - ・別の PC で使用中のネットワークキーを強制終了し、現在の PC で使用する場合
- ⑨ ⑦ で選択したライセンスでホームズ君を起動します。

操作画面の各部名称

【メインメニュー】の各部名称

▼開く
保存した物件データを読み込みます。

▼新規作成
新規に物件データを作成します。

▼保存
物件データを保存します。

▼使用したデータの履歴
以前使用した任意の物件データを選択して開くことができます。

▼3D パーツ登録
任意の3D パーツを追加登録、編集を行います。

■3D パーツ登録の詳細は、「操作マニュアル (3D パーツ登録編)」をご参照下さい。

▼動画マニュアル
本製品のマニュアルの一覧を表示します。

▼建物概要
建物概要画面を開きます。
詳細については「1-2 建物概要」をご参照ください。

▼CAD 入力
【CAD 入力画面】を開きます。
詳細については、3. CAD 入力」をご参照下さい。

▼下絵読込
【下絵読込】を開きます。
詳細については、2. 下絵読込」をご参照下さい。

▼3D ビュー
【3D ビュー画面】を開きます。
詳細については「4. 3D ビュー」をご参照ください。

▼データ連携
ホームズ君シリーズ各ソフトとのデータ連携を行います。

▼シミュレーション
各種シミュレーションの画面を開きます。
詳細については「7. シミュレーション」をご参照ください。

▼クイック判定
「耐震性能」「断熱性能」クイック判定の画面を開きます。
詳細については「5. クイック判定」をご参照ください。

▼日当り
日当り検討に関する画面を開きます。
詳細については「6. 日当り」をご参照ください。

【CAD入力画面】の各部名称

▼3D パーツ登録

任意の3D パーツを追加登録、編集を行います。

▼3D ビュー

【3D ビュー画面】を表示します。

■3D パーツ登録の詳細は、「操作マニュアル(3D パーツ登録編)」をご参照下さい。

▼下絵読込

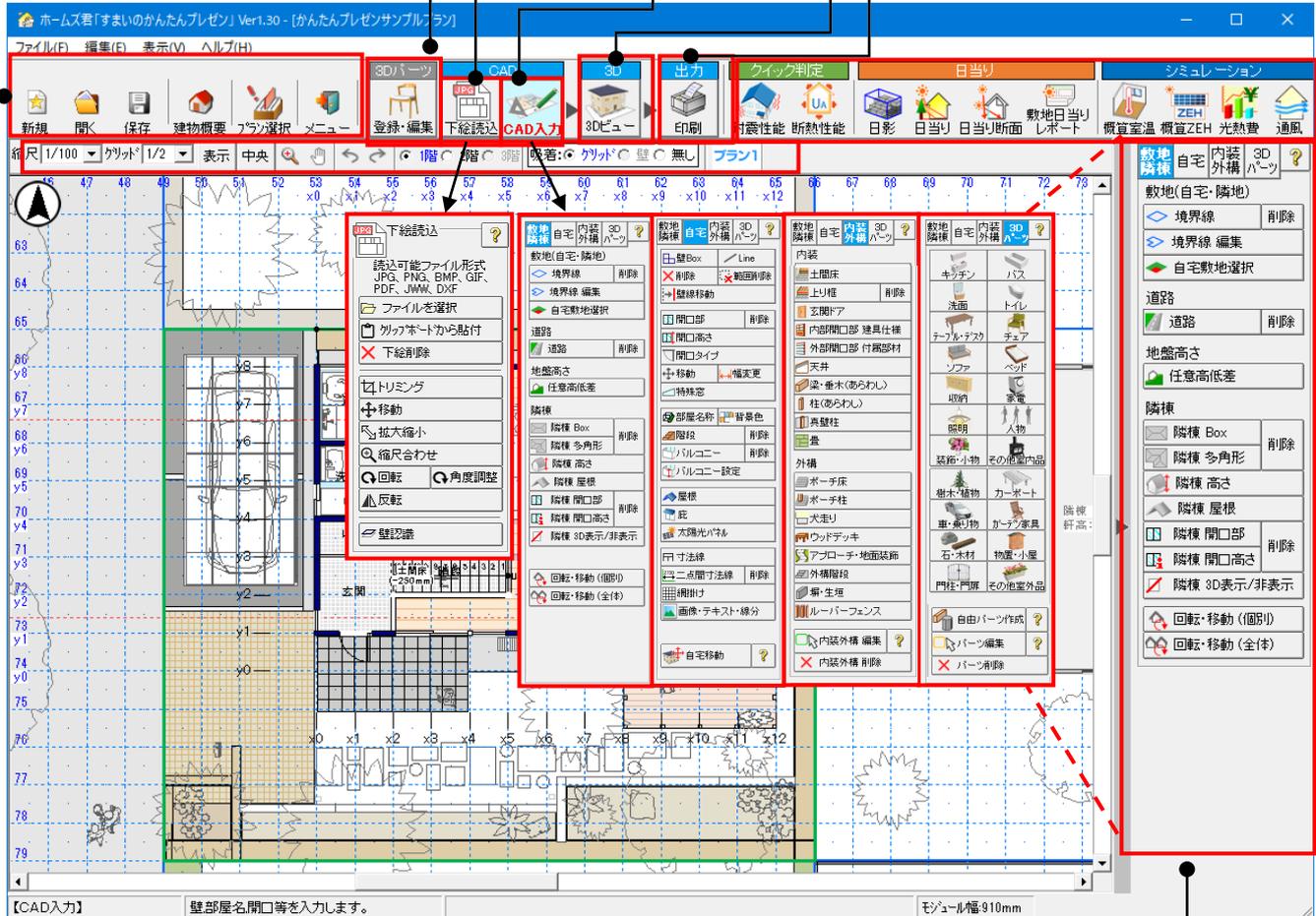
下絵の読込と編集を行います。

▼CAD 入力

敷地や自宅の敷地や自宅の敷地を入力を行います。

▼印刷

平面図、立面図を印刷します。



▼【敷地隣棟】 / 【自宅】 / 【内装外構】 / 【3D パーツ】

【CAD 入力画面】で入力する各種設定項目およびパーツのメニューです。

▼ツールバー (上段)

- 新規物件データ作成
- 物件データを開く
- 物件データを保存
- 建物概要を表示
- 表示する物件プランの選択
- メインメニューを表示
- 3D パーツの新規登録・編集 ※詳細は、「操作マニュアル(3D パーツ登録編)」を参照

▼ツールバー (下段)

- 【CAD 入力画面】の縮尺切り替え
- グリッドの分割幅切り替え
- 【CAD 入力画面】に表示するパーツの設定
- 拡大
- CAD 図面をドラッグで移動
- 元に戻す
- やり直す
- 表示階の切り替え
- パーツの吸着モード切り替え
- 選択中の物件プラン名

▼シミュレーション・クイック判定

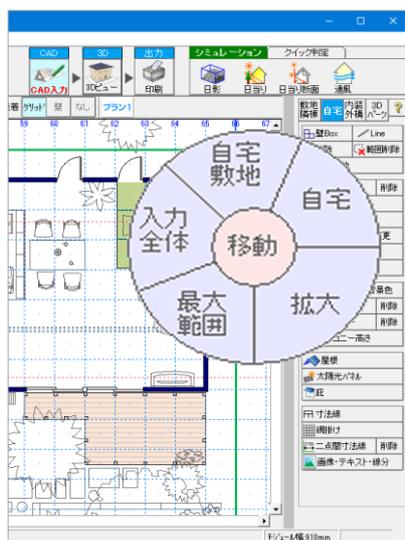
- 日影シミュレーション
- 日当りシミュレーション
- 日当り断面シミュレーション
- 通風シミュレーション
- すまいの敷地・日当りレポート
- 耐震性能判定
- 断熱性能判定
- 概算室温判定
- 概算 ZEH 判定
- 光熱費判定

吸着モード

パーツを配置する際の位置決めにおいて、吸着モードを「グリッド」「壁」「なし」から選択できます。

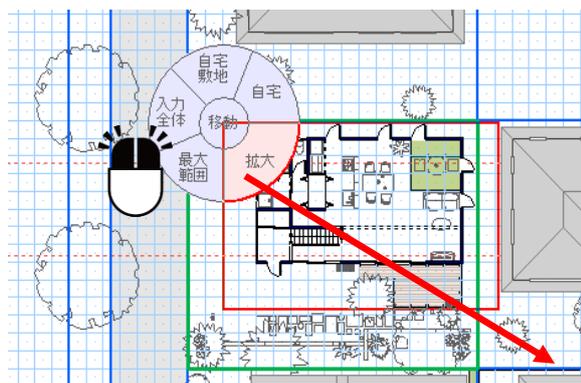
クイック縮尺変更メニュー

【CAD 入力画面】上で、マウスの左右のボタンを同時にクリックすると、「クイック縮尺変更メニュー」（下図）が表示されます。クリックしたままドラッグでメニューを選択し、マウスのボタンを離して操作を決定します。

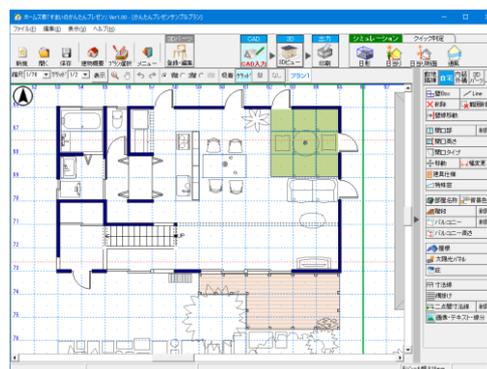


- 移動 : メニューが表示されている地点が画面の中央に移動します。
- 拡大 : Box 選択した範囲が画面全体に表示されるように縮尺と表示位置が変化します。
- 自宅 : 自宅の建物が画面全体に表示されるように縮尺と表示位置が変化します。
- 自宅敷地 : 自宅の敷地が画面全体に表示されるように縮尺と表示位置が変化します。
- 入力全体 : 入力したすべてのパーツが画面に表示されるように縮尺と表示位置が変化します。
- 最大範囲 : 縮尺が最小の 1/500 になり、自宅が画面の中心に表示されるように表示位置が移動します。

(拡大の例)



マウスの両ボタンを押したまま右下方向にドラッグして Box 選択します。



選択範囲が画面全体に拡大表示されます。

1. メインメニュー

1-1 新規作成、開く、保存



■新規作成

- 建物データを新規作成します。
- 未保存のデータを開いている場合は、保存の要否を確認します。
- 「1-2 建物概要」画面が自動的に表示されます。

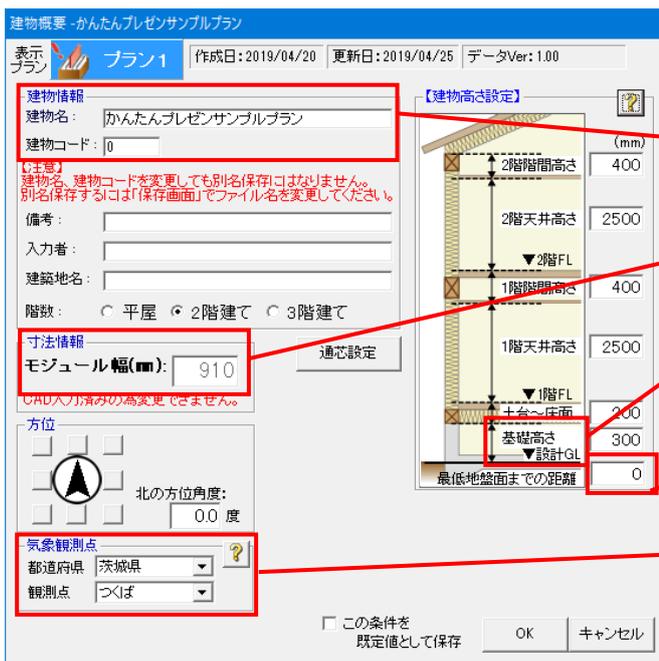
■開く

- 「建物データ読み込み」ウィンドウが表示されます。
- 初期表示フォルダは、「すまいのかんたんプレゼン」のデータフォルダです。(C:\homesPresen\Data)
- フォルダ内のデータが一覧表示されるので、開きたいデータを選択し「OK」をクリックします。

■保存

- 保存先確認画面が表示されます。

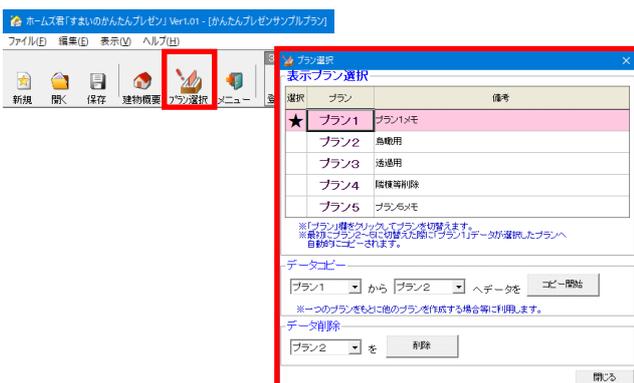
1-2 建物概要



■建物概要の設定

- 建物の概要情報を入力します。
- 「建物名」、「建物コード」は必須入力です
⇒保存されるファイル名の初期値になります。
- 「モジュール幅」は、壁が入力されると変更できなくなりますので、ご注意ください。
- 「基礎高さ」
⇒設計 GL から基礎梁天端までの高さ
- 「設計 GL」
⇒建物の高さの基準となるレベル
- 最低地盤面までの距離
⇒設計 GL から建物が接する最低の地盤面までの距離を設定します。
- 「気象観測点」
⇒太陽高度を計算するにあたって、選択された気象観測点の緯度・経度を用います。

1-3 プラン選択



■プラン選択

- プランは1物件データにつき5つまで作成できます。
- 各プランはホームズ君シリーズの各ソフトとのデータ連携時、任意のプランに反映させることができます。

1-4 データ連携・読込

- ・すまいのかんたんプレゼンで作成した物件データ（HKP ファイル）から、各ホームズ君データへの変換ができます。また、各ホームズ君データからすまいのかんたんプレゼンデータへの変換（読込）もできます。
- ・変換されるのは開口・壁・屋根などの基本的な間取り情報のみです。詳細は「連携可能なファイル形式、ソフト」を参照ください。

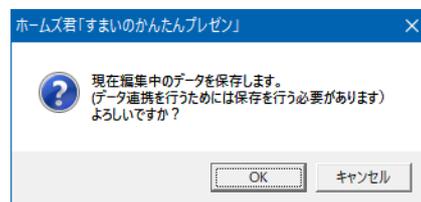
■データ連携（すまいのかんたんプレゼン ⇒ ホームズ君他ソフト）

1) すまいのかんたんプレゼン、および連携したいソフトの USB メモリを挿入します。

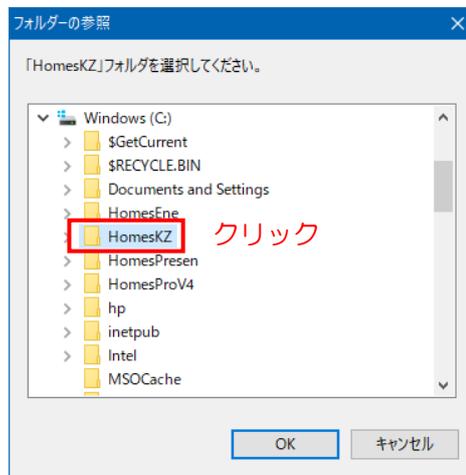
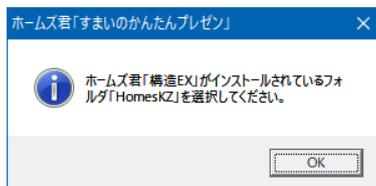


2) すまいのかんたんプレゼンを起動し、連携したい物件データ（HKP ファイル）を開きます。

3) 連携ソフト（例：構造 EX）をクリックします。



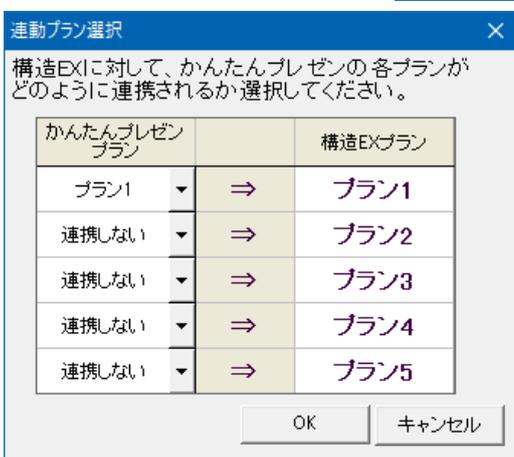
OK を選択し、保存します。



4) 連携ソフト（例：構造 EX）のインストールフォルダをクリックします。
※この設定は初回のみ行います。

※初期設定では以下にインストールされます。

- ・構造 EX
C:\¥HomesKZ
- ・省エネ診断エキスパート
C:\¥HomesEne
- ・耐震診断 Pro
C:\¥HomesProV4



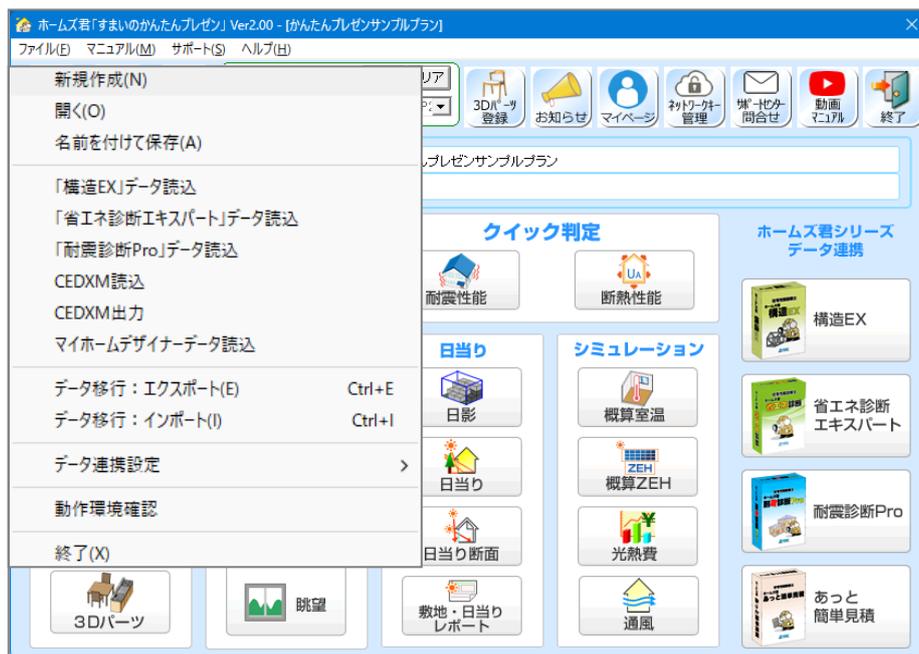
5) 連動するプランを選択します。

6) すまいのかんたんプレゼンが終了し、連携ソフト（例：構造 EX）が起動します。

- ・【CAD 入力画面】を開き、すまいのかんたんプレゼンで作成した間取りが表示される事を確認してください。
- ・連携ソフト特有の情報（耐力壁、断熱仕様、補強属性等）を入力してください。
- ・保存時は、連携ソフト（例：構造 EX では HKZ ファイル）データとして保存されます。

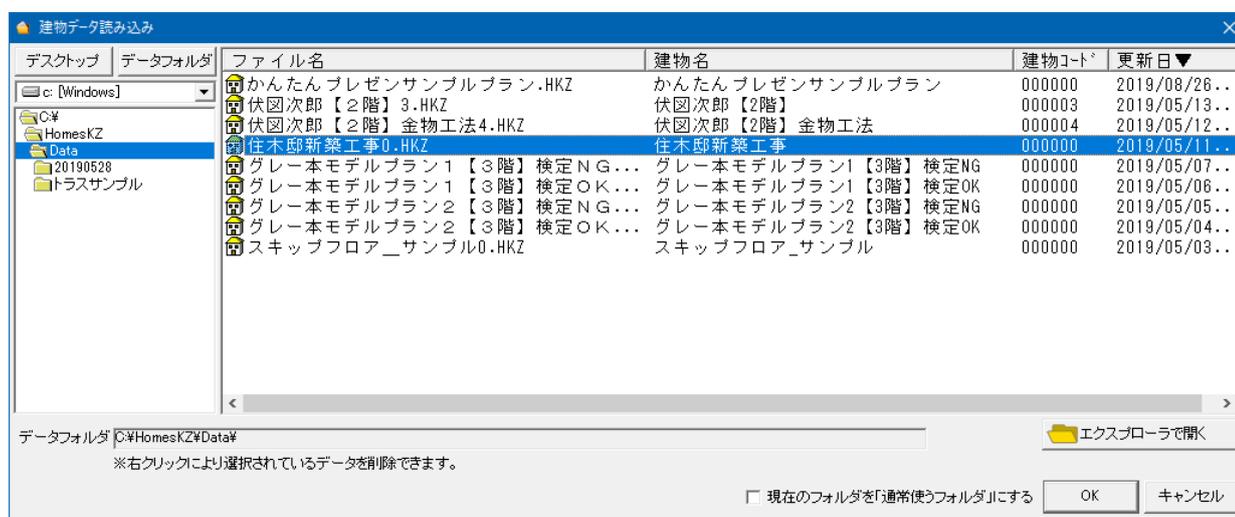
■データ読込（ホームズ君他ソフト ⇒ すまいのかんたんプレゼン）

1) すまいのかんたんプレゼンのUSBメモリを挿入し、すまいのかんたんプレゼンを起動します。



2) [ファイル]-[OOデータ読込]をクリックします。

3) 読み込みたいデータ（例：構造EXではC:\HomesKZ\Data フォルダ）を選択します。



4) 【CAD入力画面】を開き、間取りが表示されるのを確認してください。

- すまいのかんたんプレゼン特有の情報（内装外構、3Dパーツ等）を入力します。
- 保存時は、すまいのかんたんプレゼンデータ（HKP）として保存されます。

2. 下絵読込

2-1 概要

■概要

- 敷地図を JPEG・GIF・BMP 形式等で保存した画像ファイルや、GoogleMap 等の地図サービスの画面をコピーしたクリップボード情報を、下絵として読み込みます。
- 周辺の敷地や隣棟、自宅の敷地や間取りを即座に入力したいときに役に立ちます。

2-2 各操作



1 ファイルを選択

ファイルを選択し、下絵として読み込みます。
読込可能なファイル形式は、
JPG、PNG、BMP、GIF、PDF、JWW、DXF です。

画像ファイルを直接画面上にドラッグすることで、
画像を読み込むこともできます。

2 クリップボード貼付

Alt+PrintScreen や Windows+Shift+S でウィンドウを
コピーした後に、「クリップボード貼付」ボタンを
クリックすると、下絵として表示することができます。

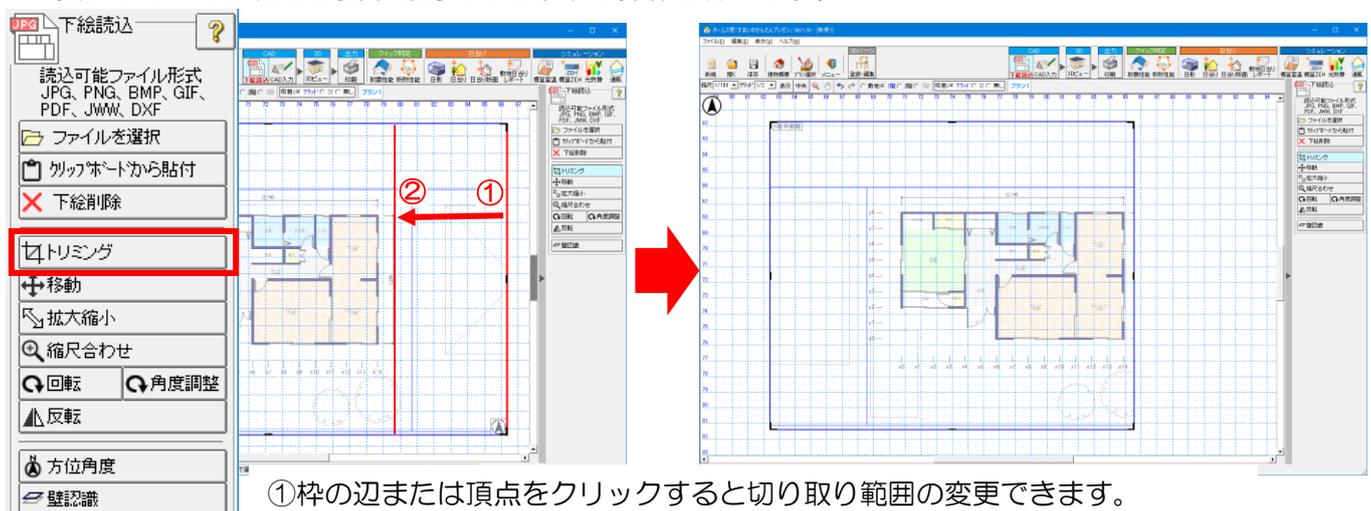
3 下絵削除

読み込んだ下絵を削除します。

3～12 の各操作は、CAD 入力画面の
下絵を右クリックすることでも使用可能です。

4 トリミング

表示している下絵を必要な部分だけ切り取る操作を行います。

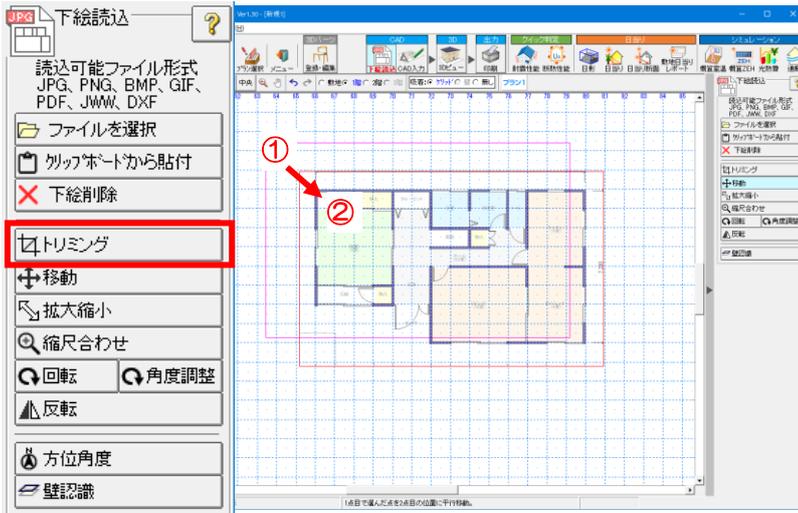


- ① 枠の辺または頂点をクリックすると切り取り範囲の変更できます。
- ② 再度クリックすることで切り取り範囲を確定させます。



5 移動

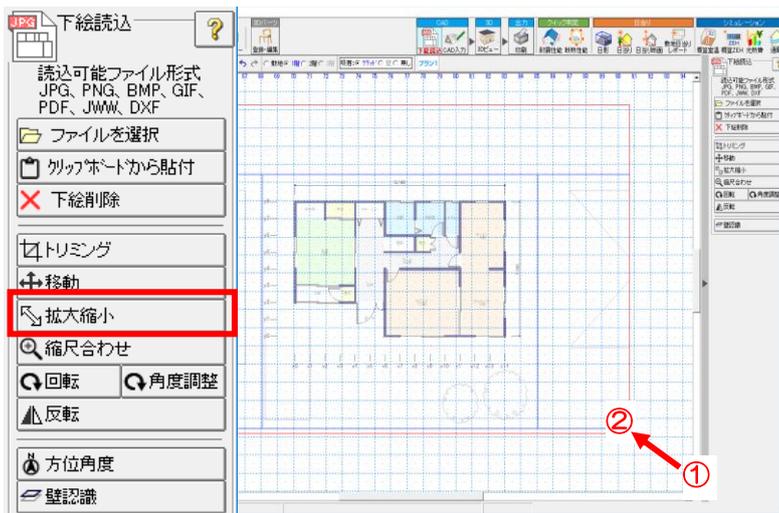
表示している下絵を移動します。



- ①下絵をクリックすると移動可能となります。
- ②再度クリックすると下絵の移動位置を確定させます。

6 拡大縮小

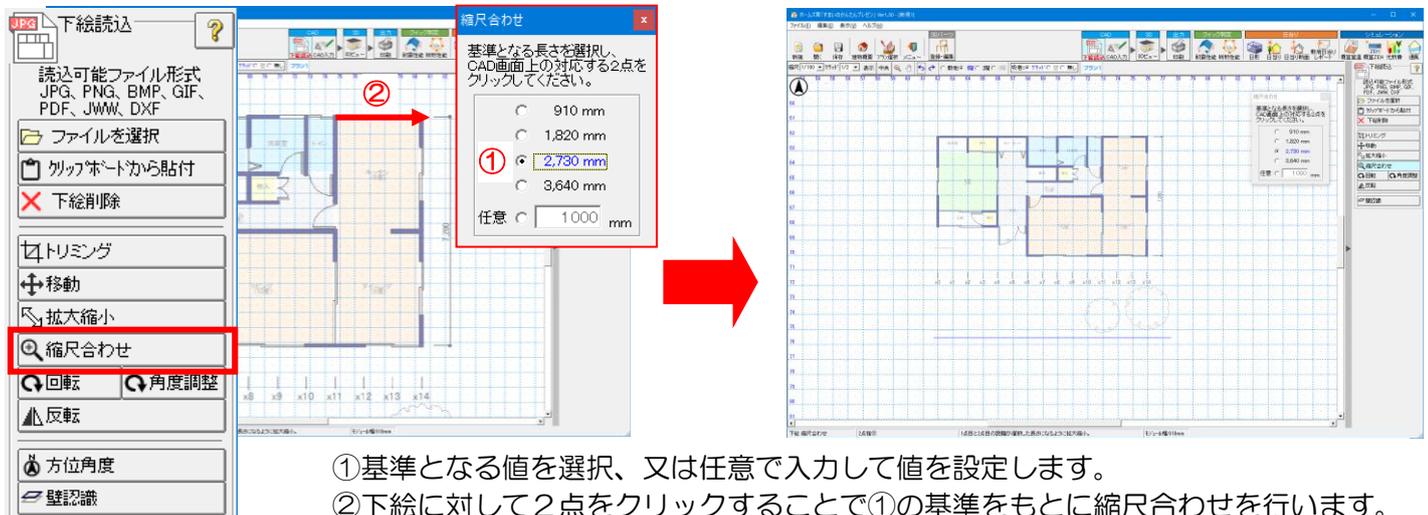
下絵の拡大縮小を行います。



- ①下絵の枠線の角をクリックすると変更可能となります。
- ②再度クリックで確定します。

7 縮尺合わせ

画面上の2点間の距離をもとに縮尺を設定します。

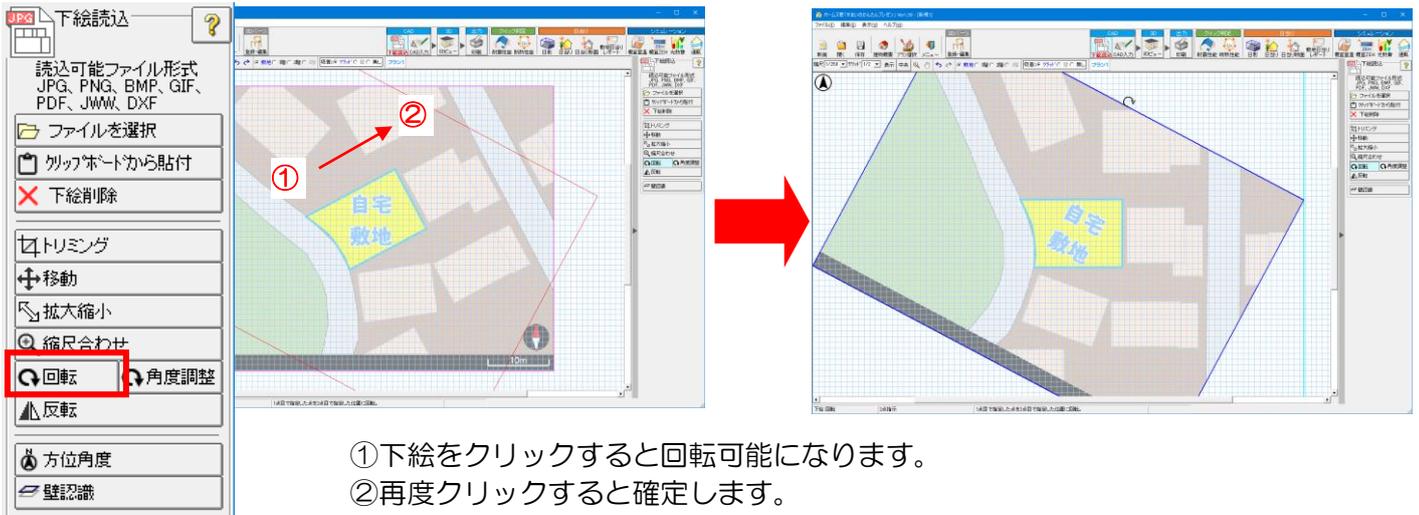


- ①基準となる値を選択、又は任意で入力して値を設定します。
- ②下絵に対して2点をクリックすることで①の基準をもとに縮尺合わせを行います。



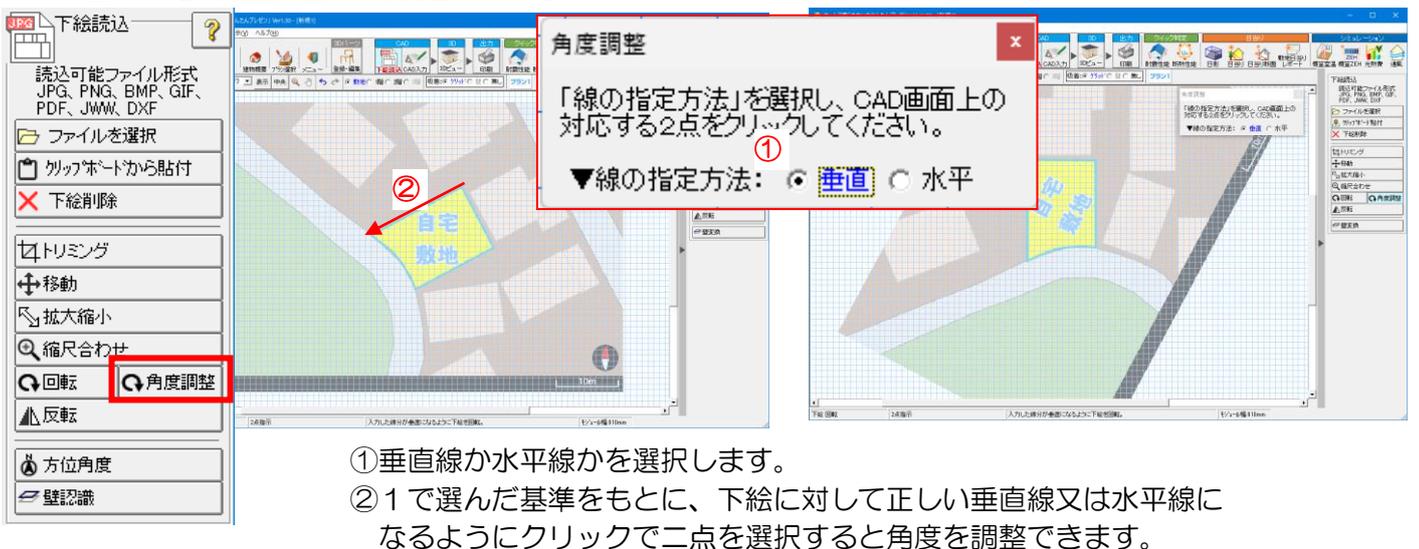
8 回転

画像を回転する操作を行います。



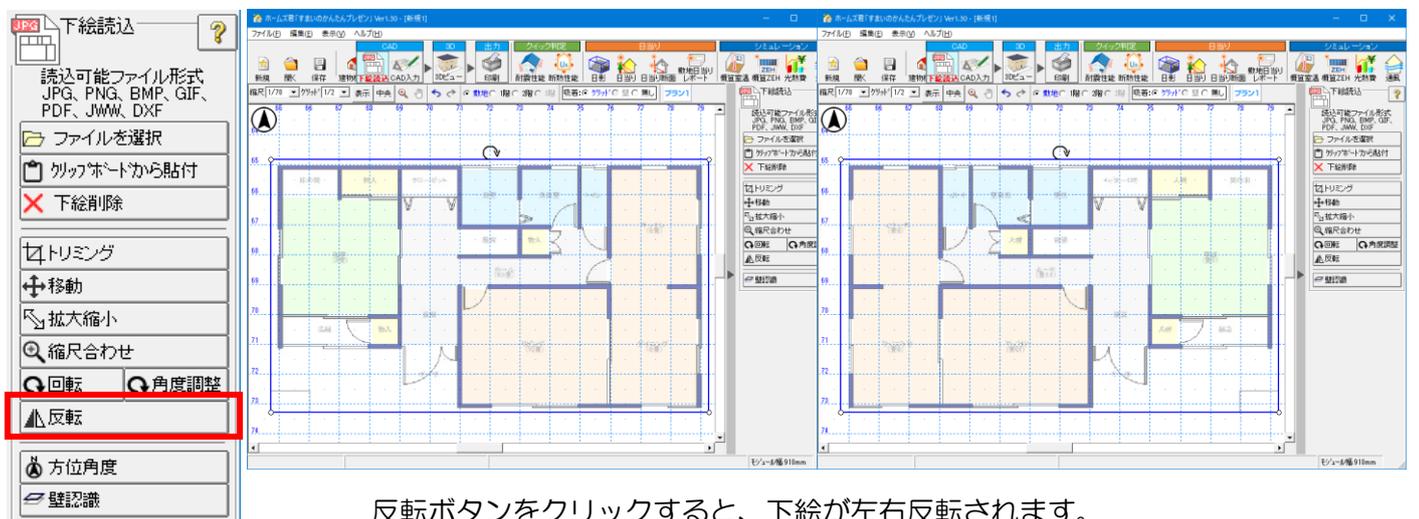
9 角度調整

基準線を用いて下絵の角度を調整します。



10 反転

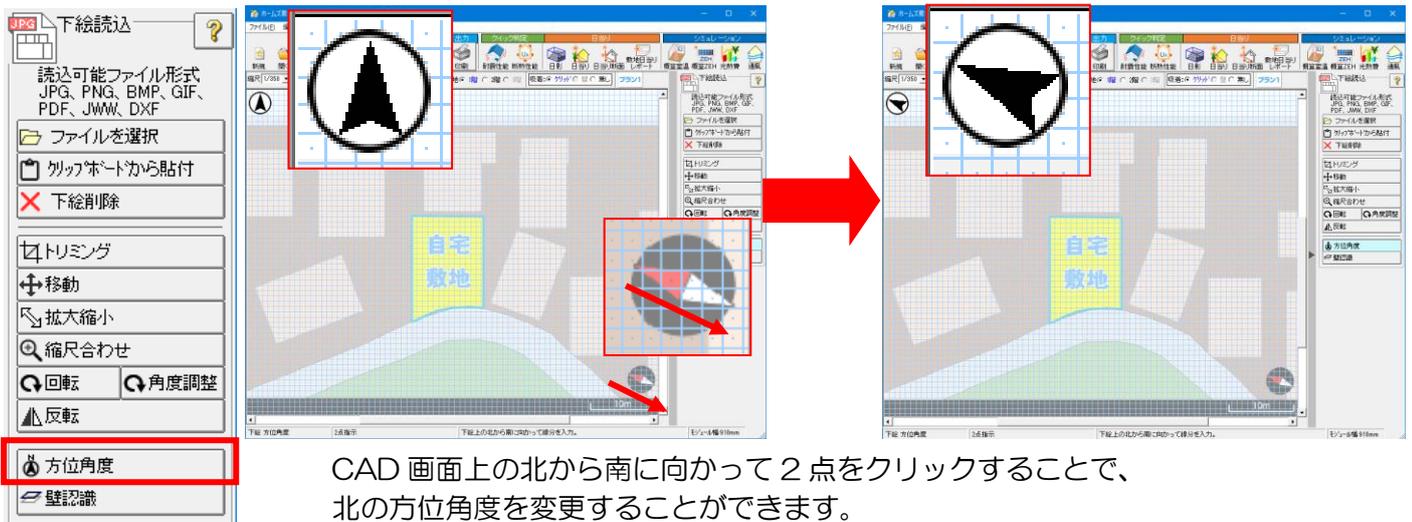
下絵を左右反転します。基下絵を左右反転します。





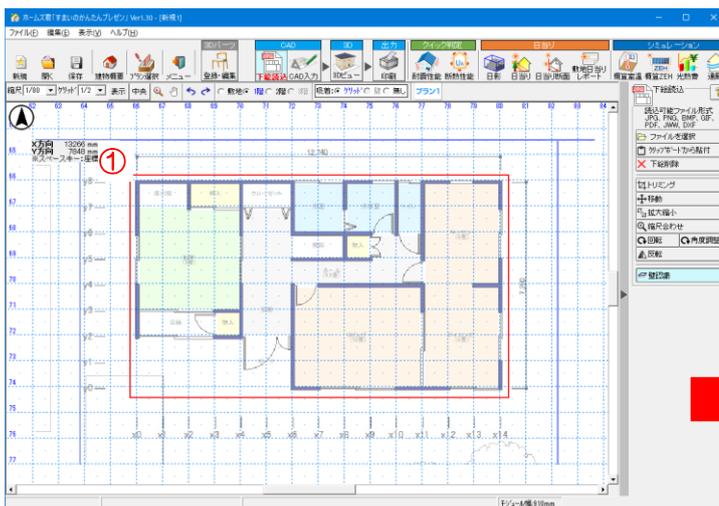
11 方位角度

画像の方位情報をもとに北の方位角度を設定します。

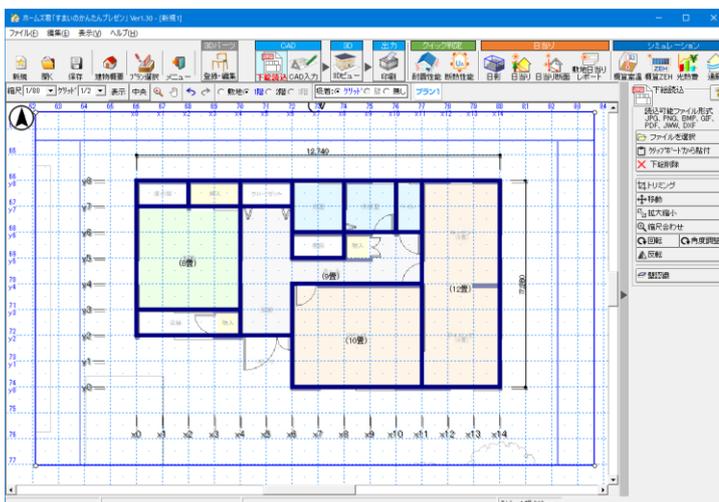
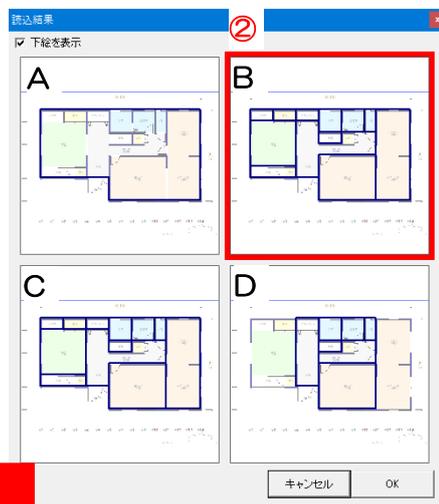


12 壁認識

表示されている下絵から壁の位置を認識してCADに入力します。



- A : 外壁のみ自動認識したものです。
 B~D : 外壁および内壁を自動認識したものを
 3パターン表示したものです。
 実状に近いものを選択してください。



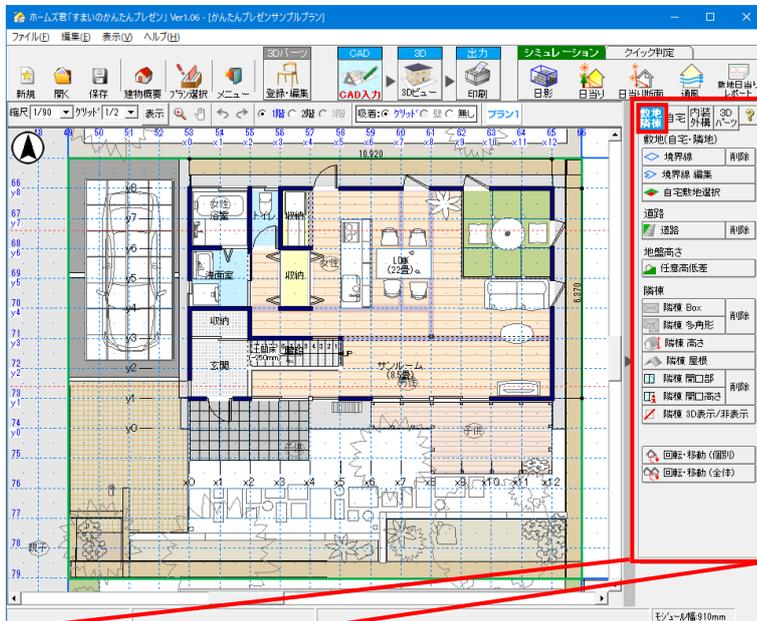
- ①下絵の自宅の範囲をBOX入力します。
 ②結果の候補が現れるので適したものを選択してください。

選択した結果が壁としてCADに入力されます。

3. CAD入力

3-1 敷地・隣棟の入力

※敷地・隣棟は任意入力です。入力せずに自宅入力が行えます。



Tips 利用可能なマウス操作

操作	コマンド
右クリック	入力操作のキャンセル
両ボタン クリック	クイック縮尺変更 メニュー表示 ※P6
ホイール回転	画面上下スクロール
Ctrl+ ホイール回転	画面縮尺変更



敷地

自宅や隣棟の敷地境界線を入力します。

道路

敷地周辺の道路を入力します。

地盤高さ

高低差のある地盤面の入力ができます。
※自宅のGLが高さ0mmとなりますので、
これを基準に周辺の高さを入力してください。
3Dビューや日影計算で考慮されます。

隣棟

隣棟の建物平面形状、高さ、屋根、開口部を設定します。
日影・日当り計算の対象となります。

隣棟 3D表示/非表示

隣棟の表示/非表示を個別に切り替えます。



左) 隣棟すべて表示 右) 手前右の隣棟を非表示
※非表示にすると隣棟の影も非表示になります。

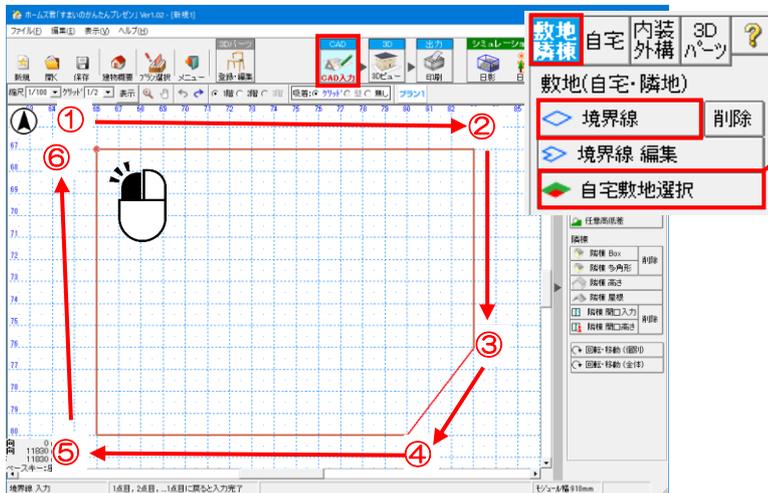
回転・移動

敷地、隣棟、道路を回転・移動します。

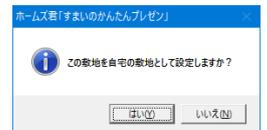
3-1-1 敷地（自宅・隣地）

■敷地 入力方法

- ・「境界線 入力」：【CAD入力画面】上で敷地の頂点を入力します。
- ・1 点目に戻ると入力が完了します。
- ・入力の途中で「ESC」キーを押すと、入力全てをキャンセルします。
- ・入力の途中で「右クリック」すると、1 つ前の頂点がキャンセルされます。

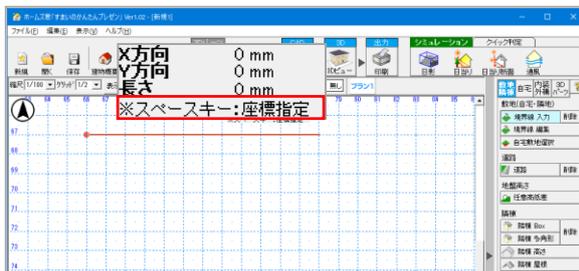


※一つ目の敷地入力後のみ、この敷地を自宅の敷地として設定するかどうかを選択するダイアログが表示されます。自宅の敷地とする場合は「はい」を選択します。



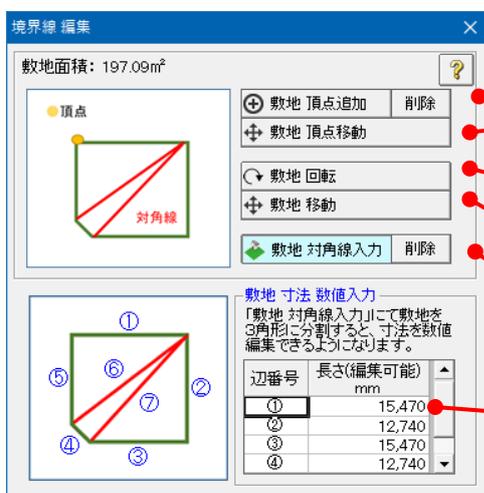
自宅の敷地は、「自宅敷地選択」で後から変更可能です。

※敷地の頂点は、入力の途中でスペースキーを押すことで、直前に入力した点から、X方向Y方向それぞれの距離(mm)を指定して入力することも可能です。



■敷地境界線の編集

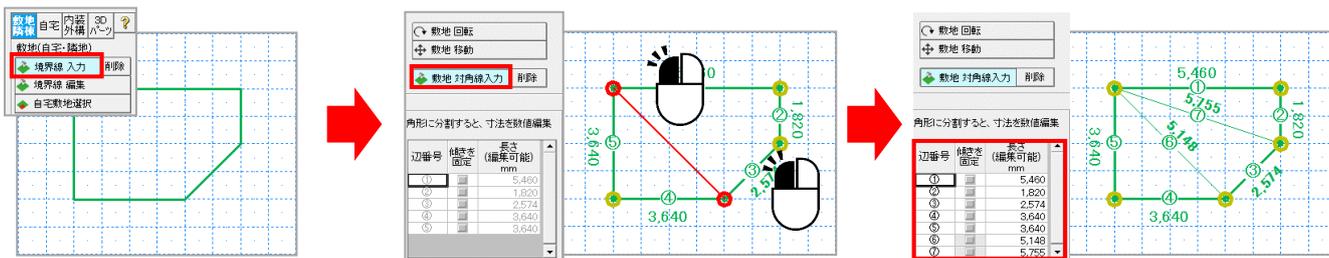
- ・敷地境界線の詳細な入力を行う場合は【境界線 編集】メニューの各機能を用います。



- ・敷地の頂点を追加・削除します。
- ・敷地の頂点をマウスのドラッグで移動します。
- ・敷地範囲をマウスで回転します。
- ・敷地範囲をマウスで掴み、任意の場所へ移動します。
- ・敷地を三角形分割するための対角線を入力します。
※敷地が全て三角形に分割されるまで、数値入力は行えません。
- ・敷地の各辺の長さ(mm)を数値入力します。
※辺番号はCAD入力画面の辺に表示されています。



▼敷地境界線の入力（各辺の長さを数値入力する場合）

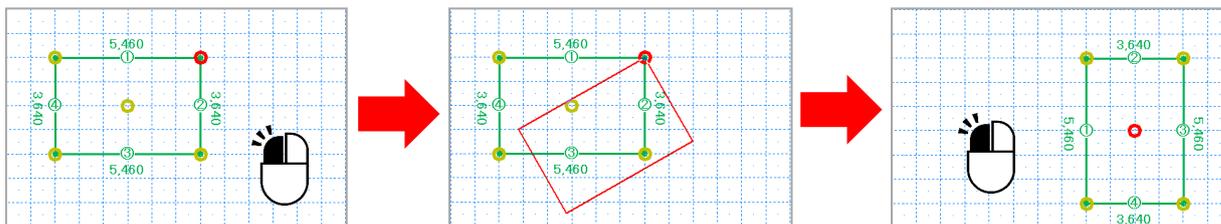


①あらかじめ、大まかな敷地の形状を多角形入力しておきます。

②両端となる2つの頂点をクリックすると対角線が入力できます。敷地が三角形のみで分割されるまで対角線を追加します。

③敷地の辺及び対角線の長さを数値入力で変更します。

▼敷地境界線の回転



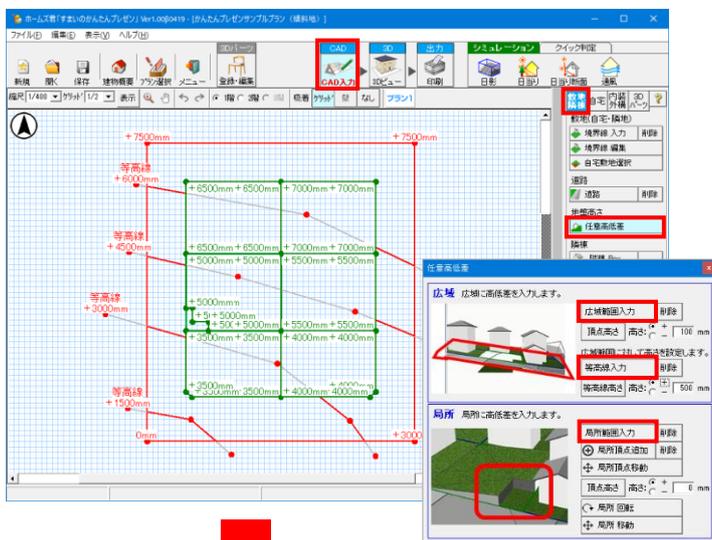
①回転の中心となる、敷地の中心点または、頂点をクリックします。

②マウスを動かすことで、強調表示されている点を中心に敷地を回転させることができます。(ドラッグはしません)

③もう一度クリックすると敷地の位置が確定します。

■敷地入力の実例については
⇒事例集(敷地・隣棟)をご参照下さい。

3-1-2 地盤高さ



■概要

・地盤の高低差の設定をします。

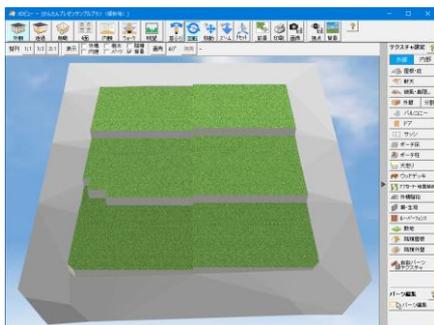
設定できるのは

- ・広域範囲（高低差を表す範囲）
 - ・等高線
 - ・局所範囲（広域範囲内で局所的な高低差を表す範囲）
- とそれぞれの高さです。

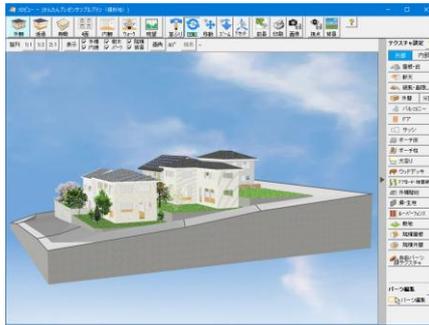
・設定は「任意高低差画面」で行います。

■地盤高さ入力の実例については
⇒事例集(敷地・隣棟)をご参照下さい。

【3Dビュー画面】



（傾斜地の例）



（局所範囲の例）





3-1-3 隣棟

■概要

- ・隣棟を入力すると、日影・日当り等のシミュレーションが行えます。
- ・現在は空き地だけが将来建設される、といった場合のシミュレーションも行えます。

1
2
3
4

隣棟

- 隣棟 Box 削除
- 隣棟 多角形
- 隣棟 高さ
- 隣棟 屋根
- 隣棟 開口部 削除
- 隣棟 開口高さ
- 隣棟 3D表示/非表示

回転・移動(個別)
回転・移動(全体)

2

隣棟設定

隣棟 階数
1階建 2階建

建物高さ設定

軒高 6500 mm
2階FL 3500 mm
1階FL 500 mm

OK キャンセル

3

隣棟・屋根入力

屋根自動生成

屋根面入力・編集

下書線 BOX 下書線 Line
削除 範囲削除

単面認識 多面認識

屋根面編集
※屋根面を下書線に戻す

登り方向 登り方向 ?

勾配 4.0 = 4寸0分

4

隣棟開口部設定

入力階、開口高さを選択し、隣棟の外部開口を入力してください。

入力階
1階 2階 3階

種類	開口高さ	取付高さ
大	1450	1800
中	1200	1800
小	750	1800
戸	2000	2000
その他	1300	2000

履歴:

■操作

- ・「隣棟 Box」または「隣棟 多角形」でCAD入力画面でBoxまたは多角形入力。屋根は自動的に寄棟屋根がかかります。
- ・「隣棟 高さ」で階数、高さを入力。
- ・隣棟をクリックし、屋根形状・勾配等を設定。
- ・開口部設定画面で入力階・開口種類を設定後、隣棟の外壁を2点なぞるようにクリック。

隣棟 Box (2点クリック)

隣棟 多角形 (順番にクリック)

隣棟 開口部 (2点クリック)

▼隣棟 3D 表示/非表示

- ・「隣棟 3D 表示/非表示」をクリックしCAD入力画面で隣棟をクリックすると、3Dビュー画面で表示/非表示が切り替わります。

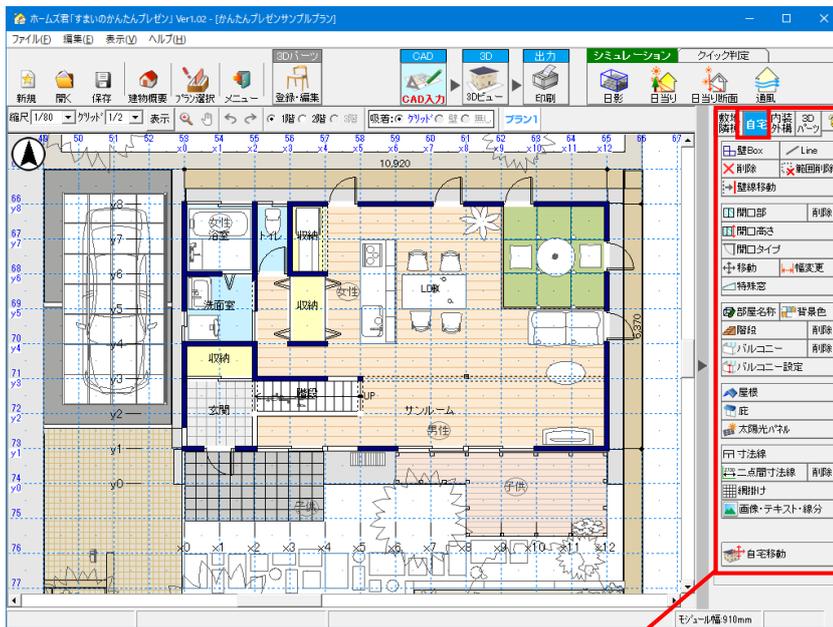


※非表示にすると、非表示にした隣棟の影も合わせて非表示になります。

左) 隣棟すべて 3D 表示
右) 左下の隣棟 3D 非表示

3-2 自宅の入力

間取りや屋根を入力します。



Tips 利用可能なマウス操作

操作	コマンド
右クリック	入力操作のキャンセル
両ボタン クリック	クイック縮尺変更 メニュー表示 ※P6
ホイール回転	画面上下スクロール
Ctrl+ ホイール回転	画面縮尺変更

壁（間取り）

内壁・外壁を区別せず入力します。

部屋名称

「玄関、階段、吹抜、浴室、ポーチ、車庫」には部屋名に応じた特定の動作が設定されています。詳細は〔2-2-7 部屋名称・背景色〕をご参照ください。

バルコニー

延床面積から除かれます。

庇

日影シミュレーション・日当たりシミュレーションで日影計算の対象となります。

自宅移動

「自宅」で入力した部位および「内装」と、自宅内の「3D パーツ」「自由パーツ」をまとめて移動できます。



開口部

開口の種類に関係なく、壁に重ねて入力します。
高さやタイプは後から設定します。

特殊窓

トップライト、高窓、台形窓などを入力します。
高窓は梁桁レベルよりも上に取り付く窓を指します。

階段

下階で入力します。

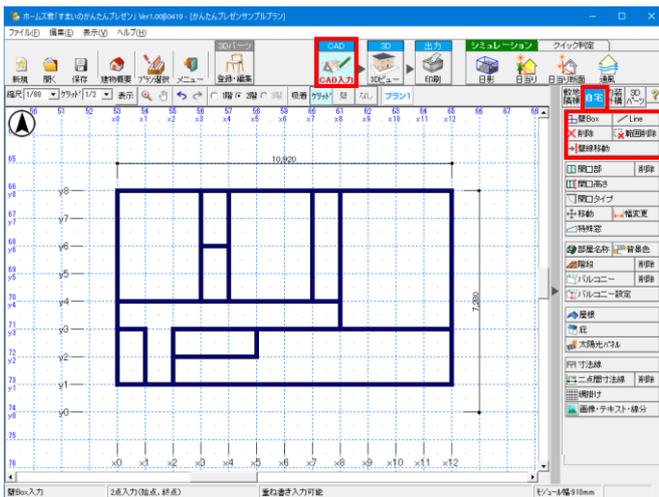
屋根

簡単な屋根は自動作成が行えます。
【3Dビュー画面】で確認しながら入力が行えます。

太陽光パネル

概算 ZEH、光熱費のクイック判定結果に反映されます。

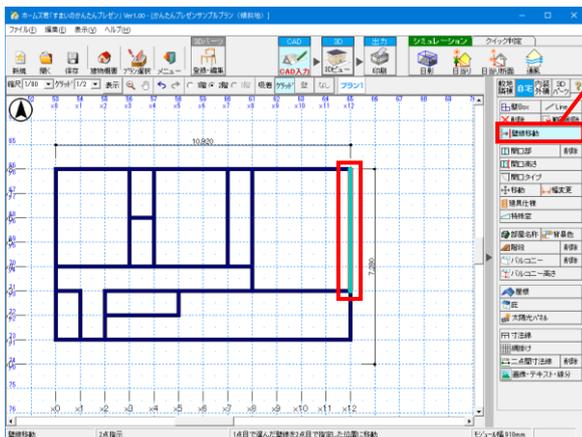
3-2-1 壁



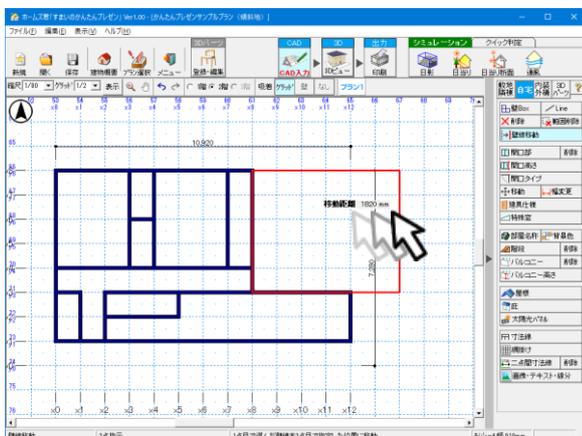
■入力方法

- 「壁Box」：壁をBox、または直線入力します。対角にクリックするとBoxが描けます。水平（垂直）にクリックすると直線が描けます。
- 「Line」：壁を直線入力します。
※斜め壁も入力できます。
- 「削除」：対象の壁をクリックして削除します。
- 「範囲削除」：Boxで囲んだ範囲の壁を全て削除します。
- 「壁線移動」：閉じている壁の一边をクリックし移動させることができます。間崩れ壁や斜め壁も移動可能です。

(壁線移動の例)



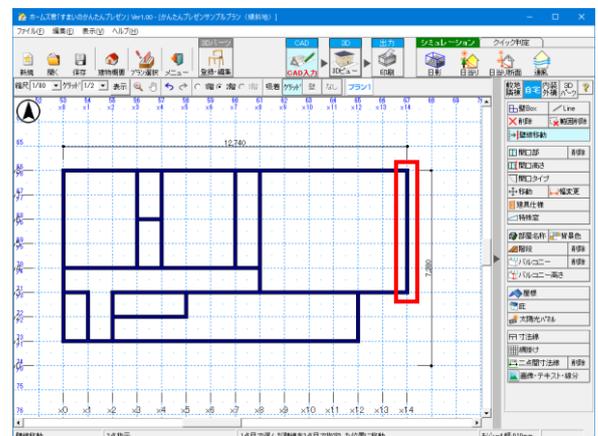
- ① 移動したい壁にマウスカーソルを合わせます。壁が強調表示されます。



- ② 壁をクリックすると対象の壁とその周囲が赤く表示されます。マウスを動かすと連動して壁が移動します。(ドラッグはしません)

■ポイント

- 間取りを書くイメージで、部屋が壁で閉じられるように入力します。
- 開口がある部分も含めて、壁を入力して構いません。重ね書きをしても問題ありません。外壁、内壁、開口部を自動認識します。



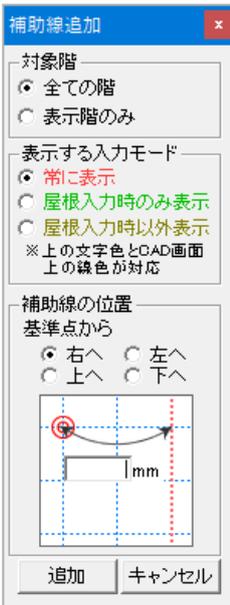
- ③ 移動先をクリックすると壁の位置が確定します。

Tips 間崩れ壁の入力



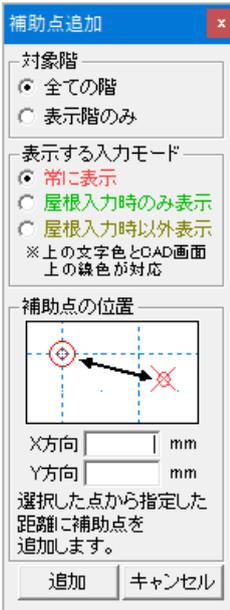
①グリッド分割の変更

- 1/2、1/3、1/4、1/6、1/8、1/10 のいずれかを選択します。
- ※303mm の入力は「1/3」と設定すれば入力が可能です。
(モジュール幅 910mm の場合)



②補助線の追加

- 1) 「編集(E)」メニューの「補助線追加」を選択します。
- 2) 追加する補助線の基準となる点をクリックします。
([補助線追加画面] が表示されます)
- 3) 追加するグリッドの表示階を選択します。
- 4) 追加するグリッドの入力モードを選択します。
- 5) 追加する補助線の基準点からの方向と距離(mm)を入力します。
- 6) 「追加」ボタンを押下します。
※画面上に補助線(赤点線)が追加されます。
※-(マイナス)の値を設定すると、基準点から指定した方向とは逆方向に補助線が追加されます。
※追加する補助線は他のモジュール線、補助線から20mm以上離れている必要があります。



③補助点追加

- 1) 「編集(E)」メニューの「補助点追加」を選択します。
- 2) 追加する補助点の基準となる点をクリックします。
([補助点追加画面] が表示されます)
- 3) 基準点からの距離(mm)を入力します。
- 4) 「追加」ボタンを押下します。
※画面上に補助点(赤点)が追加されます。
※追加した点間には壁や開口部の入力、柱の追加ができます。
※-(マイナス)の値を設定すると、基準点より上または左に補助点が追加されます。

④モジュール幅部分変更



- 1) 「編集(E)」メニューの「モジュール幅部分変更」を選択します。
- 2) 幅を変更したいモジュール線間をクリックします。
指定したモジュール線間が薄紫色で表示され、
[モジュール幅変更画面] が表示されます。
- 3) 幅を変更したい方向(横幅、縦幅)を選択します。
- 4) モジュール幅(mm)を入力します。
- 5) 「変更」ボタンを押下します。
※モジュール幅が異なる部分は【CAD 入力画面】上に赤文字で幅が表示されます。
※手入力で作成した屋根は削除されます。ご了承ください。

階全体平行移動

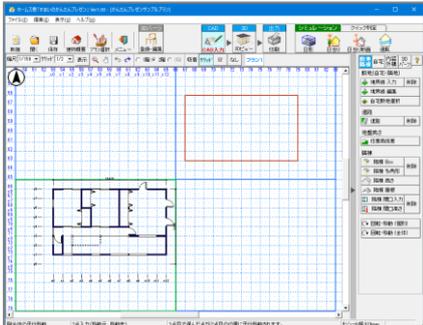
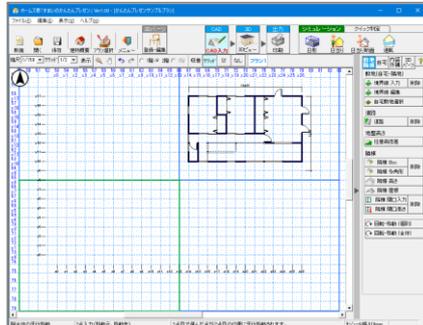


- 1) 「編集(E)」メニューの「階全体平行移動」を選択します。
- 2) 【CAD入力画面】の図面上をクリックすると、表示している階が選択され、移動先が赤枠で表示されます。
- 3) 階を移動させたい位置まで移動させ、【CAD入力画面】を再度クリックすると移動先が確定します。

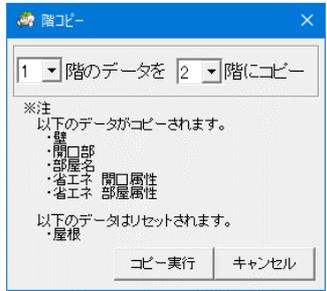
※外構、3D パーツは移動しません。

Tips 自宅移動

自宅をまるごと移動したい場合は、「2-2-13 自宅移動」を参照してください。

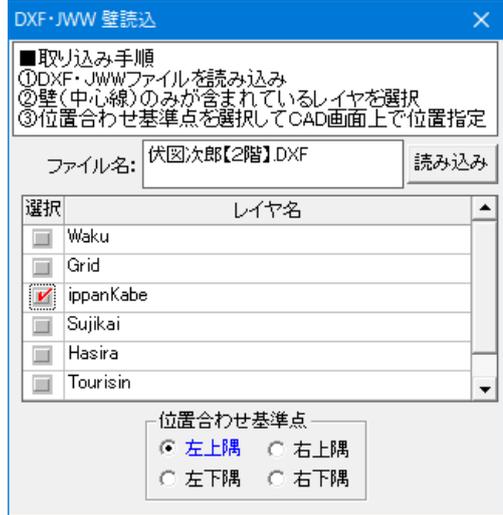

➔


階の入力を他階へコピー



- 1) 「編集(E)」メニューの「階の入力を他階にコピー」を選択します。
- 2) 【階コピー画面】で、コピー元の階とコピー先の階を選択し、「コピー実行」ボタンを押下します。

DXF、JWW ファイルから壁読込

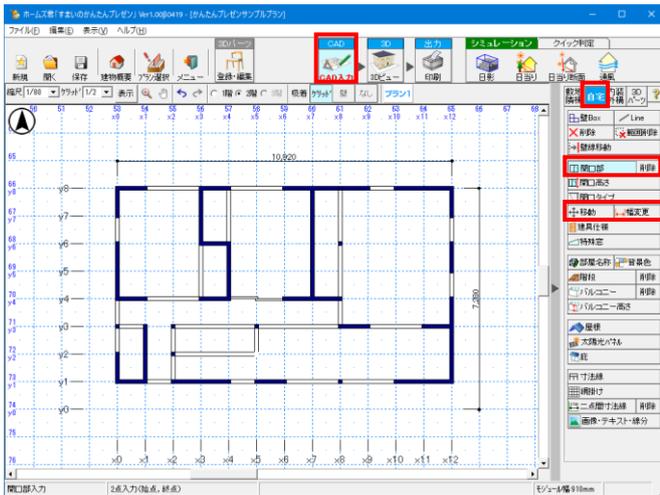


- 1) 「ファイル(F)」メニューの「DXF・JWW 壁読込」を選択します。
- 2) 【DXF・JWW 壁読込画面】で【読み込み】ボタンを押下してDXFまたはJWWファイルを読み込みます。
- 3) 壁のみが含まれているレイヤを選択します。
- 4) 位置合わせ基準点を選択して、【CAD 入力画面】上で取り込み位置を指定します。



3-2-2 開口部

・「開口部」入力は、開口部の「位置」と「開口幅」を設定します。



入力方法

- ・壁線の上に、始点と終点を二点入力します。
- ・開口部を削除する場合は「削除」ボタンをクリックし、対象の開口部をクリックします。削除した箇所には壁が残ります。

開口部の設定が必要な箇所

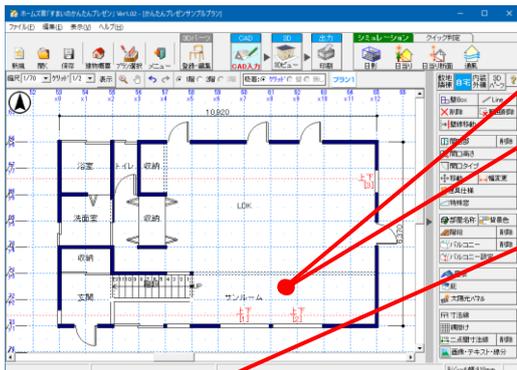
※以下は「開口部」として設定してください。

- ・ポーチの壁が存在しない面
- ・階段の入り口
- ・玄関の上り框 等

開口高さは「全開口」、
開口タイプは「建具無し」を選択してください。

上下に開口部を入力する（平面図上の重なる位置に取付高さの異なる開口部）

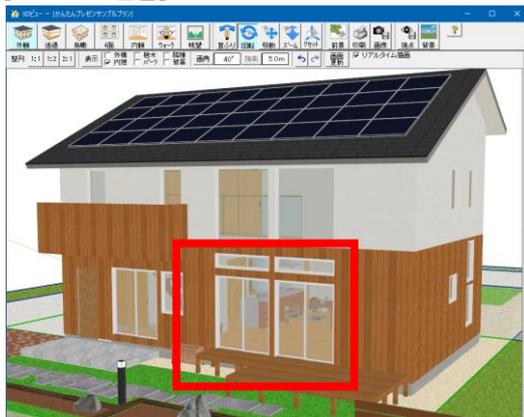
【CAD 入力画面】



階	グループ	表示	開口幅	開口高	取付高
1	[1]	<input type="checkbox"/>	1820	2000	2000
		<input checked="" type="checkbox"/>	1820	400	2600
	[2]	<input checked="" type="checkbox"/>	1820	2000	2000
		<input checked="" type="checkbox"/>	1820	400	2600
	[3]	<input checked="" type="checkbox"/>	910	1200	2800
		<input checked="" type="checkbox"/>	910	1200	1500

1. CAD 入力画面の「開口部」で上側の窓の位置と幅を入力します。
2. 下側の窓の位置と幅を入力します。
※上下の窓の幅はそれぞれ異なる幅でも入力可能です。
3. 「上下開口部一覧」サブウィンドウが表示されます。
※「上下開口部一覧」は位置が重なる開口部が入力されている場合のみ表示されます。
4. 「グループ」：同位置に重なる複数の開口部を「グループ」として分類とします。
※CAD 入力画面では開口部の上に「上下[No]」と表示されます。
5. 「表示」：表示・操作対象としたい開口部にを付けます。
※「開口幅」「開口高」「取付高」は参考情報として表示のみでこの画面では変更できません。

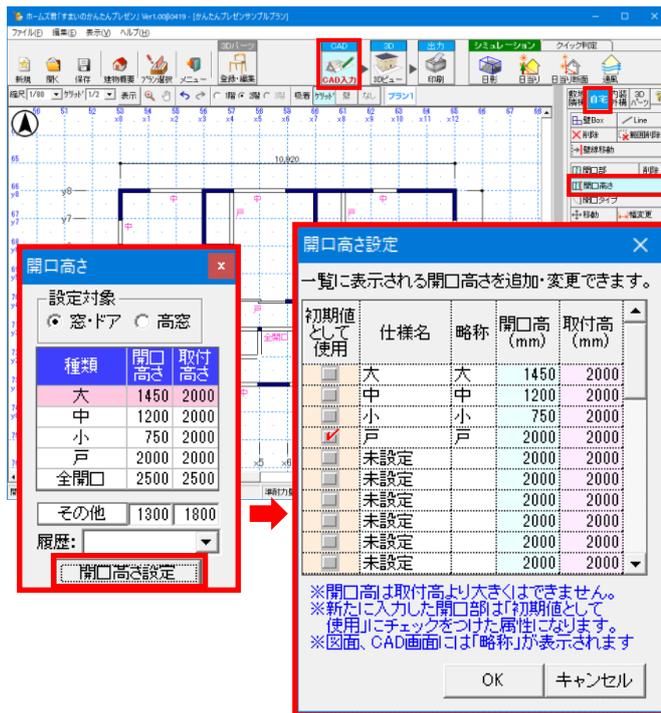
【3D ビュー画面】



6. 「削除」「開口高さ」「開口タイプ」「移動」「幅変更」「建具仕様」「特殊窓」の操作・設定を行います。
※3D ビューで高さを確認しながら設定を行うと効率よく行えます。

★梁、桁よりも上の高さの妻壁等の開口部は「高窓」で設定します。

3-2-3 開口高さ



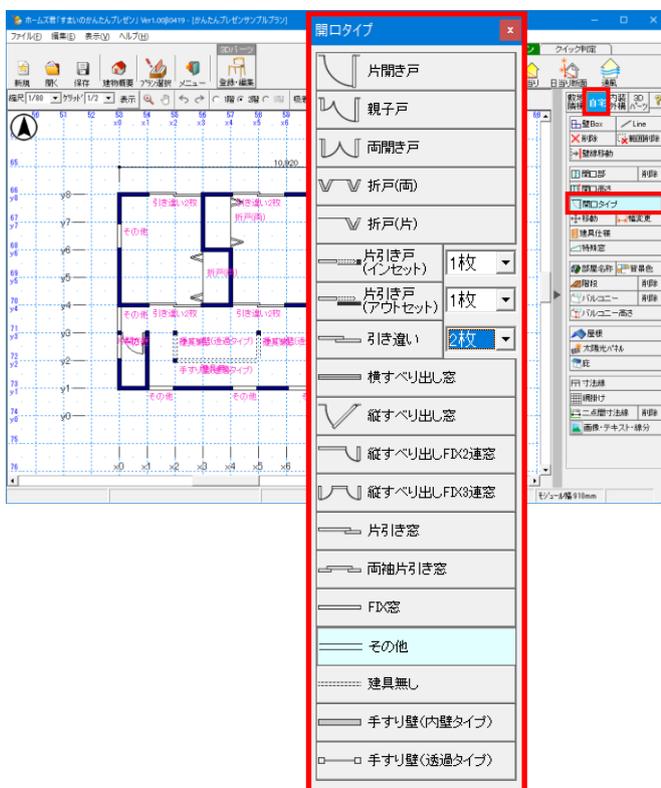
■入力方法

- 開口高さの種類を選択し、対象の開口部をクリックします。

■ポイント

- 初期値は「戸」です。
(取付高 2,000mm、開口高 2,000mm)
- 「開口高さ」と「取付高さ」は[開口高さ画面]で任意に設定を変更できます。

3-2-4 開口タイプ



■入力方法

- [開口タイプ画面] から開口タイプを選択後、対象の開口部をクリックします。

- 選択した開口タイプによっては、扉の枚数や開く向き（方向）も指定します。

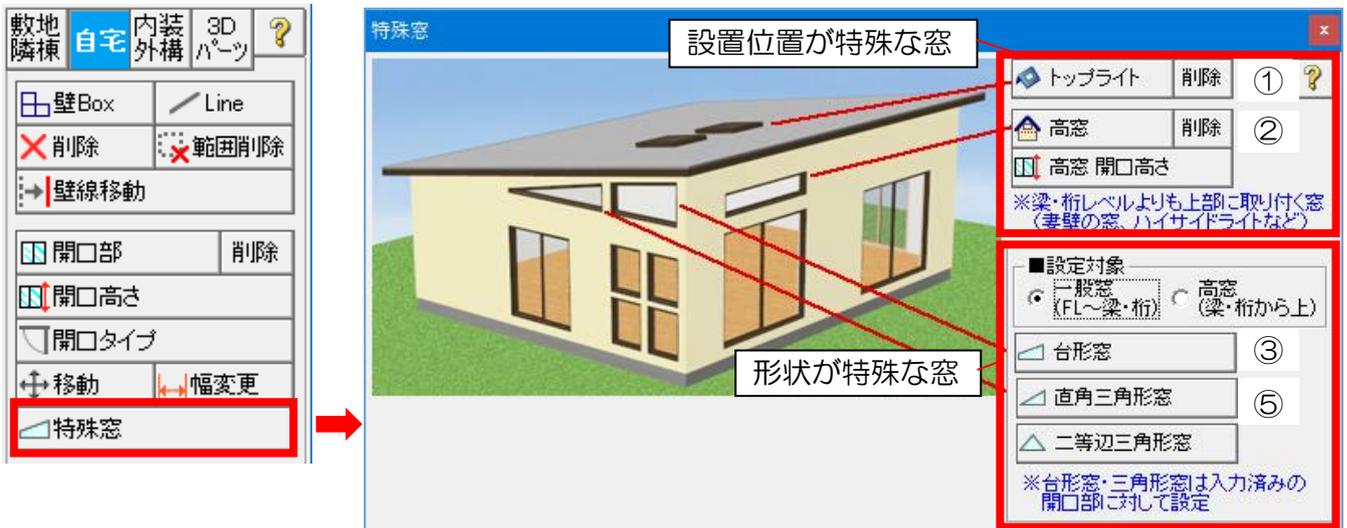
■ポイント

- 開口タイプは、初期値として「その他」が設定されます。

3-2-5 特殊窓

- 以下のような特殊窓を設定します。
 - 1) 設置位置が梁・桁レベルよりも上部である
 - 2) 形状が台形もしくは三角形である
 - 3) 1と2両方である

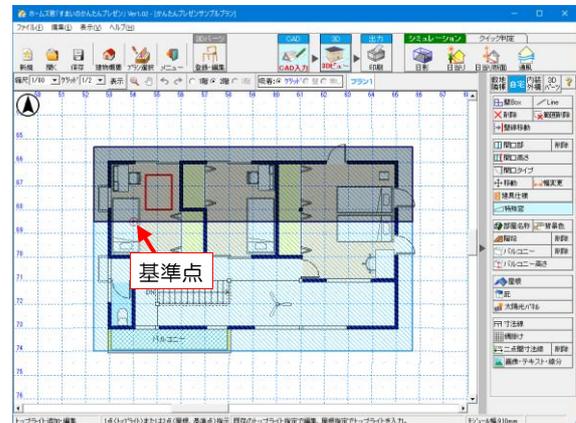
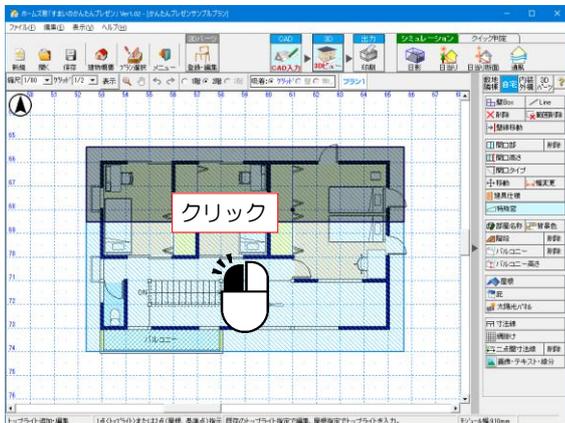
■ポイント
形状が特殊な窓の設定（下記③～⑤）は、一般窓の開口部、もしくは高窓の設定後に行います。



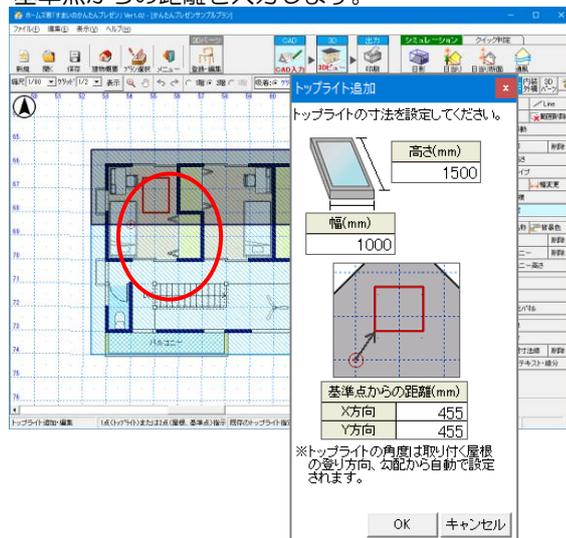
①トプライトの入力 ※あらかじめ最上階を選択しておきます。

1 トプライトを入力する屋根面をクリックします。
→クリックした屋根面が黒く強調表示されます。

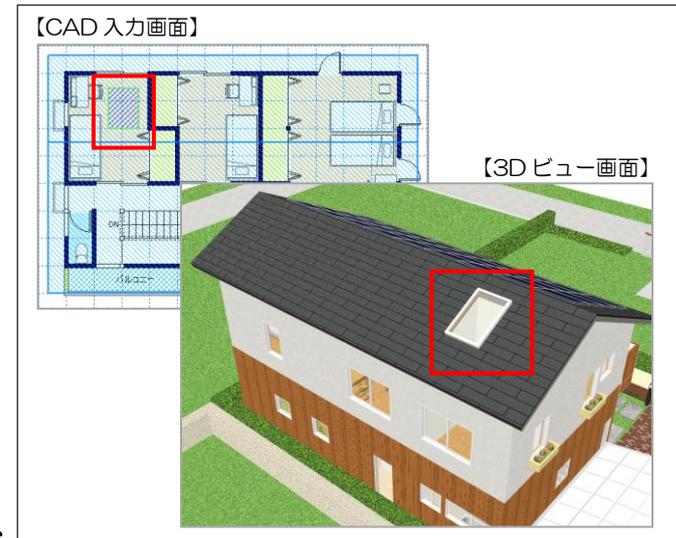
2 屋根面で入力の基準とする点をクリックします。



3 トプライトの高さと幅、基準点からの距離を入力します。



(入力後の状態)

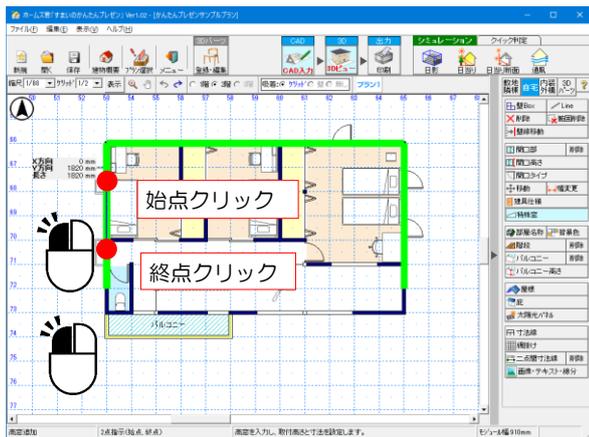




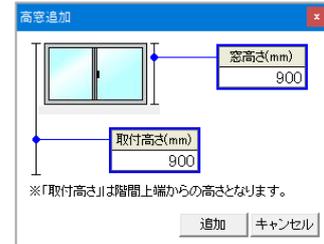
②高窓の入力

※あらかじめ最上階を選択しておきます。

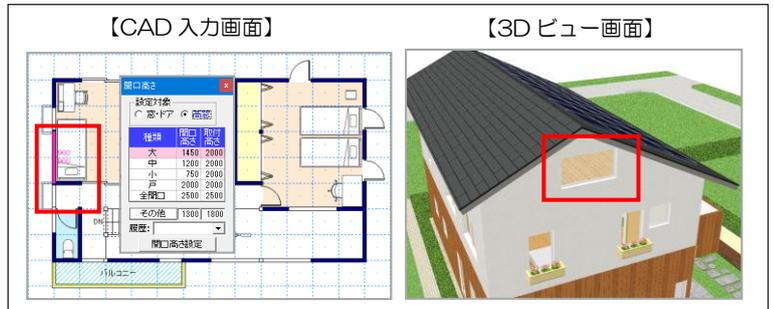
- 1 高窓が入力可能な外壁（緑線）上で始点と終点をクリックします。



- 2 高窓の取付高さ（mm）と窓高さをを入力します。



（入力後の状態）



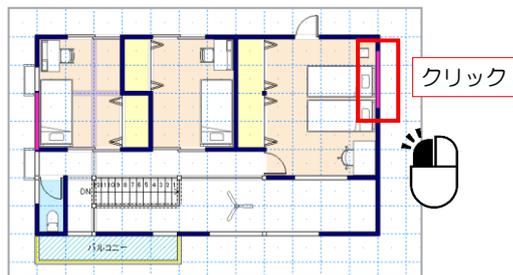
③台形窓の入力

※あらかじめ一般窓の開口部、もしくは高窓を入力しておきます。

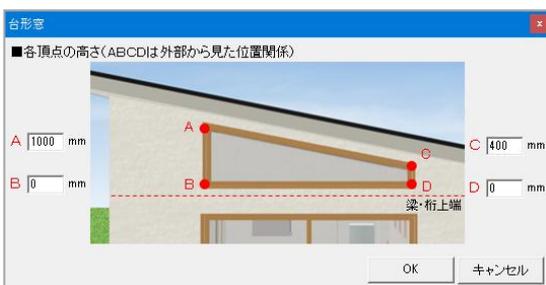
- 1 設定対象を、「一般窓」、「高窓」から選択します。



- 2 設定対象の外部開口部をクリックします。



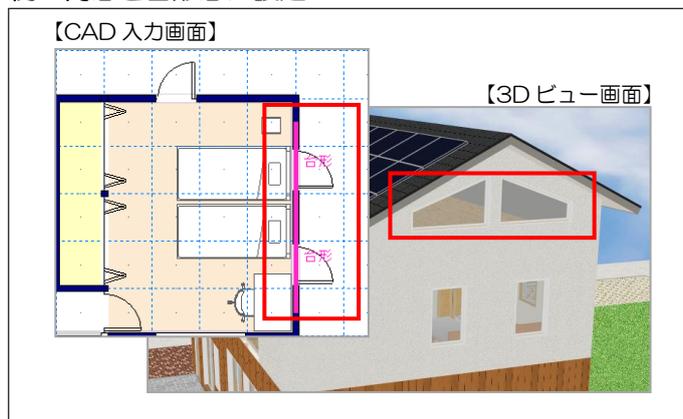
- 3 窓の各頂点の高さを指定します。



※各頂点には、

- ・高窓の場合：梁・桁上端からの高さ
- ・一般窓の場合：FLからの高さを指定します。

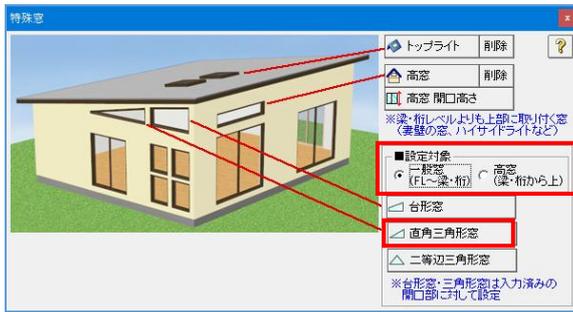
例：高窓を台形窓に設定



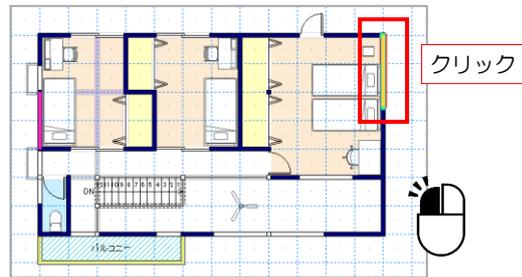
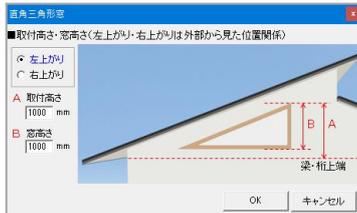
④直角三角形窓、⑤二等辺三角形窓の入力

※あらかじめ一般窓の開口部、もしくは高窓を入力しておきます。

1 設定対象を、「一般窓」、「高窓」から選択します。

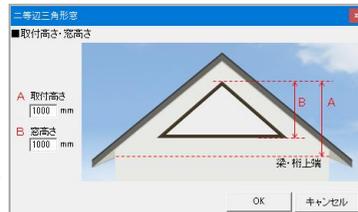


2 設定対象の外部開口部をクリックします。

3 傾きの方向（左上がり／右上がり）、
取付高さ、窓高さを指定します。

左) 直角三角形窓

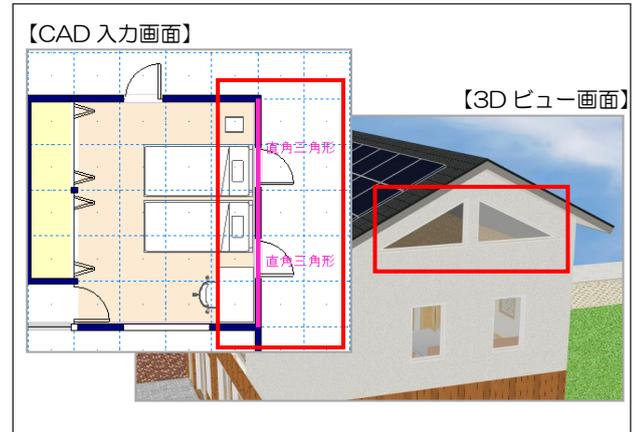
下) 二等辺三角形窓



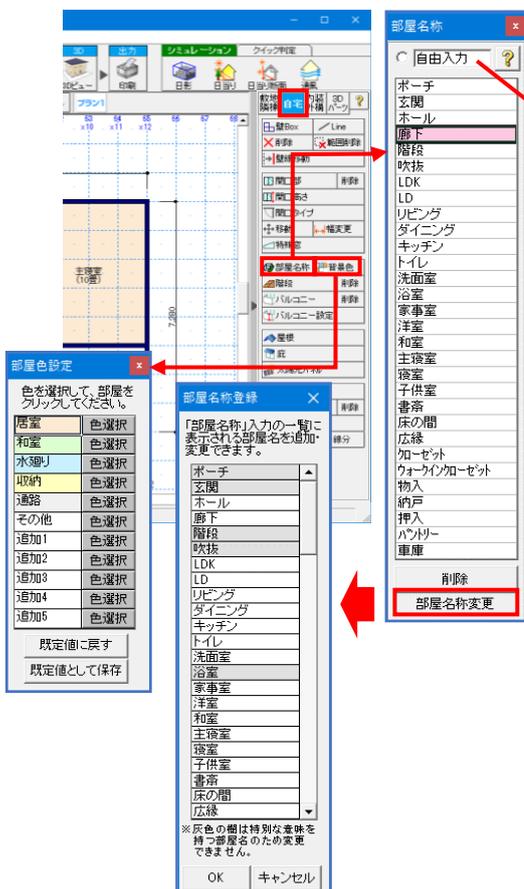
※取付高さ、窓高さには、

- ・高窓の場合：梁・桁上端からの高さ
- ・一般窓の場合：FLからの高さを指定します。

例：高窓を直角三角形窓に設定



3-2-6 部屋名称・背景色



■ 部屋名称

- ・「部屋名称」を一覧から選択し、対象の部屋をクリックします。
- ・部屋は四方が壁または開口部で囲まれている箇所に対して設定できます。
- ・任意の名称を設定する場合は、「自由入力」欄に名称を入力します。
- ・[部屋名称登録画面]で、新規に部屋名称を登録または変更することができます。ただし、背景色が灰色の部屋名称は変更できません。
※詳細は下記の「注意」をご参照ください。

■ 背景色

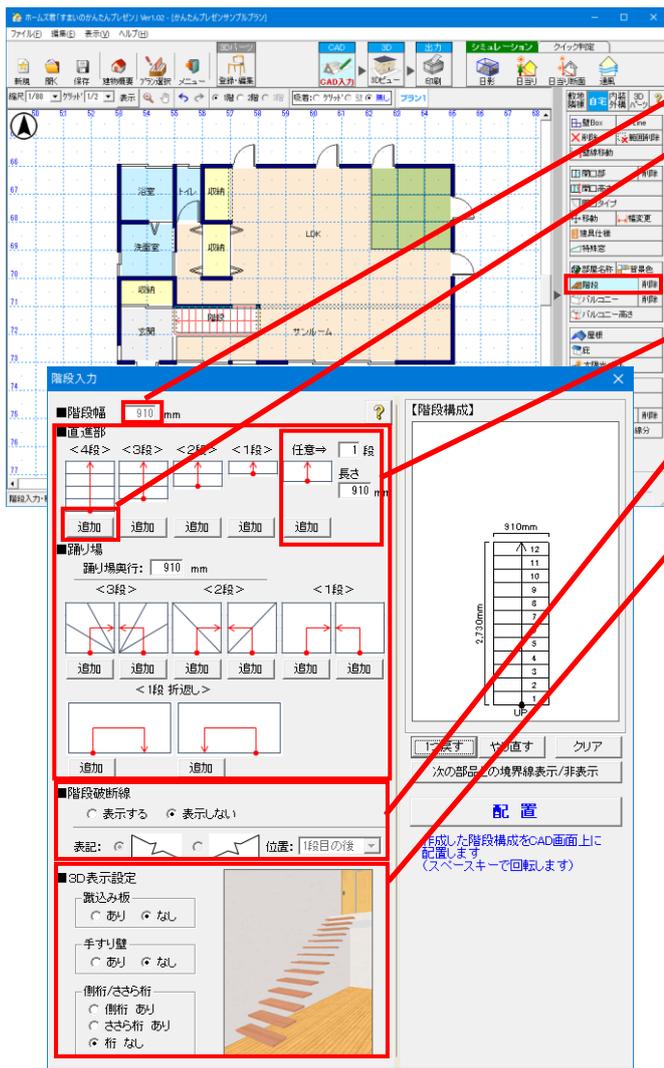
- ・「背景色」ボタン押下で表示される[部屋色設定画面]で、対象の部屋の背景色を設定できます。

⚠ 注意

※以下の部屋には、あらかじめ部屋名に応じた動作（自動処理）が設定されているため、部屋名称の変更はできません。

- ・ポーチ：床面積は建物面積に算入しません。他部屋と接する面の壁は「外壁」の仕上げとなります。
- ・玄関：「玄関」部屋内で、建物の外周上にある掃き出し型の開口部は「玄関ドア」と認識されます。
- ・階段：クイック判定（耐震等級）の床倍率計算の際に「床倍率：0」として計算されます。
- ・吹抜：床面積は建物面積に算入しません。クイック判定（耐震等級）の床倍率計算の際に「床倍率：0」として計算されます。
- ・車庫：他部屋と接する面の壁は「外壁」の仕上げとなります。床面は土間コンクリートになります。
- ・浴室：内部開口部の建具が「浴室ドア」となります。

3-2-7 階段

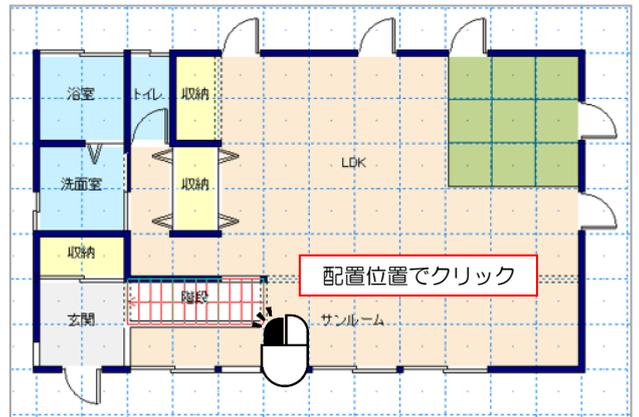


入力方法

- 1 階段幅を指定します。
- 2 直進部、踊り場のパーツを組み合わせて階段を構成します。各パーツ下の「追加」ボタンを押下すると、【階段構成】欄にパーツが追加されます。

※直進部については、任意の段数・長さのパーツを入力することが可能です。

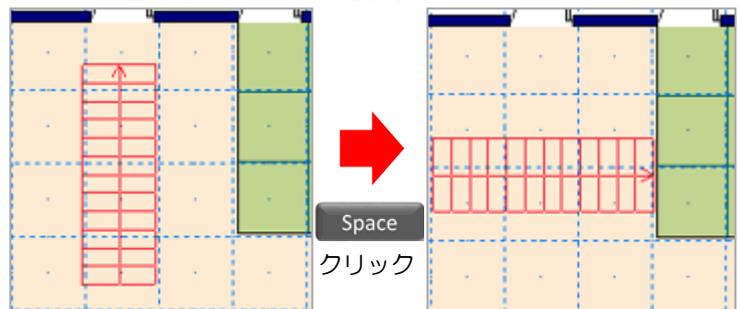
- 3 階段破断線の表示/非表示を選択します。
- 4 【3Dビュー画面】での階段表示仕様を設定します。
- 5 「配置」ボタンをクリックします。
- 6 【CAD入力画面】上で、階段を配置したい場所をクリックします。



Tips 階段幅・踊り場奥行のサイズ

・踊り場<3段><2段><1段>は正方形になります。
上記踊り場を入力する場合は、「階段幅」と「踊り場奥行」のサイズをあらかじめ合わせて下さい。

※配置前にスペースキーを押すと階段を時計回りに90°ずつ回転させることができます。



階段入力

- ※階段は【下階】に入力します。
- ※螺旋階段には対応していません。
- ※階段下に部屋（壁）を設定することはできません。
- ※【3Dビュー画面】では、指定した段数で1階分の高さになるように蹴上の高さが自動調整されます。

階段入力の例

(準備)



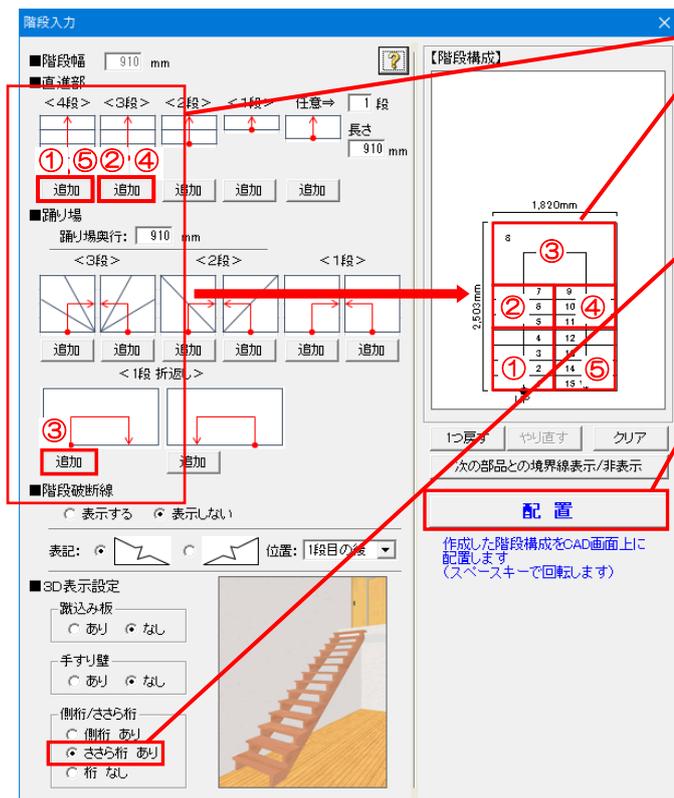
1 階段となる区画を壁入力します。

2 開口高さは「全開口」、
開口タイプは「建具なし」を設定します。

3 部屋名称は、上下階ともに
「階段」を設定します。



(入力)

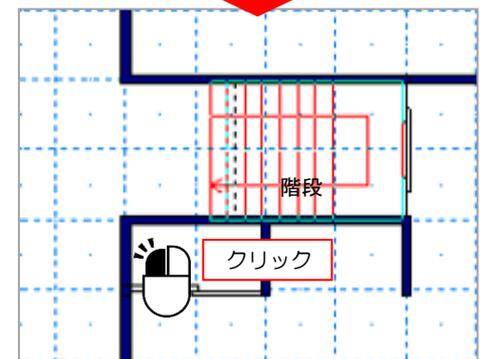
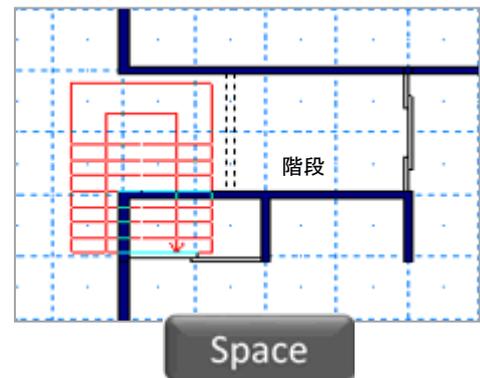


4 下階から上階に向けて、①～⑤の順番で
「追加」ボタンをクリックします。

5 「ささら桁 あり」を選択します。

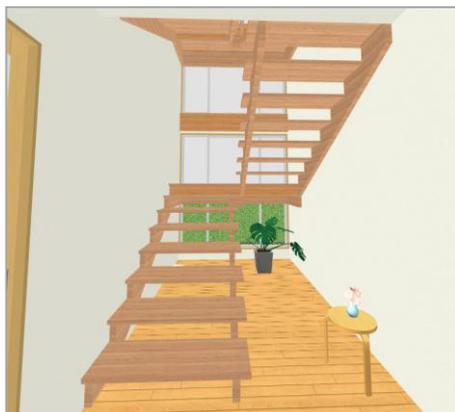
6 「配置」ボタンを
クリックします。

7 【CAD入力画面】でスペースキーを押下して、
階段を90°回転させます。

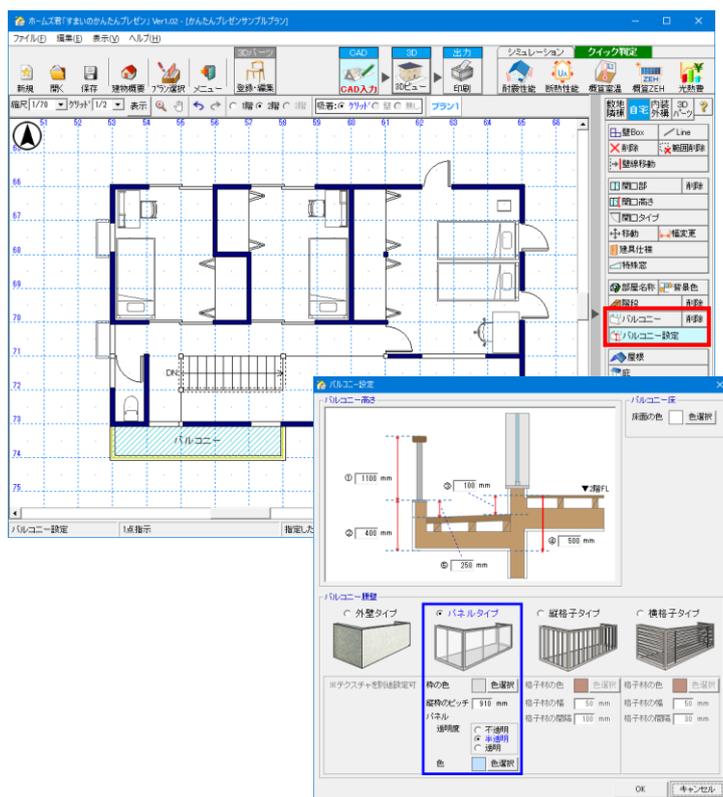


8 1階で、部屋名称に「階段」を設定している
箇所をクリックします。

完成イメージ



3-2-8 バルコニー



- 1 【CAD 入力画面】上にバルコニーの形状を多角形で入力します。
- 2 入力が完了すると【バルコニー設定画面】が開きます。
- 3 必要に応じて、各部位の高さ寸法を変更し、腰壁のタイプを選択します。

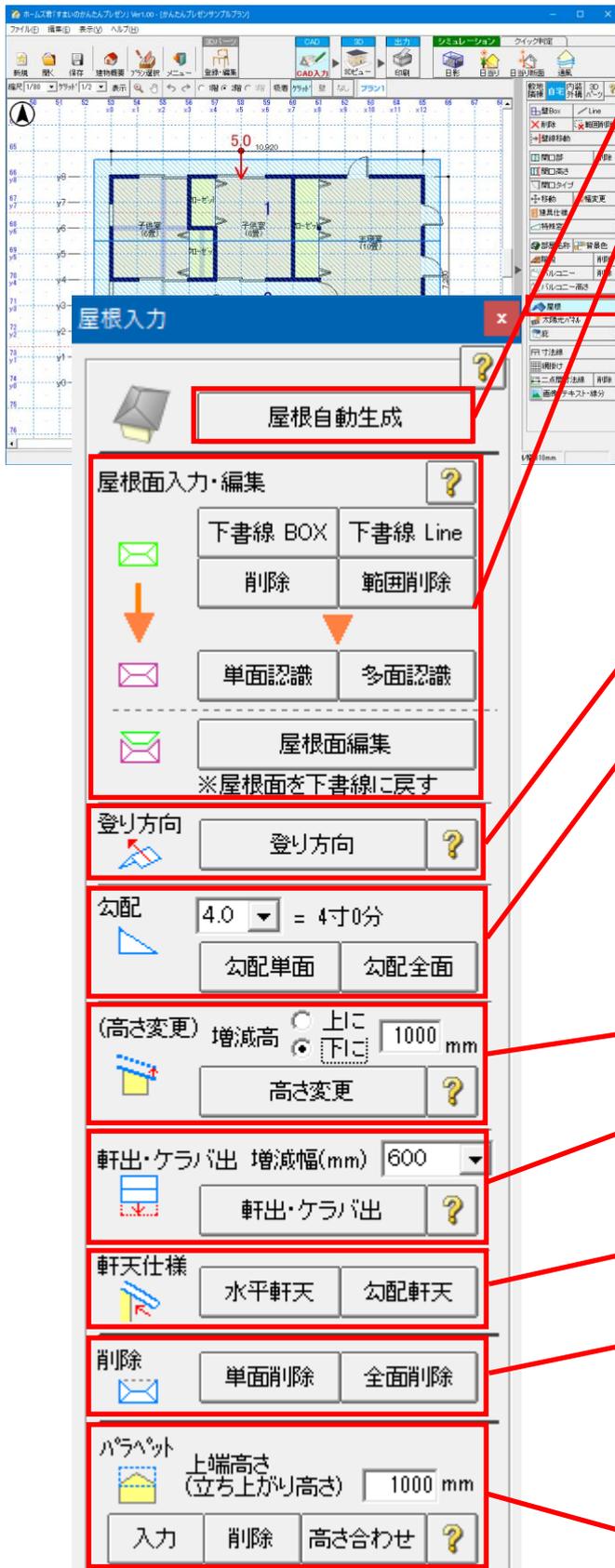
(パネルタイプの腰壁のバルコニー入力例)



バルコニー入力

- 入力の途中で「ESC」キーを押すと、入力全てをキャンセルします。
- 入力の途中で「右クリック」すると、1 つ前の頂点がキャンセルされます。
- 設定内容は「バルコニー設定」ボタンからいつでも変更可能です。

3-2-9 屋根



■屋根自動生成

建物概要の屋根関連設定の設定値に応じて、屋根を自動生成します。

■屋根面入力・編集

▼下書線 BOX、下書線 Line
屋根下書線を描きます。

▼削除、範囲削除
下書線を削除します。

▼単面認識、
下書線で囲まれた多角形において、
最外周の多角形を屋根面として認識します。

▼多面認識
下書線で囲まれた多角形において、
全ての多角形を屋根面として認識します。

▼屋根面編集
指定した屋根面を下書線に戻します。

■登り方向

屋根に登り方向を設定します。

■勾配

▼勾配寸法
屋根勾配を設定します。

▼勾配単面
指定した屋根面に勾配を設定します。

▼勾配全面
作業中の階にあるすべての屋根面の勾配を
設定します。

■高さ変更

増減高を指定して屋根の高さを変更します。

■軒出・ケラバ出

増減幅を指定して軒出・ケラバ出の長さを変更します。

■軒天

軒天の形状を設定します。

■削除

▼単面削除
指定した屋根面を削除します。

▼全面削除
作業階の全ての屋根面を削除します。

■パラペット

上端高さ（立ち上がり高さ）を指定して
屋根上にパラペットを入力します。
建物の外周線上にのみ入力できます。

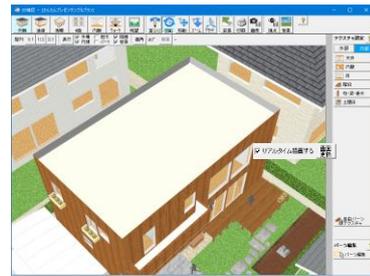
屋根自動生成の例



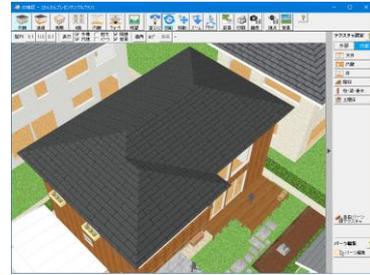
屋根面ごとに異なる勾配を設定したり、同じ階で屋根の種類を混在させたりする場合は、手動で屋根を作成する必要があります。

■屋根入力の実例については
⇒事例集（屋根入力）をご参照下さい。

（屋根作成前）



（屋根作成後）



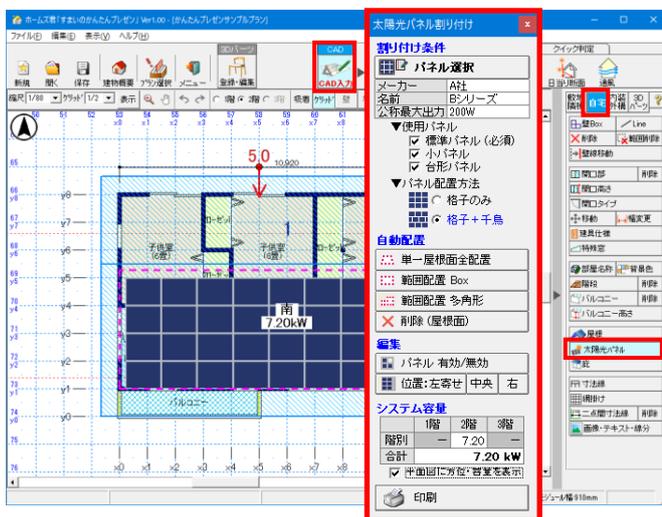
（切妻）



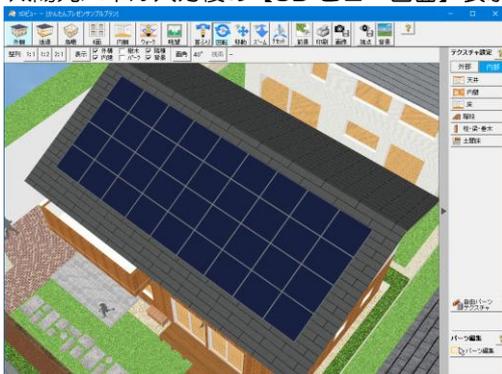
（大屋根）



3-2-10 太陽光パネル



太陽光パネル入力後の【3Dビュー画面】表示例



■前提条件

- あらかじめ、屋根を入力しておきます。

■入力方法

1. パネルを配置する屋根面を選択します。
2. 「自動配置」から配置方法を選択します。
3. 単一屋根面全配置以外は手動によるBox、または、多角形入力でパネル配置面を入力します。

- 「割り付け条件」で、使用するパネル、配置方法を選択できます。

- 「編集」で、パネルの有効/無効の設定、配置位置の微調整ができます。

- パネルを削除する場合は、「自動配置」の「削除」ボタンを押下後、対象の屋根面をクリックします。選択した屋根面上の全パネルが削除されます。一部のパネルのみを削除することはできません。

3-2-11 網掛け

網掛けを用いて、【CAD 入力画面】上で床や玄関の目地などを表現することができます。
網掛けの設定は【3D ビュー画面】には反映されません。

例：リビングのフローリングの目地を網掛けで入力

1 塗りつぶし色、網掛け線のパターン、間隔、色を選択します。
※設定内容はプレビュー欄で確認できます。

2 入力方法を
・部屋単位
・BOX
・多角形
から選択します。
※ここでは「部屋単位」を選択します。

3 網掛けを入力する部屋にマウスポインタを合わせます
(対象の部屋が赤く強調表示されます)。

4 網掛けを入力する部屋をクリックします。

3-2-12 LINE (線分) 入力

【CAD 入力画面】に任意の線分を引きます。
間崩れした位置に3Dパーツ等を配置する際のガイドラインとしても使用できます。

- 線の太さ、線の種類、線の色を選択し、【CAD入力画面】上に二点入力します。
- 「編集」メニューをクリックし、LINEを左クリックすると「移動」、右クリックでサブメニューが表示されます。
※「削除」「編集」「複製」機能が選択できます。



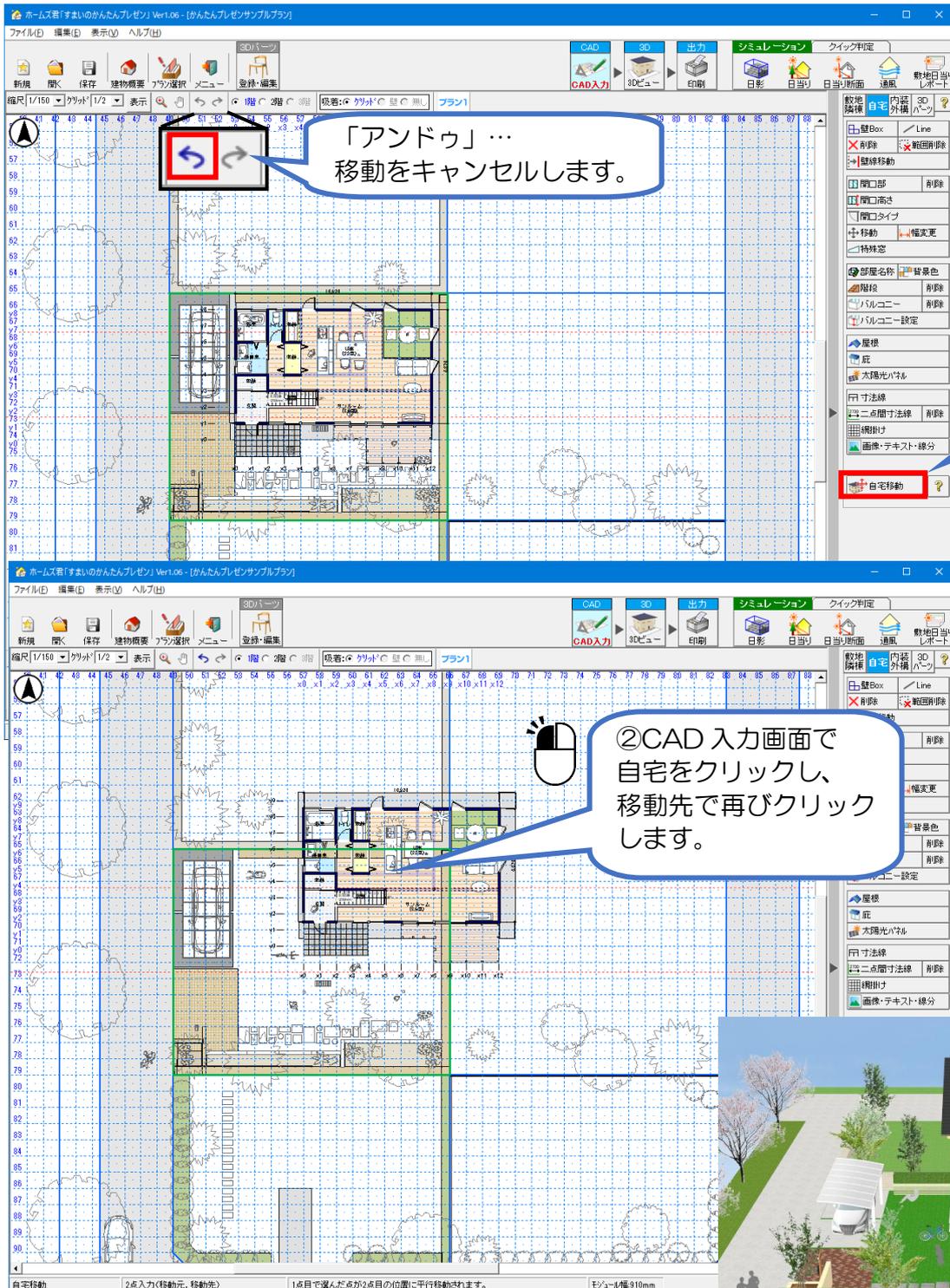
3-2-13 自宅移動

- ・入力した「自宅」関連項目（※右記参照）をまとめて上下左右に移動します。
 - ・既に自宅を入力後でも、自宅敷地内での微調整等ができます。
 - ・「敷地」は移動しません。
- ※アンドゥボタンで移動のキャンセル（元に戻す）が出来ます。

■「自宅移動」で移動する項目

- ・【自宅】…全項目（間取り）
- ・【内装・外構】…自宅敷地内の「内装」全項目、「外構」のポーチ床・柱、犬走り、ウッドデッキ
- ・【3Dパーツ】…自宅敷地内のキッチン～その他室内品、人物
- ・【自由パーツ】…自宅敷地内の高さが「床面から」「天井付け」指定の項目

※移動後、自宅敷地から出た項目は対象外になりますのでご注意ください。



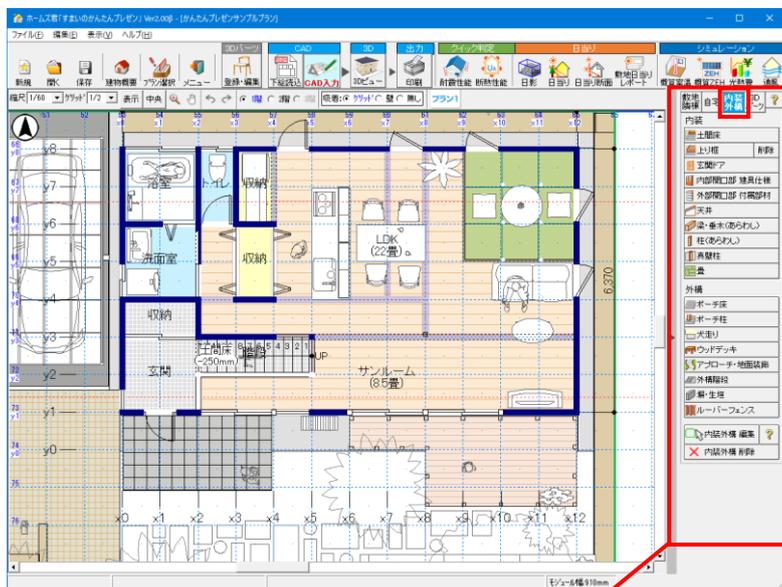
自宅移動後イメージ



3-3 内装・外構の入力

自宅入力後に入力します。

「内装・外構」部材には【3Dビュー画面】でテクスチャ設定をすることもできます。(一部除く)



Tips 利用可能なマウス操作

操作	コマンド
右クリック	入力操作のキャンセル
両ボタン クリック	クイック縮尺変更 メニュー表示 ※P6
ホイール回転	画面上下スクロール
Ctrl+ ホイール回転	画面縮尺変更

土間床

1階FLからの下がりりで3D表現します。

玄関ドア

汎用ドアの他、メーカー品も選択できます。(テクスチャ設定済)

天井

水平天井、勾配天井、天井なしの設定をすることができます。

ポーチ柱

1階屋根、バルコニー、庇の下のポーチ柱は高さが自動調整されます。



上り框

土間床の辺に配置します。

内部開口部 建具仕様

内部ドアを選択します。(テクスチャ設定済)

外部開口部 付属部材

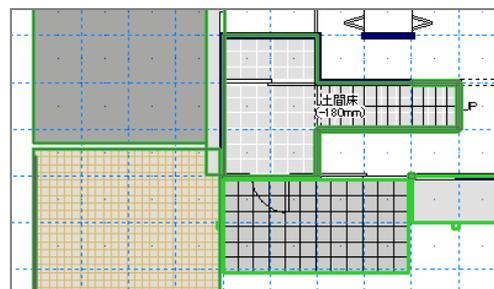
外壁に面した開口部の付属部材を設定します。

梁・垂木のあらわし、柱、真壁柱

【3Dビュー画面】であらわし表現したいところのみ入力してください。

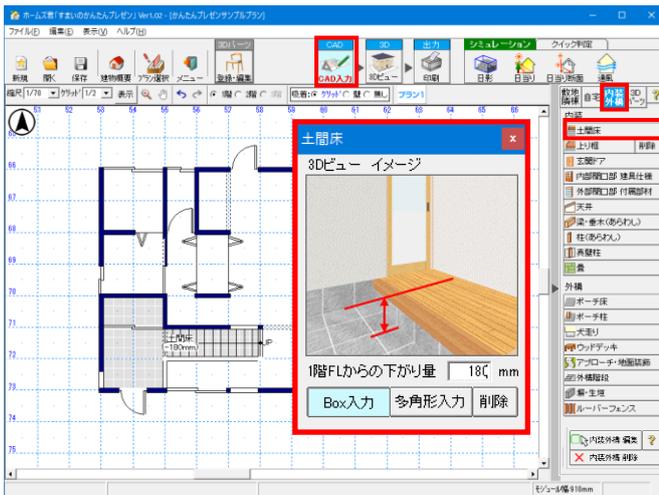
内装外構 編集

入力した「内装・外構」部材の移動・編集・削除ができます。編集可能な部材が緑色の枠で囲まれます。





3-3-1 土間床



■入力方法

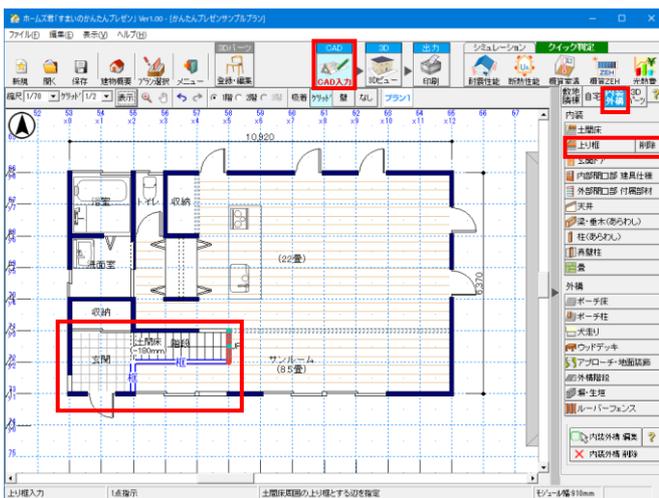
・1階床面からの下がり量を指定し、Box、または多角形入力で土間床を入力します。

・土間床を削除する場合は[土間床範囲設定画面]の「削除」ボタンを押下し、対象の土間床をクリックします。

■ポイント

・土間床は1階にのみ作成可能です。

3-3-2 上り框



■入力方法

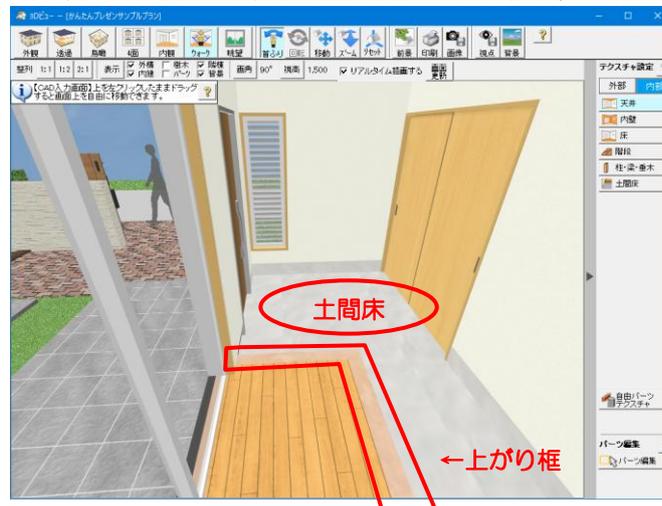
・土間床の辺をクリックすることで上り框が入力できます。マウスマウスカーソルを合わせると、赤く強調表示されます。

・削除する場合は、「上り框」ボタン右の「削除」ボタン押下後、対象の上り框をクリックします。

Tips 上り框の入力

あらかじめ、土間床を入力しておきます。

土間床、上がり框入力後の【3Dビュー画面】表示例

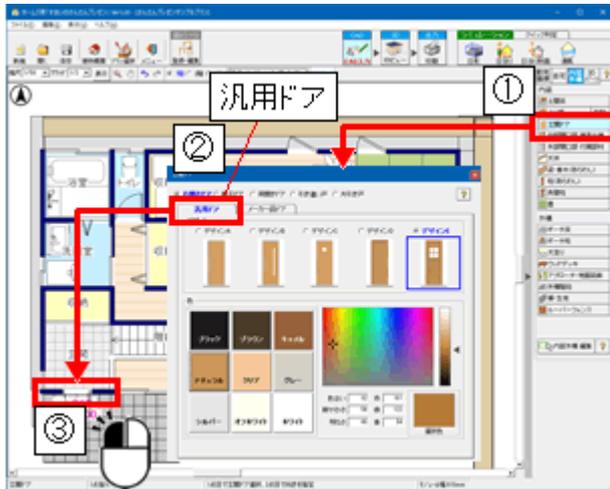


3-3-3 玄関ドア

■事前準備

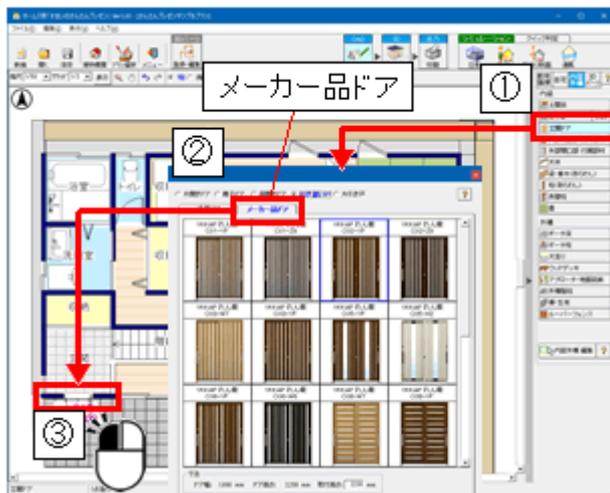
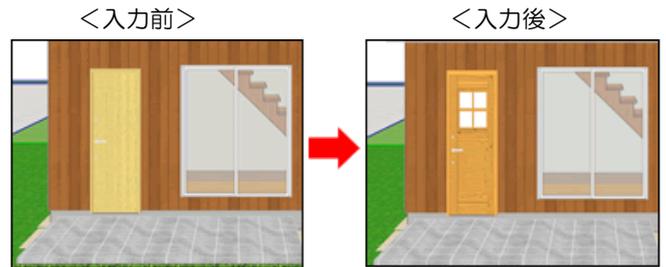
- 「玄関ドア」を入力する前に、あらかじめ【CAD入力画面】-「自宅」で、部屋名称が「玄関」と設定された部屋に開口部（※）を入力しておきます。
※上記の部屋で、建物の外周上にある掃き出し型の開口部を「玄関ドア」と認識します。

■玄関ドア



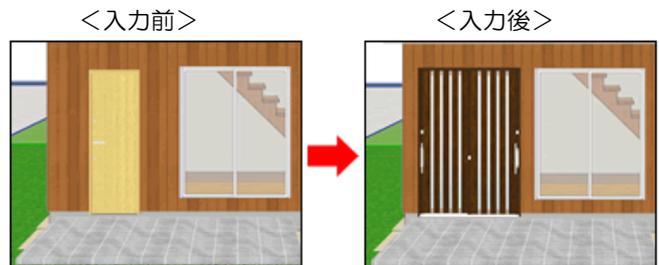
Tips 「汎用ドア」の寸法

【CAD入力画面】-「自宅」で設定した開口幅・開口高さ・取付高さに自動調整します。



Tips 「メーカー品ドア」の寸法

メーカー品ドアの幅・高さは、メーカー指定の寸法のため変更出来ません。このため、【CAD入力画面】の玄関ドアをクリックした時点で、メーカー指定の寸法に自動調整します。



※メーカー品ドアは、取付高さのみ指定可能です。必要に応じて、入力して下さい。

3-3-4 内部開口部 建具仕様、外部開口部 付属部材

■設定方法

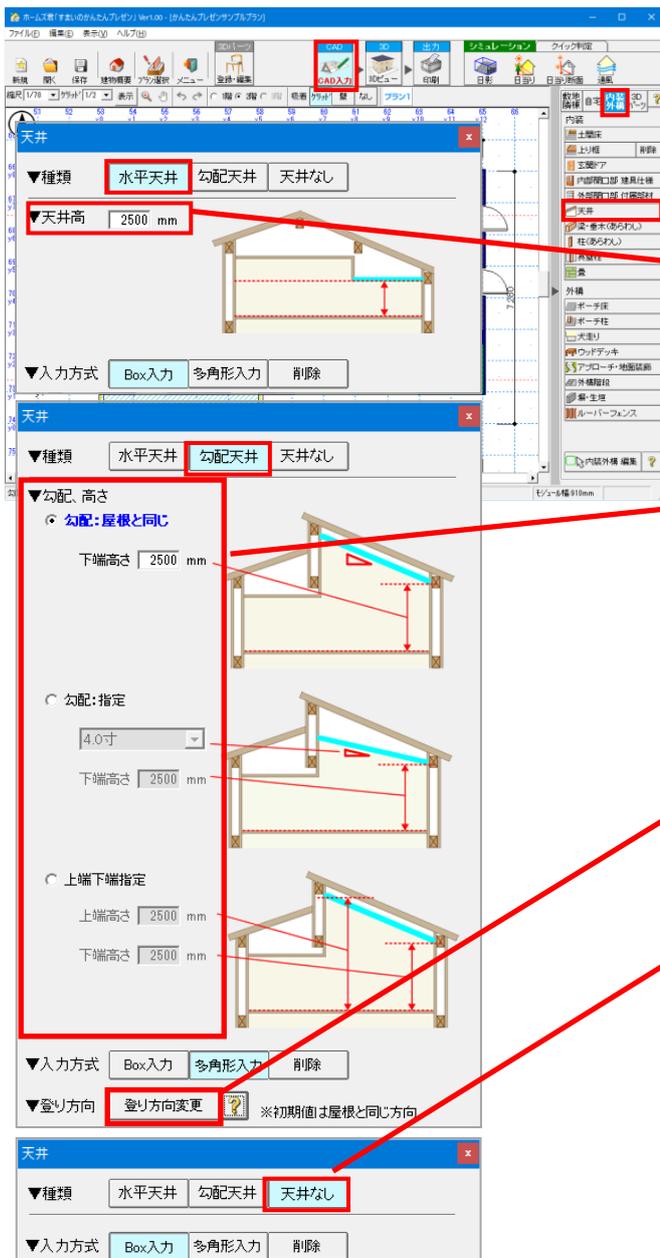
- 建具仕様/付属部材を選択後、【CAD入力画面】で設定したい開口部をクリックします。



▼外部開口部 付属部材
 ・外壁にある開口部に対して付属部材を設定します。
■ポイント
 ・ここで設定した付属部材の情報は省エネ診断エキスパートには連動されません。別途設定が必要です。

▼内部開口部 建具仕様
 ・「開口タイプ」が「戸」で、かつ外壁にない開口部に対して設定します。
■ポイント
 ・「障子戸」が選択できるのは、「開口タイプ」が「片引き」「引き違い」のいずれかの場合です。

3-3-6 天井



■入力方法

• 高さや勾配を指定したのちに、Box、または多角形で天井の範囲を入力します。

• 天井の種類は、「水平天井」、「勾配天井」「天井なし」から選択します。

• 水平天井

天井高を指定します。設定する高さにより、上り天井、または、下がり天井になります。初期状態では、全ての天井は建物概要で設定した天井高の水平天井になっています。

• 勾配天井

上端・下端の高さ、勾配を指定します。

勾配の設定方法は、

①屋根と同じ勾配とする

②天井の勾配を直接指定する

(異なる向きの勾配の屋根面にまたがる

勾配天井も入力できます。

[登り方向変更]で行ってください)

③上端と下端の高さによって勾配を決めるの3通りがあります。

• 天井なし

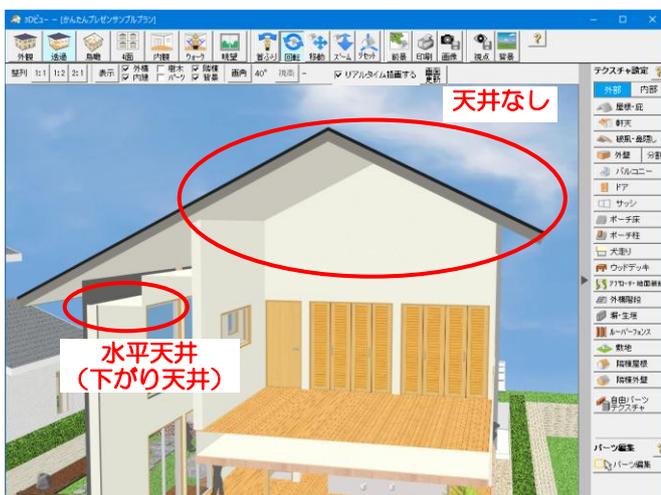
範囲のみ指定します。

• 削除する場合は、[天井画面]の「削除」ボタン押下後、対象の天井をクリックします。

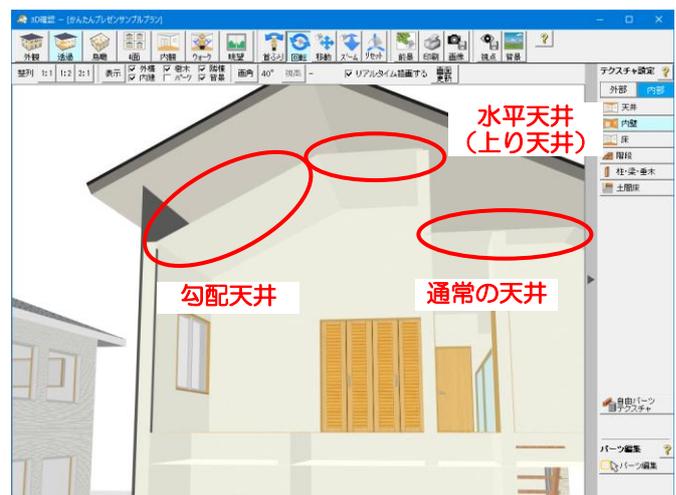
■ポイント

• 入力結果は、3Dビューの「透過」モードでリアルタイムに確認することができます。

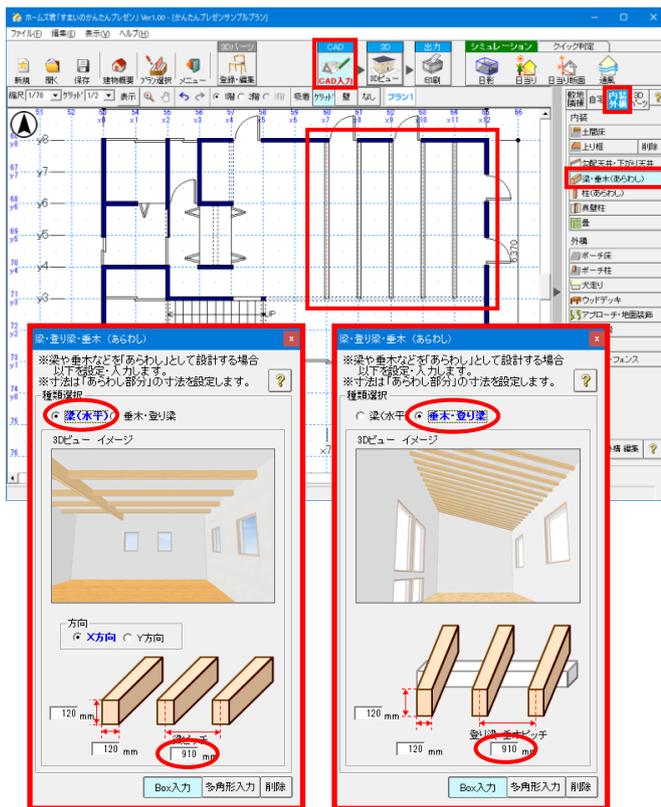
透過モードでの表示例①



透過モードでの表示例②



3-3-7 梁/垂木 (あらわし)



■入力方法

- 対象の部材の高さ、幅、ピッチ、方向（梁のみ）を指定し、Box、または、多角形を入力すると、入力した範囲内に、指定したピッチ幅で、選択した部材が入力できます。部材の種類、向きが同じであれば、広範囲でも一度に入力することができます。

- 部材の長さは入力範囲によって決まります。

- 削除する場合は、[梁/垂木画面]の「削除」ボタンを押下後、対象の部材をクリックします。

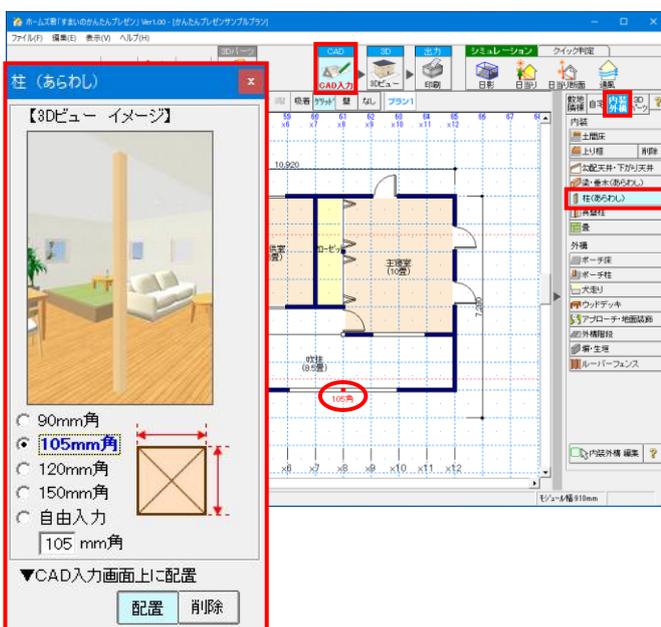
■ポイント

- 垂木は複数の屋根面をまたがないように入力します。

梁入力後の【3Dビュー画面】表示例



3-3-8 柱



■入力方法

- 柱の寸法を選択し、「配置」ボタン押下後、柱を入力したい場所をクリックします。

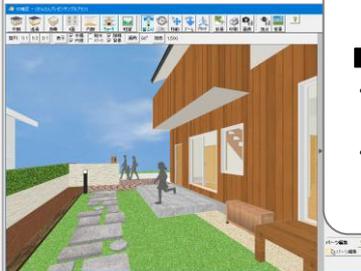
- 削除する場合は [柱 (あらわし) 画面] の「削除」ボタン押下後、対象の柱をクリックします。

■ポイント

- あらわしの柱を表現したい場合にのみ入力します。



3-3-9 ポーチ床



テクスチャ設定後の
【3D ビュー画面】表示例

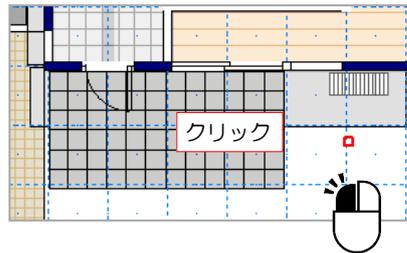
■入力方法

- 高さを指定し、Box、または、多角形でポーチ床を入力します。
- 必要に応じて、網掛けの設定ができます。
- ポーチ床の高さと配置高さは、入力後も以下の手順で編集できます。
 1. 「内装外構 編集」ボタンを押下する
 2. 対象のポーチ床にマウスカーソルを合わせる（緑色で強調表示されます）
 3. 右クリックで表示されるメニューで「編集」をクリックする
 4. 表示される【ポーチ床画面】で必要な項目を編集する

■ポイント

- 網掛けの設定は【CAD 入力画面】でのみ確認できます。
- テクスチャは【3D ビュー画面】で設定します。詳細については、「3-2 テクスチャ設定」を参照ください。

3-3-10 ポーチ柱



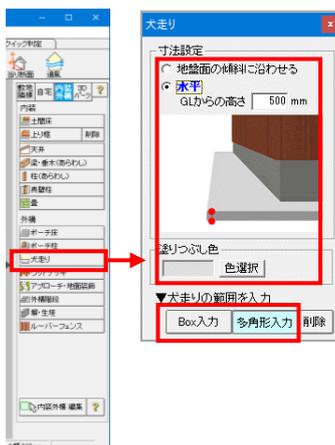
入力方法

- 1 外装材の有無、柱脚金物の有無、断面寸法を指定します。
- 2 【CAD 入力画面】でポーチ柱を入力したい場所をクリックします。

ポーチ柱入力

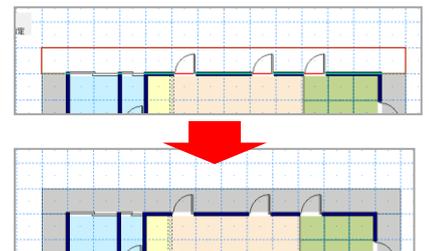
- ※ポーチ柱の高さは、2階床面までの高さになります。
- ※1階屋根、パルコニー、庇の下に入力した場合、ポーチ柱の高さは自動調整されます。

3-3-11 犬走り



入力方法

- 1 GL からの高さを入力し、色を選択します。
- 2 入力方法を、Box、多角形から選択します。
- 3 【CAD 入力画面】に犬走りの形状を入力します。

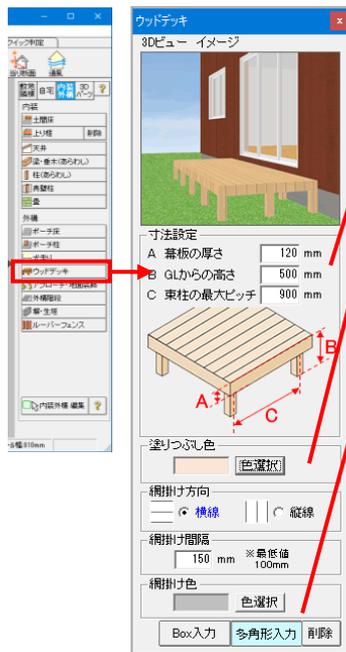


犬走り（傾斜地）

- 傾斜地に犬走りを入力したい場合は、「地盤面の傾斜に沿わせる」を選択します。このとき、GL からの高さは 0mm になります。



2-3-12 ウッドデッキ



入力方法

1 幕板の厚さ、GLからの高さ、束柱の最大ピッチを入力します。

2 塗りつぶし色、網掛け線の方向、間隔、色を選択します。

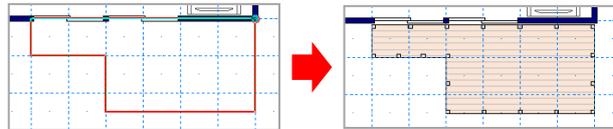
※初期値が設定されているため、1、2を省略してもウッドデッキを入力可能です。

3 入力方法を、Box、多角形から選択します。

4 【CAD入力画面】にウッドデッキの形状を入力します。

Tips 網掛け表示

※網掛けの設定は【3Dビュー画面】には反映されません。



3-3-13 アプローチ・地面装飾



入力方法

1 塗りつぶし色、網掛け線のパターン、間隔、色を選択します。

※初期値が設定されているため、省略可能です。

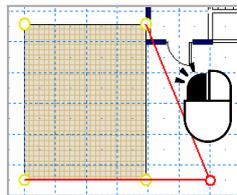
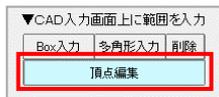
2 入力方法を、Box、多角形から選択します。
※設定内容はプレビュー欄で確認できます。

3 【CAD入力画面】に形状を入力します。

Tips 頂点編集

入力後、頂点の移動ができます。

対象の頂点をクリックし、マウスを動かして移動します。(ドラッグはしません)

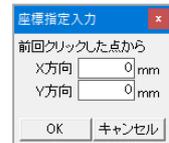


Tips アプローチ・地面装飾入力

入力の途中でスペースキーを押すことで、直前に入力した点から、X方向Y方向それぞれの距離(mm)を指定して入力することも可能です。

※Box入力の場合は、対角の位置を指定します。

※網掛けの設定は【3Dビュー画面】には反映されません。



3-3-14 内装外構 編集



■概要

【CAD入力画面】で、内装・外構部材に対する編集（移動・回転・削除等）が行えます。

■編集方法

1. 「内装外構 編集」ボタンを押下する
(編集可能な部材が緑色の枠で強調表示されます)
2. 編集対象の部材にマウスカーソルを合わせる(緑色の枠がさらに強調されます)
3. 右クリックで表示されるメニューで行いたい操作を選択する

※左クリックで内装・外構の移動ができます。

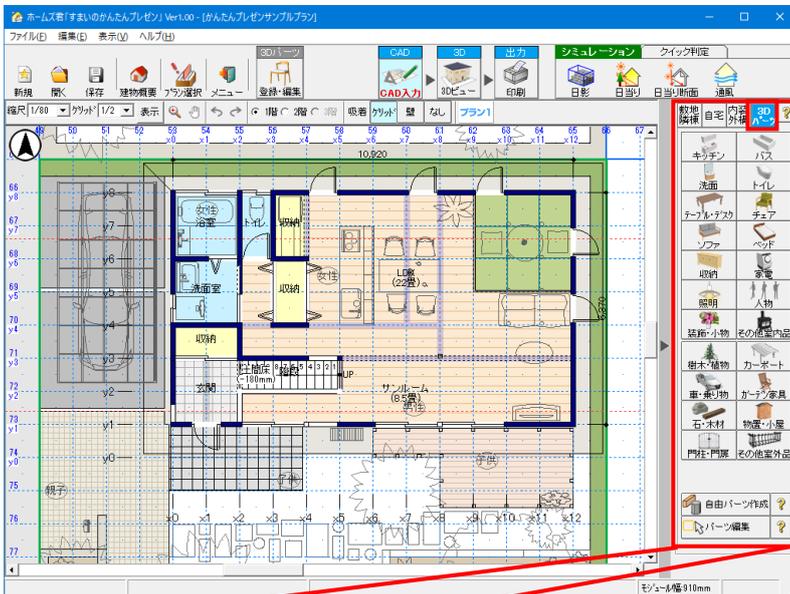
■ポイント

・行える操作は、部材によって異なります。



3-4 3Dパーツの入力

- ・登録済みの「3Dパーツ」と、直方体や任意形状の「自由パーツ」があります。
- ・「3Dパーツ 登録・編集」から、3Dパーツの登録や新規作成もできます。詳細は「操作マニュアル(3Dパーツ登録編)」を参照ください。



Tips 利用可能なマウス操作

操作	コマンド
右クリック	入力操作のキャンセル
両ボタン クリック	クイック縮尺変更 メニュー表示 ※P6
ホイール回転	画面上下スクロール
Ctrl+ ホイール回転	画面縮尺変更



3D パーツ一覧

カテゴリごとに呼び出すことができます。
お気に入りを設定することができます。

自由パーツ作成

3D パーツにないパーツを手軽に作成できます。
造り付け家具や外構を作成するのに便利です。



パーツ編集

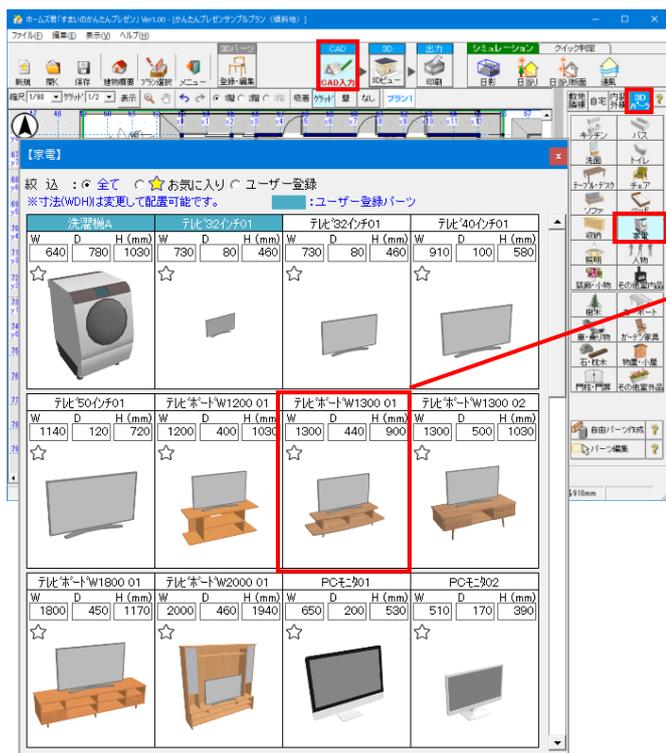
「3Dパーツ」「自由パーツ」の編集（移動・回転・削除等）や、【3Dビュー画面】での表示／非表示の設定を行います。
編集可能なパーツが黄色の枠で囲まれます。



軸を中心に反転します。

反転の例

3-4-1 3Dパーツ



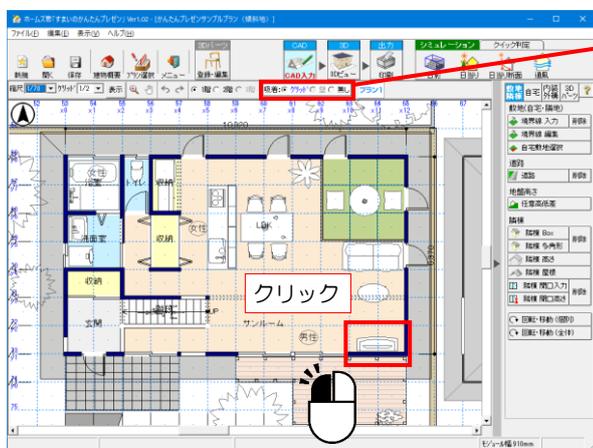
入力方法

- 1 3D パーツのカテゴリを選択します。
- 2 一覧から配置する 3D パーツを選択します。

3D パーツ入力

- ※寸法を編集することができます。
- ※ユーザーが登録した 3D パーツはパーツ名の背景色で判別できます。
- ※パーツ左上の☆をクリックするとそのパーツがお気に入りに追加されます。 → 再度クリックすると解除されます。
- ※カテゴリ内に直近で選択したパーツがある場合は、そのパーツが選択状態になります。

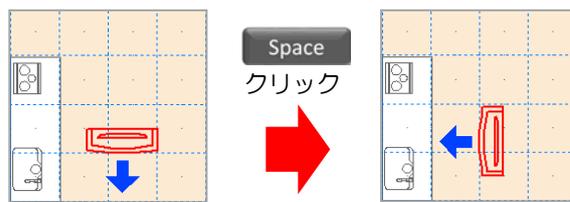
3 【CAD 入力画面】上で、パーツを配置したい場所をクリックします。



※必要に応じて、吸着モードを選択することで、パーツを壁、または、グリッドに吸着させることができます。

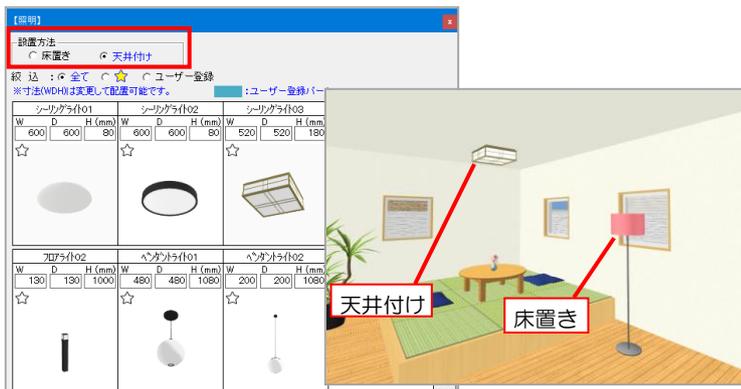


※配置前にスペースキーを押すとパーツを時計回りに 90°ずつ回転させることができます。

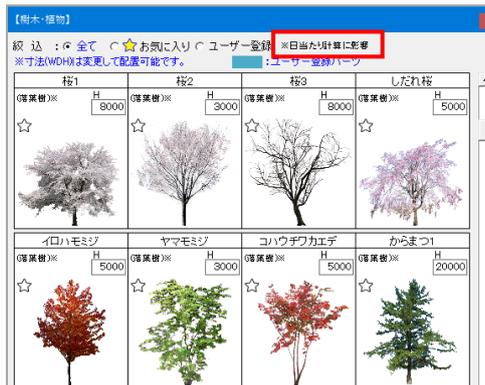


照明の配置

※【照明】カテゴリ内のパーツは、設置方法を「床置き」「天井付け」から選択することができます。



※【樹木・植物】カテゴリ内の、「※」印のあるパーツは、日当たり計算に影響します。

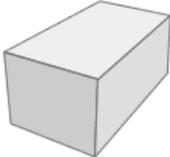


3-4-2 自由パーツ作成

- ・簡易な形状の内装・外構部材等を作成するための機能です。
- ・種類は、「直方体」「正多角柱」「押出」の3種類です。
- ・並べたり、組み合わせたりすることで独自の形状を表現することができます。
- ・3Dビュー画面でテクスチャを設定可能です。

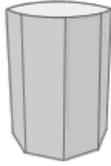
自由パーツ作成

自由パーツの種類を選択してください。



直方体

造作棚などの制作のほか、戸袋や腰板張り壁などの部分的に仕上(テクスチャ)の異なる壁や天井の作成などが行えます。



正多角柱

ツリーサークルや円形(多角形)テラス、丸太など、円柱状の形状作成に利用します。

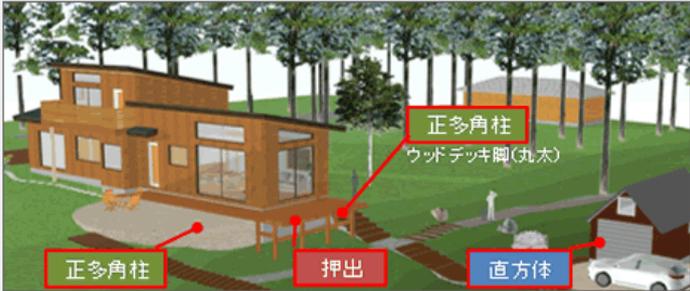


押出

L型の門柱や花壇などの不定形な3Dパーツの作成に利用します。パーツの底面(断面)をCAD入力画面で多角形入力します。

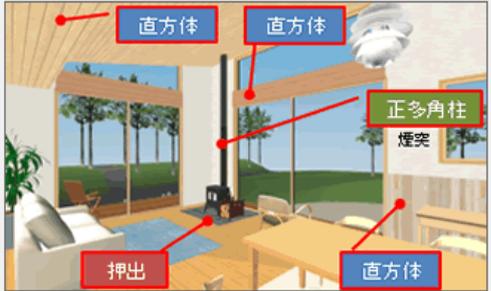
▼作成イメージ

<外観>



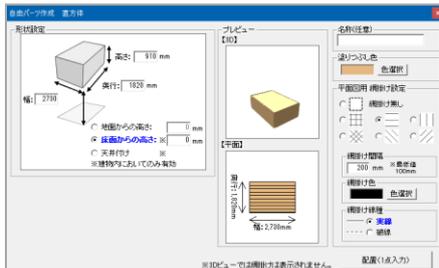
円形テラス 多角形のデッキ ガレージのシャッター

<内観>

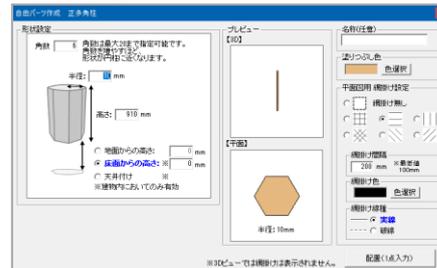


薪ストーブ下のタイル 腰板張り壁

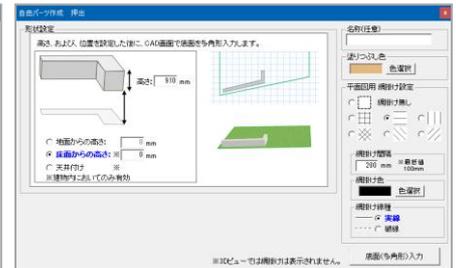
▼直方体



▼正多角柱



▼押出



※自由パーツ作成の操作方法・作成例については、「事例集(自由パーツ作成)」をご参照下さい。

▼自由パーツの作成例

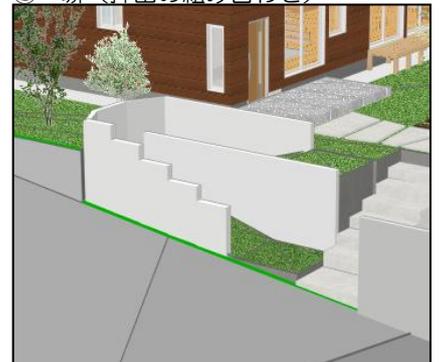
①：本棚 (直方体の組み合わせ)



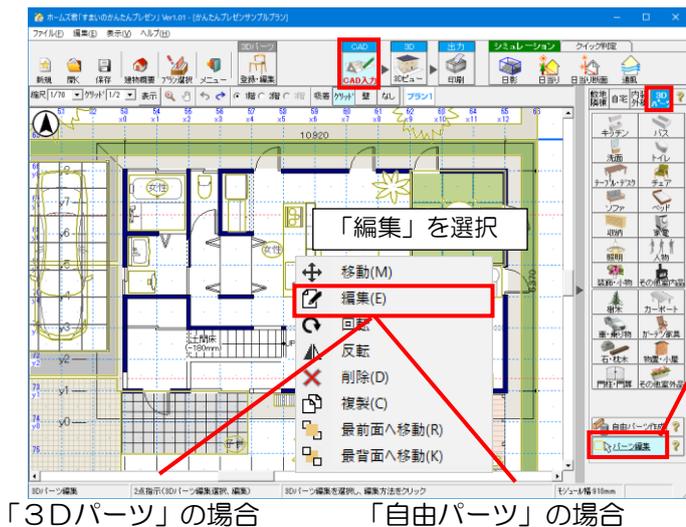
②：椅子 (正多角柱)



③：塀 (押出の組み合わせ)

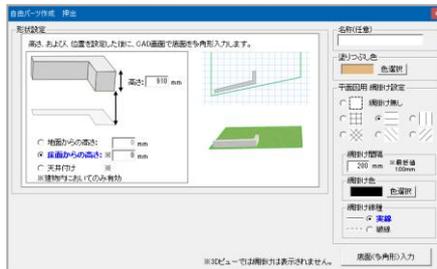
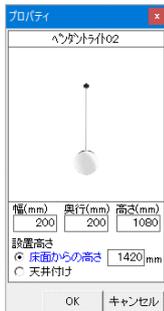


3-4-3 パーツ編集



「3Dパーツ」の場合

「自由パーツ」の場合

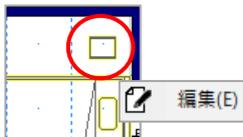
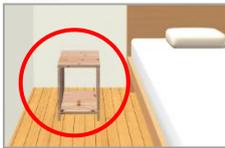


高さ、設置高さ、【CAD入力画面】での網掛け設定を変更できます。

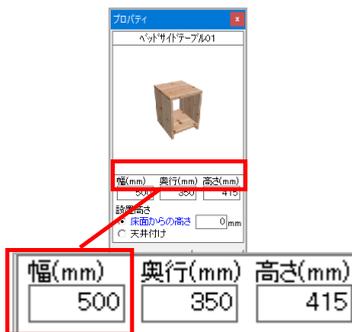
幅、奥行、高さ、設置高さを
変更できます。
寸法の縦横比は固定されません。

■「3Dパーツ」の編集例

編集前

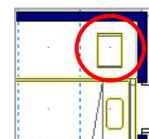
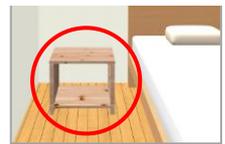


①対象のパーツを右クリックし、
「編集」を選択します。



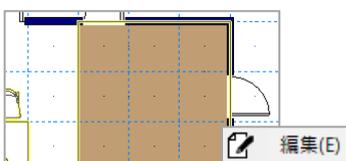
②幅を変更し、
「OK」ボタンを押します。」

編集後



■「自由パーツ」の編集例

編集前



①対象のパーツを右クリックし、
「編集」を選択します。



②高さを変更し、「OK」ボタンを
押します。

編集後



■概要

- ・【CAD入力画面】で、「3Dパーツ」、
「自由パーツ」に対する編集
(移動・回転・削除等)が行えます。

■編集方法

1. 「パーツ編集」ボタンを押下する
(編集可能なパーツが黄色の枠で強調表示
されます)
2. 対象のパーツにマウスカursorを合わせる
(黄色の枠がさらに強調されます)
3. 右クリックで表示されるメニューで
行いたい操作を選択する

※左クリックでパーツの移動ができます。

■ポイント

- ・行える操作は、パーツによって異なります。

4. 3Dビュー

【3Dビュー画面】では、3D画像の確認の他、テクスチャ設定や前景・背景の設定等を行います。

ビューモード

整理 1:1 1:2 2:1 表示 外構 内建 樹木 パーツ 隣棟 影 背景 影設定 12/22 07:00 画角 40° 視高 19.6m 画面更新 自動更新

【外観】CAD入力画面上をマウス操作すると、視点位置を変更可能
○注視点を中心に回転
○任意の位置で首ふり視線方向の変更
○注視点の移動
【透過】外壁を非表示にすることで、様々な角度から建物内の確認が可能
【鳥瞰】
【透過】・【鳥瞰】は、【外観】と同じ操作が可能

【内観】CAD入力画面上をマウス操作すると、視点位置を変更可能
※建物外部を1点目とすることも可能
【ウォークスルー】CAD入力画面上をドラッグすると、3Dビュー画面と連動して確認可能
【眺望】CAD入力画面上の窓をクリックすると、窓からの眺望が確認可能
※隣棟から自宅の見え方チェックも可能
【4面】4方向(東西南北)から外観の確認が可能(視点操作は不可)

視点操作

整理 1:1 1:2 2:1 表示 外構 内建 樹木 パーツ 隣棟 影 背景 影設定 12/22 07:00 画角 40° 視高 19.6m 画面更新 自動更新

【首ふり】
・CAD入力画面
クリック1点目で視点位置を決め、2点目で視点方向の変更可能
・3Dビュー画面
マウスをドラッグすると、視線を上下左右に変更可能

【回転】
・マウスをドラッグすると、注視点を中心に上下左右に回転が可能

【移動】
・マウスをドラッグをした方向に移動が可能

【ズーム】
・マウスをドラッグするとズーム可能
※マウスホイールでも同じ操作が可能

【リセット】
・ビューモードを【外観】・【回転】として、視点と注視点を初期位置に変更

【整列】
・CAD入力画面と3Dビュー画面の画面の表示比率を設定

【表示】
・3Dビュー画面に表示する項目の切り替えが可能
・「ホワイトモデル」への切り替え可能
・「輪郭線」の表示・非表示の切り替えが可能
・「破風鼻隠しの厚み」設定が可能

【画角】
・3Dビュー画面の見え方を設定
<画角の推奨値> 【外観】 【透過】 【鳥瞰】 の場合：40°
【内観】 【ウォークスルー】 【眺望】 の場合：90°
<画角による見え方の違い>
【外観】画角40° 画角90° 【内観】画角40° 画角90°

【視高】
・3Dビュー画面の視点高さは、「1.5m」、「1.2m」、「0.8m」から選択可能
「1.5m」 「1.2m」 「0.8m」

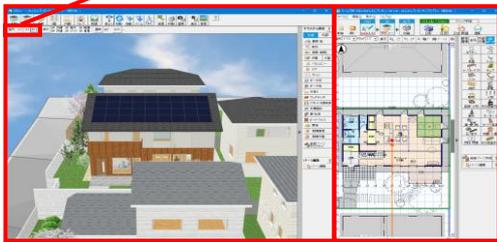
【自動更新】
・自動更新ON(初期値) : 入力内容が、リアルタイムで3Dビュー画面に反映
・自動更新OFF : 入力内容が、「画面更新」をクリックボタン時に3Dビュー画面に反映

4-1 表示設定

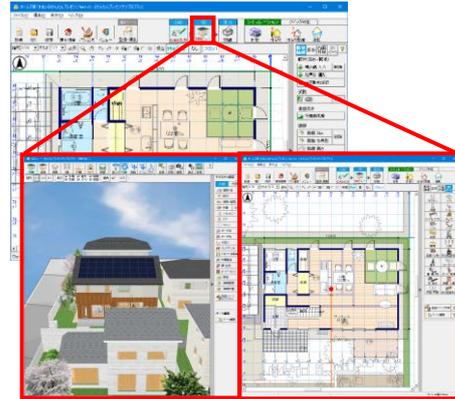
各ビューモードや視点操作に共通する表示の設定を行います。



4-1-1 整列

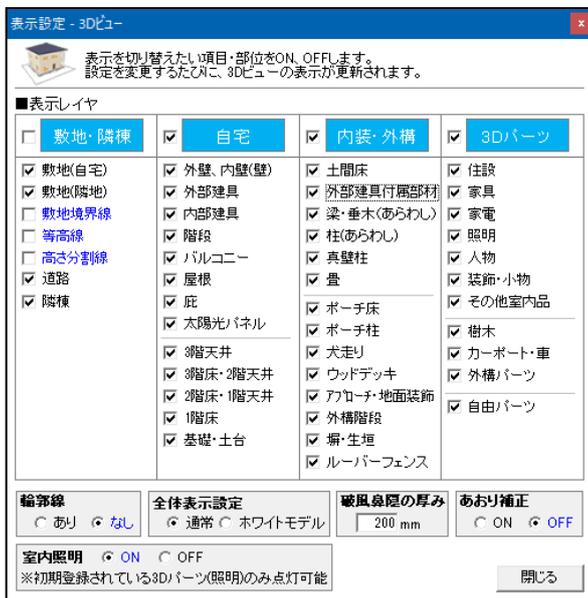


【CAD入力画面】と【3Dビュー画面】の画面表示比率を「1:1」「1:2」「2:1」に変更します。



初期値は 1:1 で整列します。

4-1-2 表示設定



■表示レイヤ

項目毎に【3Dビュー画面】での表示/非表示を切り替える事ができます。

■輪郭線

「自宅」「内装・外構」部材に対し、輪郭線の有無を設定します。(初期値：なし)

■全体表示設定



通常



ホワイトモデル
「敷地・隣棟」以外は白で表現します。

■破風鼻隠の厚み

破風・鼻隠の厚みを設定します。



■あおり補正

ON のとき、画角が大きい場合に縦線を垂直に補正します。

■室内照明

ON のとき、照明が点灯します。

※「3D パーツ」に初期登録されている「照明」のみが対象です。



4-1-3 影設定、日当り



■影表示

ON の場合、設定した季節（日付）と時刻の影を表示します。
【外観】モードでは室外、【鳥瞰】【内観】モードでは室内の、日当り具合や影の付き方を確認できます。

▼気象観測点

気象観測点の緯度経度を使って太陽高度計算を行います。
変更は「建物概要」から行ってください。

▼季節(日付)

影表示や日当りタイムラインの日付を設定します。

▼表示レイヤ

「太陽イメージを表示」チェック有りのとき、太陽の位置および建物への入射方向を表示します。

▼日当りタイムライン

一日の日当り具合や影の付き方の遷移を動画で表示します。

【外観】【鳥瞰】【内観】モードを設定しておくことで、室内外の日当りや影を確認できます。
動画保存もできます。



【鳥瞰】



【室内】



【外観】

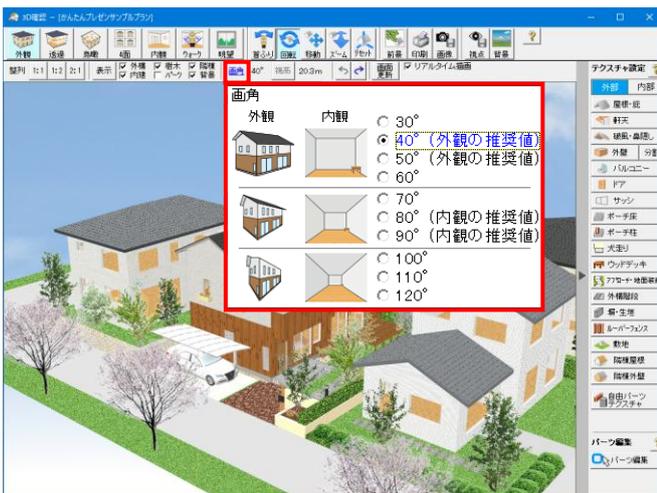
※【透過】モードでの影表示

【透過】では、透過させた手前の壁が存在しないものとして、影が生成されます。

Tips 影設定

【3Dビュー画面】の「表示」画面で非表示としたレイヤ項目、また、個別に非表示としたパーツの影は生成されません。

4-1-4 画角



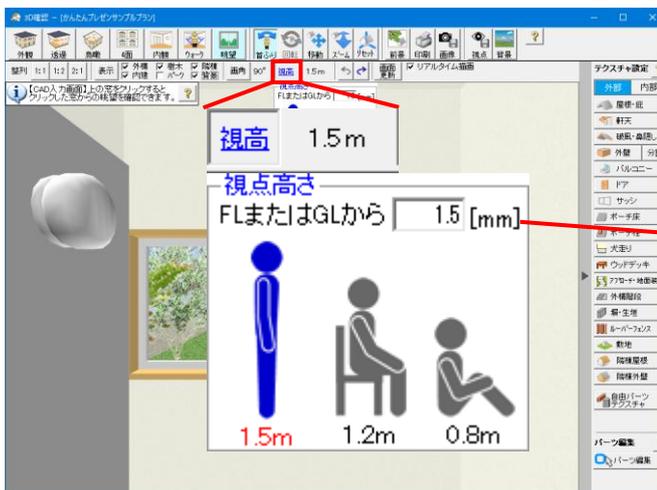
■概要

3Dビューに表示する視野の範囲を角度で設定します。

■ポイント

画角の初期値は、
ビューモード【外観】【透過】【鳥瞰】の時 40°、
【内観】【ウォークスルー】【眺望】の時 90°、
になります。

4-1-5 視点高さ

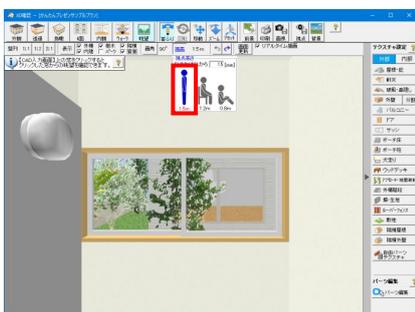


■概要

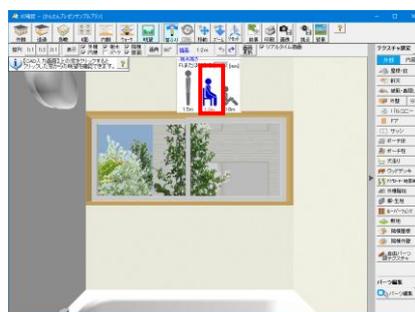
3Dビューでの視点の高さを立位 (1.5m)、椅座位 (1.2m)、床座位 (0.8m) から選択することができます。

数値で直接指定することもできます。

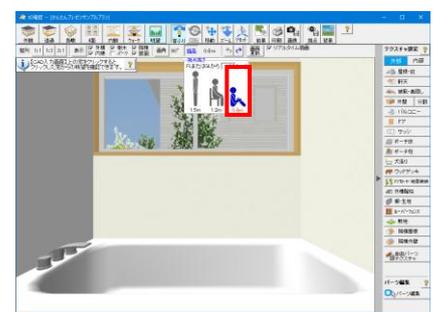
同じ位置でも、設定する視点高さによって見え方が変わります。



(視点高さ 1.5m)



(視点高さ 1.2m)



(視点高さ 0.8m)

4-1-6 視点操作と画角

各ビューモードにおける視点操作と画角の初期値は以下の通りです。

【外観】【透過】【鳥瞰】モード



▼利用可能な視点操作



- 首振り : 任意の視点位置から周囲を見回せます。
- 回転 : 注視点に対して視点位置を移動します。
- 移動 : マウสดラッグをした方向に視点と注視点を移動します。
- ズーム : 視点を前後に移動します。
- リセット : 【外観】モードに変更した上で、視点と注視点を初期位置に戻します。

▼画角の初期値



【外観】【透過】【鳥瞰】モードの場合、画角の初期値は 40° です。画角を変更した場合、上記の3つのモードで維持されます。



【内観】【ウォークスルー】【眺望】モード



▼利用可能な視点操作



- 首振り : 任意の視点位置から周囲を見回せます。
- 回転 : 利用不可
- 移動 : マウสดラッグをした方向に視点を移動します。
- ズーム : 視点を前後に移動します。
- リセット : 【外観】モードに変更した上で、視点と注視点を初期位置に戻します。

▼画角の初期値



【内観】【ウォークスルー】【眺望】モードの場合、画角の初期値は 90° です。

画角を変更した場合、上記の3つのモードで維持されます。



4-2 視点操作

4-2-1 視点操作【CAD入力画面】

【CAD入力画面】では、【3Dビュー画面】の視点操作によって、以下のように表示が切り替わります。

回転・移動・ズーム



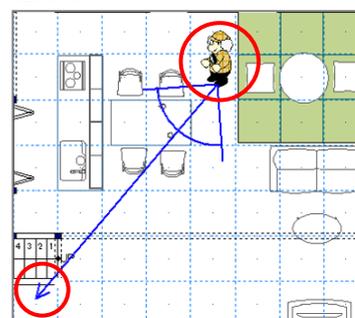
※注視点(●)は掴んで移動できます。(ドラッグ)

視点  
3Dビュー画面の視点

注視点  
見ているところ

視線  
視点-注視点の距離

首振り



※1点目クリックで視点()決定、
マウス操作で視線()の変更、
2点目クリックで決定、で操作できます。

※ウォークスルーは「3-3-5 ウォークスルー」を参照してください。

4-2-2 視点操作【3Dビュー画面】

【3Dビュー画面】では、視点操作を選択後、マウスで操作します。

視点操作	マウス操作(メイン)	動き	マウス操作(サブ)
 首振り	 左ドラッグ	視点・視高は動かさず、 注視点を上下左右に動かします。 ※Shift キーを押すと上下が固定されます。	ホイール：ズーム 右ドラッグ：移動
 回転	 左ドラッグ	注視点は動かさず、 視点を上下左右前後に動かします。 ※Shift キーを押すと上下が固定されます。	ホイール：ズーム 右ドラッグ：移動
 移動	 左ドラッグ	視点距離は変えずに、 視点・注視点を上下左右に動かします。	ホイール：ズーム
 ズーム	 左ドラッグ、 ホイール	注視点は動かさず、 視点を前後に動かします。	右ドラッグ：移動
 リセット	なし	ビューモードが【外観】になり、 視点・注視点が初期位置に移動します。	なし



4-3 ビューモード

4-3-1 外観

【3Dビュー画面】



■概要

視点が建物の外になります。
上下左右・様々な角度から、建物外観がどのように見えるかを確認できます。

■操作説明

視点操作を切り替えて左ドラッグすることで建物外観を確認します。

- ・首振り：視線を上下左右に動かします。
- ・回転：視点を上下左右に移動させます。
- ・移動：視線の方向はそのまま、視点を平行移動します。
- ・ズーム：視点を前進・後退させます。

※視高は変更不可になります。

4-3-2 透過

【3Dビュー画面】



■概要

建物の手前の外壁を非表示にします。視界を遮る手前の樹木、隣棟なども自動的に非表示になります。
様々な角度から、建物の内部を確認できます。

※【透過】での影表示

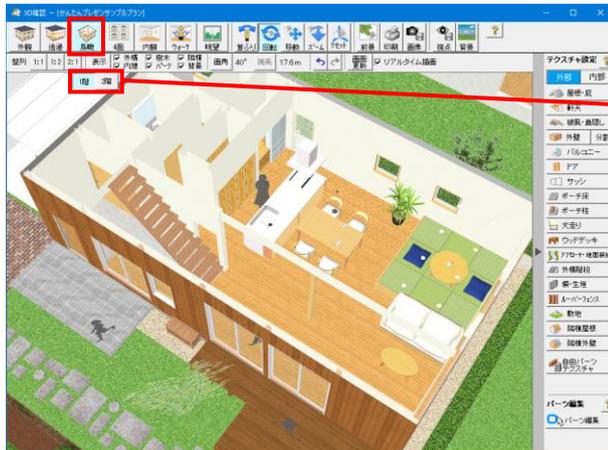
【透過】では、透過させた手前の壁が存在しないものとして、影が生成されます。

■操作説明

「3-3-1 外観」参照

4-3-3 鳥瞰

【3Dビュー画面】



■概要

建物の屋根・天井を非表示にします。
建物の上空から、建物内部を確認できます。
表示階の切り替えもできます。

■操作説明

「3-3-1 外観」参照

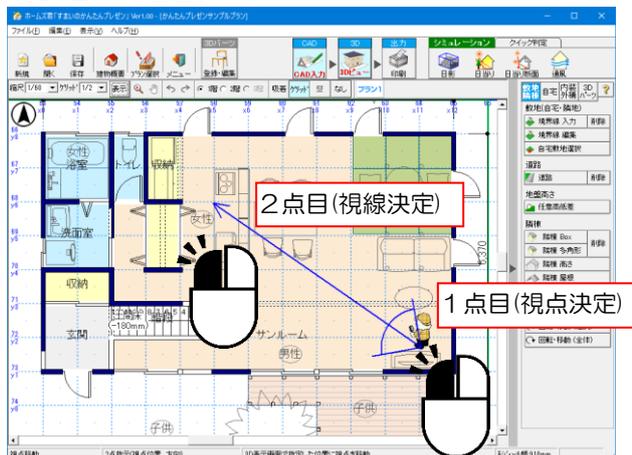
4-3-4 内観

■概要

視点が建物内部になります。(視点と注視点が近くなります)
主に建物内部を確認できます。

■操作説明

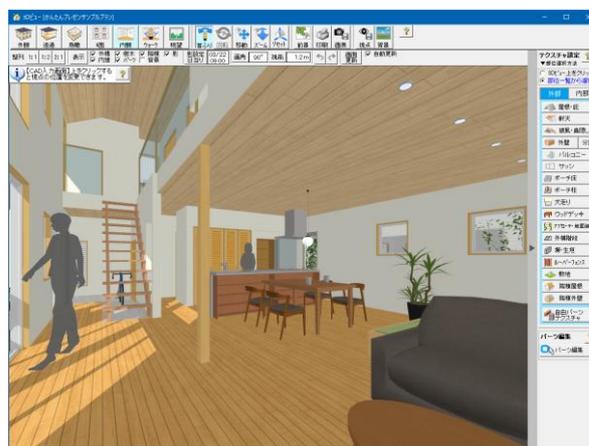
【CAD入力画面】



▼【CAD入力画面】での操作
位置(視点)を設定します。

- 1点目左クリック：視点位置を決定
- 2点目左クリック：視点方向を確定

【3Dビュー画面】



▼【3Dビュー画面】での操作
マウス操作で、以下の動作が可能です。
(内観・ウォークスルー共通)

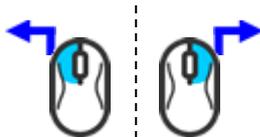
Tips 利用可能なマウス操作 (内観・ウォークスルー)

- 前進/後退
ホイールを前へ回す(前進)



ホイールを後ろへ回す(後退)

- 左ターン/右ターン
左クリック | 右クリック



- 視線左右
ドラッグ

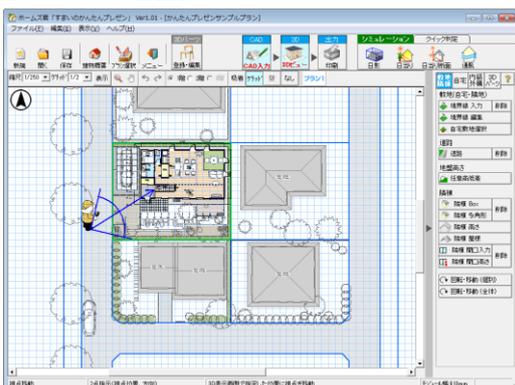


- 視線上下
ドラッグ※

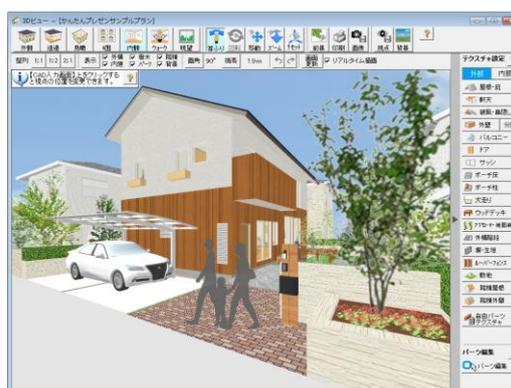


※視線上下の固定方法
Shiftキー押しながらドラッグ

【CAD入力画面】



【3Dビュー画面】



※内観モードでも視点を建物外部に設定することで、道路や敷地から外観を確認することも出来ます。

4-3-5 ウォークスルー

■概要

- 建物内外を歩き回るモードです。
- 動画保存もできます。(任意経路・歩行、水平移動、旋回)
- 階段は自動的に昇降します。(経路事前設定のみ)

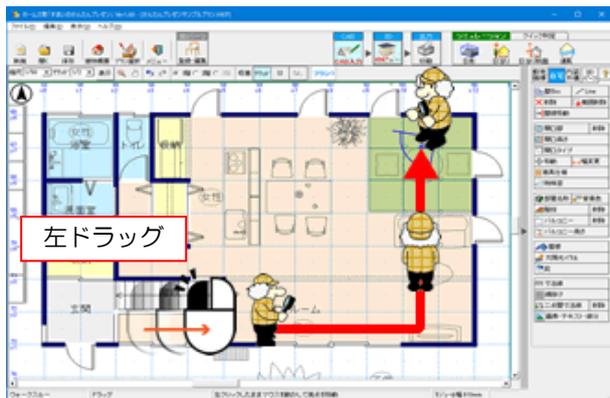


■経路自由・リアルタイム表示

【CAD 入力画面】で左ドラッグする事により視点移動します。

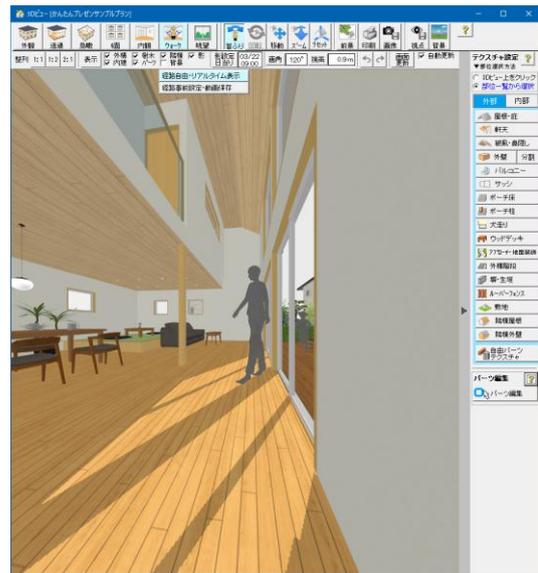
【3Dビュー画面】では立ち止まって視線移動ができます。

【CAD 入力画面】



- ▼【CAD 入力画面】での操作
左ドラッグで視点移動（進行）します。

【3Dビュー画面】

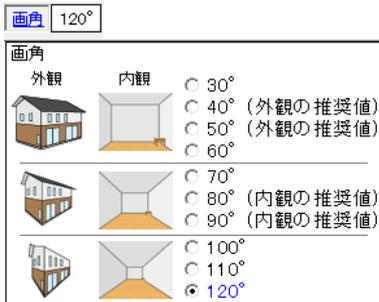


- ▼【3Dビュー画面】での操作
立ち止まって周囲を見渡せます。

※マウス操作は「3-3-4 内観」を参照ください。

ウォークスルー：画角

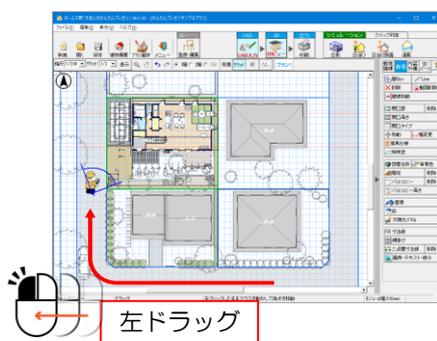
視野が狭いと感じる場合は、画角を大きめにしてください。



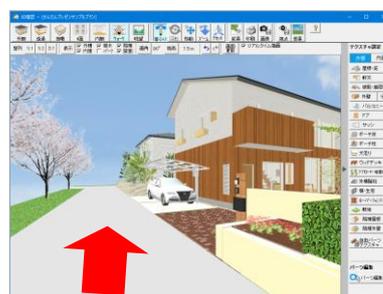
ウォークスルー：屋外

- 屋外で動かすことで、周辺からの自宅の見え方を確認することができます。

【CAD 入力画面】



【3Dビュー画面】



■任意経路・歩行

- ・設定した経路を前向きに進む動画を作成します。
- ・視線は前方向です。注視点設定を行うと、視点が1点になります。
- ・動画ファイルの保存もできます。
- ・施主へのプレゼンにご活用ください。



▼操作

- ・経路（1～3）を選択します。
- ・「経路作成」をクリックします。
- ・【CAD入力画面】でクリックしていきます。最後はダブルクリックします。
※同じ経路に戻る事もできます。
- ・「▶」をクリックすると、動画が再生されます。



【CAD入力画面】

▼注視点設定

- ・注視点とは「進行方向にかかわらず常に見続ける位置」です。
- ・1経路で1箇所設定できます。（任意）
- ・有効にすると常に見続けながら移動するので、進みは早くなります。

▼速度

- ・はやくすると再生時間が短くなります。

▼画面の更新間隔

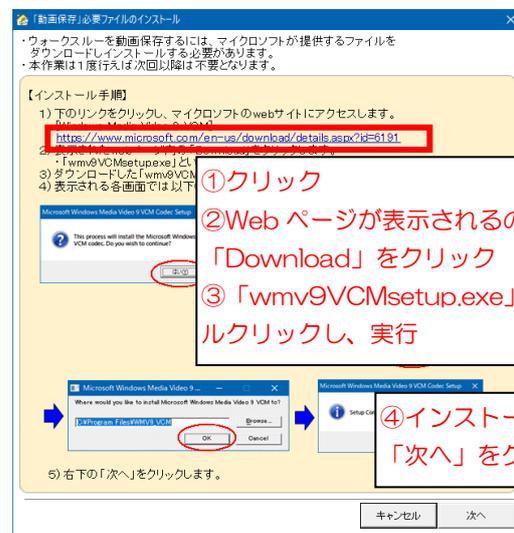
- ・短くするとコマ数が多くなり動画ファイルサイズは大きくなります。
- ※グラフィックボードの性能によっては、更新間隔を「短い」にするとなめらかに再生されない場合があります。その場合、「ふつう」や「長い」を選択してください。

ウォークスルー：経路作成

- ・1つの経路で階をまたぐ事はできません。
- 階段を上り上階に行きたい場合、経路を別に作成すると連続して再生されます。
- 例) 経路1：建物外周～玄関
経路2：1階（玄関～階段を昇るまで）
経路3：2階（階段～）

▼動画保存

- 動画ファイル作成には、マイクロソフトが提供するアプリケーションが必要になります。
- 画面のリンクをクリックし、実行ファイル（exe）をダウンロードの上インストールを行ってください。
- ※インストール作業は初回のみです。



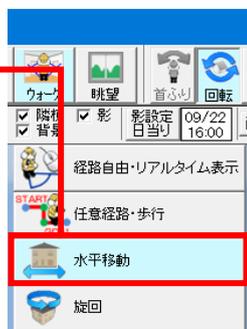
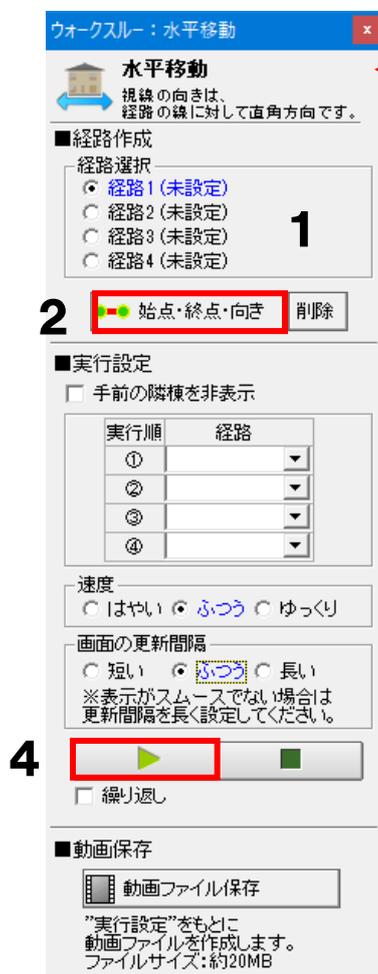
- ①クリック
- ②Web ページが表示されるので、「Download」をクリック
- ③「wmv9VCMsetup.exe」をダブルクリックし、実行

- ④インストール後、「次へ」をクリック

※動画ファイルサイズは、1 分間の動画で約 10～30MB 程度です。

■水平移動

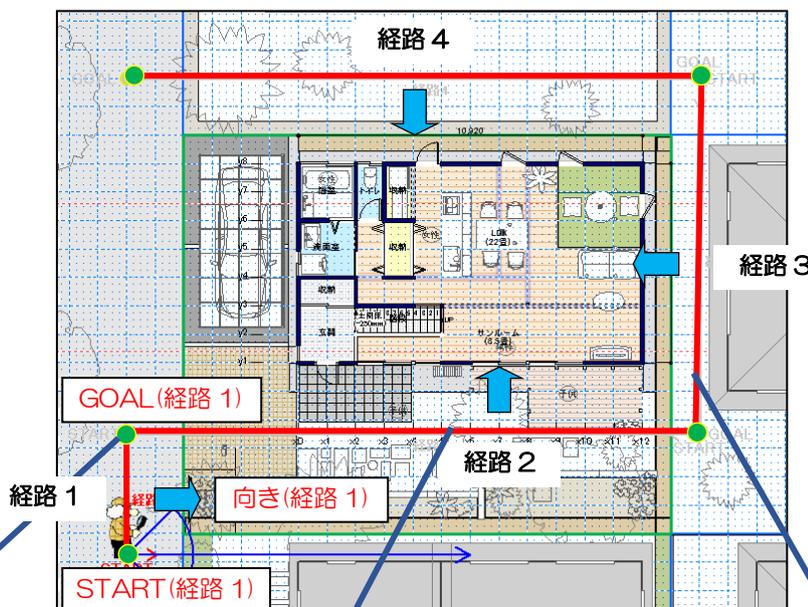
- 設定した経路上を、視線を建物に向けて水平移動する動画を作成します。
- 建物の外観の紹介に適しています。
- 動画ファイルの保存もできます。詳しくは「3-3-5 ウォークスルー ■任意経路・歩行」を参照ください。



▼操作

- 経路（1～4）を選択します。
- 「始点・終点・向き」をクリックします。
- 【CAD入力画面】でクリックしていきます。
1 点目…始点、2 点目…終点
3 点目…向き（矢印をクリック）
- 「▶」をクリックすると、動画が再生されます。

3 例) 経路を複数設定し建物外周を回る 【CAD入力画面】



ウォークスルー：水平移動

- 水平移動では、1つの経路で1直線のみ設定できます。
例えば建物外周をぐるりと回りたい場合、経路を複数設定し組合わせてください。

■ 旋回

- ・ 建物の上を旋回する動画を作成します。
- ・ 動画ファイルの保存もできます。詳しくは「3-3-5 ウォークスルー ■任意経路・歩行」を参照ください。



▼ 準備…開始高さの設定

開始時点の「視点高さ」が、開始高さとなります。

3Dビューの【外観】を選択し、【移動】もしくは【ズーム】で、視点高さをあらかじめ設定します。

その後、ウォークスルーの「旋回」をクリックします。



▼ 操作

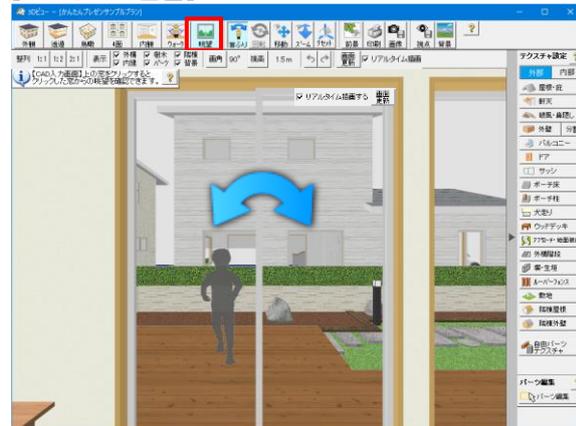
- ・ クイック設定を選択します。
- ・ 旋回方向（左・右）を選択します。
- ・ 回転数を選択します。
- ・ 注視点設定をします。（任意）
初期値は建物中央です。
変更したい場合は、CAD入力画面をクリックします。
- ・ 手前の隣棟を表示するかどうかを選択します。
- ・ 「▶」をクリックすると、動画が再生されます。

4-3-6 眺望

【CAD入力画面】



【3Dビュー画面】



■概要

指定した窓からの眺望を確認できます。

■操作説明

▼【CAD入力画面】での操作

自宅、または、隣棟の窓を左クリックします。
クリックした窓から約 1.8m 離れた位置に視点が移動し、眺望が確認できます。
眺望の確認ができる窓は、マウскарソルを当てると青色で強調表示されます。

▼【3Dビューでの操作】

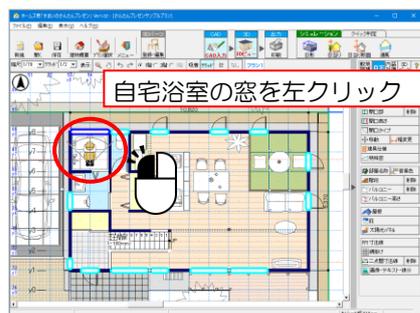
視点操作を切り替えて左ドラッグすることで建物内外を確認します。

- ・首ふり：視線を上下左右に動かします。
- ・移動：視線の方向はそのまま、視点を平行移動します。
- ・ズーム：視点を前進・後退させます。

【眺望】モードの使用例

▼浴室からの眺望を確認

【CAD入力画面】



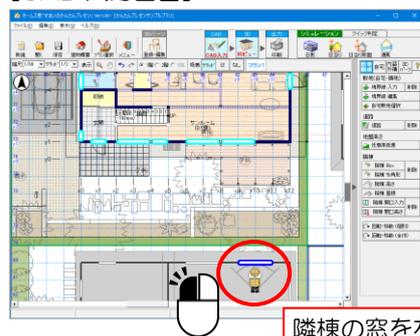
【3Dビュー画面】



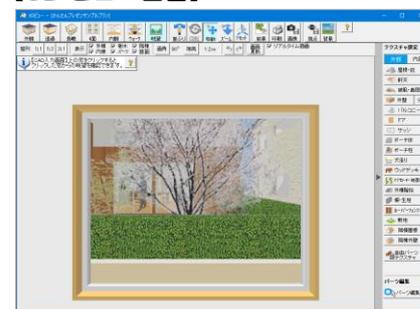
視点高さも併せて設定することで、入浴時に近い視点での眺望も確認できます。
視点高さの調整については、「3-7 視点高さ」を参照ください。

▼隣棟からの自宅の見え方を確認

【CAD入力画面】



【3Dビュー画面】



隣棟からの自宅の見え方を確認できます。



4-4 テクスチャ設定

【3Dビュー画面】の「テクスチャ設定」メニューに表示されているパーツに対してテクスチャを設定することができます。自由パーツに対しても設定可能です。



注意

「3Dパーツ」（キッチン、バス、テーブル、ソファなど）や「内装・外構」の「玄関ドア」などは、既にテクスチャ設定されているためテクスチャ設定は行えません。

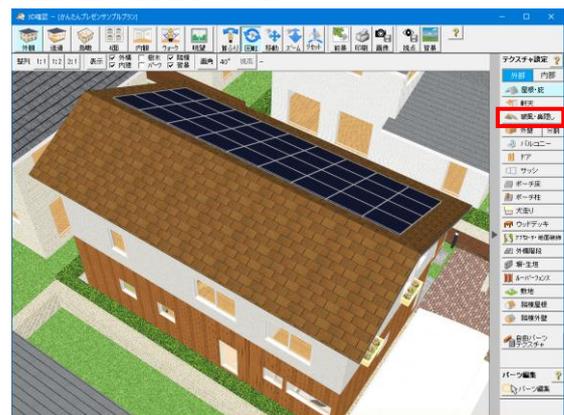
設定方法

- 1-1. 「3Dビュー上をクリック」を選択し、【3Dビュー画面】上で設定したい部位をクリックします。
※部位の種類が分からない場合等に使えます。
- 1-2. もしくは、「部位一覧から選択」を選択し、設定したい部位（例：屋根・庇）をクリックします。

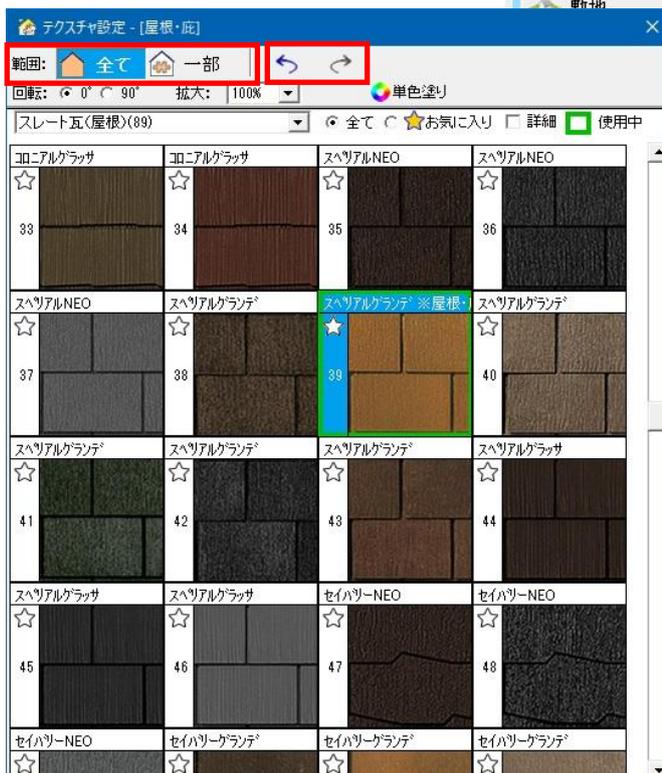
2. 「テクスチャ設定画面」が開きます。
 - ・「全て」、「一部」から選択します。
 - ・使用したいテクスチャ画像を選択します。

「全て」…即座に部位全体に適用されます。
「一部」…【3Dビュー画面】上をクリックします。

（屋根全てを変更した例）



2.



Tips テクスチャ設定

※【テクスチャ設定画面】が表示されている状態でパーツを右クリックすると、そのパーツに設定中のテクスチャが選択状態になります。

※「自由パーツテクスチャ」ボタンで、自由パーツに対するテクスチャ設定ができます。（「部位選択」からも自由パーツを選択できます）

※設定を元に戻す、あるいは、やり直す場合は、【テクスチャ設定画面】のボタンを使用します。

テクスチャ設定：外壁仕上分割

外壁を塗り分けたい場合、外壁仕上分割を設定後、テクスチャ設定「一部」を行います。

例) 2階バルコニーの高さで分割し、テクスチャ設定を行う場合



①「仕上分割高さ」をクリック



⑤分割部分にテクスチャを設定



バルコニーにのみテクスチャを設定した状態

②分割高さの設定



- ・2階「高さ分割する」
FLから「1000」mm
(バルコニーの高さと合わせる)
- ・1階「高さ分割しない」

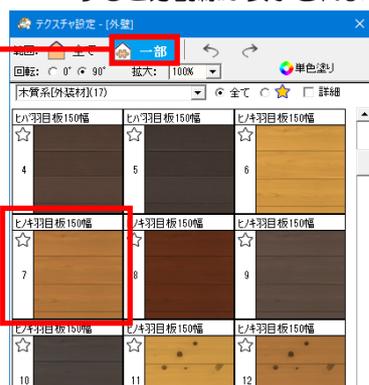
③「OK」ボタンをクリック
→指定の分割が行われます。



(外壁分割前)
1階、2階を「高さ分割しない」で塗り分けた状態

分割を確認するには、テクスチャ設定の「外壁」→「一部」をクリックすると分割線が表示されます。

④テクスチャ選択



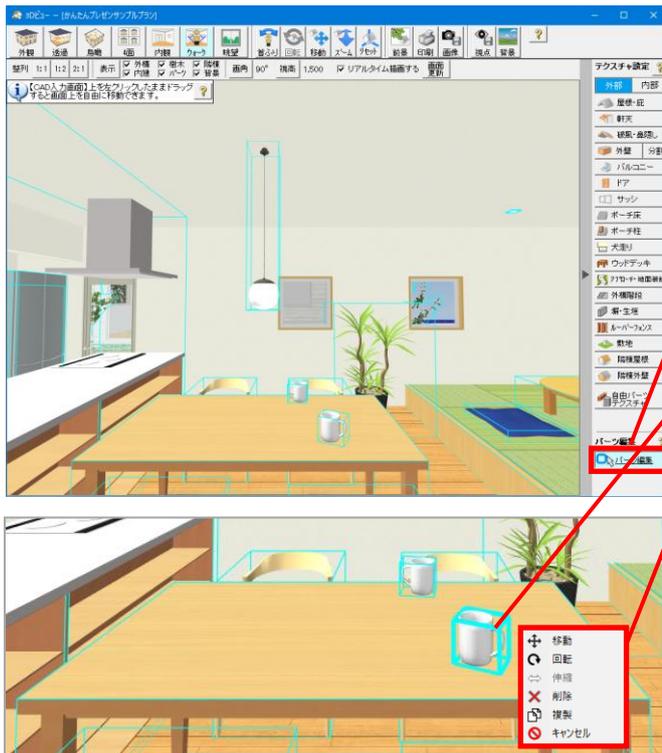
(分割線表示)
・「外壁」→「一部」を選択して分割線表示
・外壁をクリックして、テクスチャを設定



(テクスチャ設定後)



4-5 パーツ編集



■概要

【3Dビュー画面】で、「3Dパーツ」、「自由パーツ」、「内装・外構」に対する編集（移動・回転・削除等）が行えます。

■編集方法

1. 「パーツ編集」ボタンを押下する
（編集可能なパーツが水色の枠で強調表示されます）
2. 対象のパーツにマウスマウスカーソルを合わせる
（水色の枠がさらに強調されます）
3. 右クリックで表示されるメニューで行いたい操作を選択する

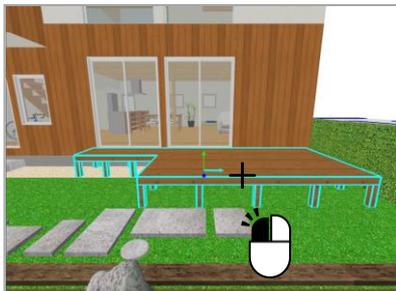
選択した操作に対応するガイドをクリックして操作を行います。

※左クリックでパーツの移動ができます。

■ポイント

- 行える操作は、パーツによって異なります。

移動



①動かしたい軸の矢印をクリックします。

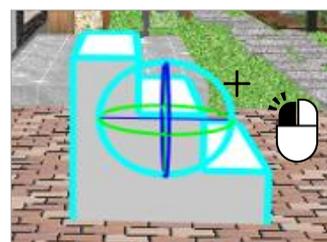


②軸方向にマウスマウスカーソルを動かしてパーツを移動させます。

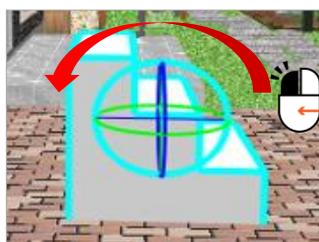


③左クリックで位置を確定します。

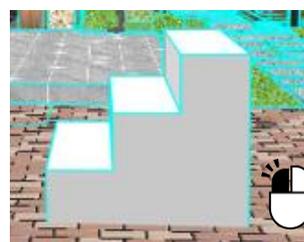
回転



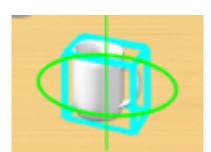
①回転させたい軸の輪をクリックします。



②軸方向にマウスマウスカーソルを動かしてパーツを回転させます。

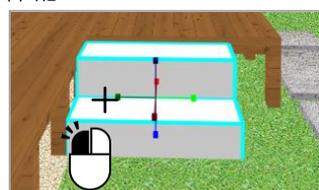


③左クリックで位置を確定します。

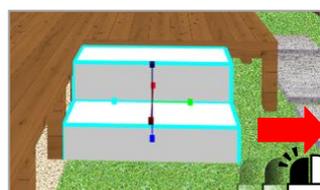


※自由パーツ以外は水平方向のみ回転可能

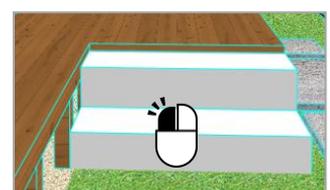
伸縮



①伸縮させたい軸の矢印をクリックします。



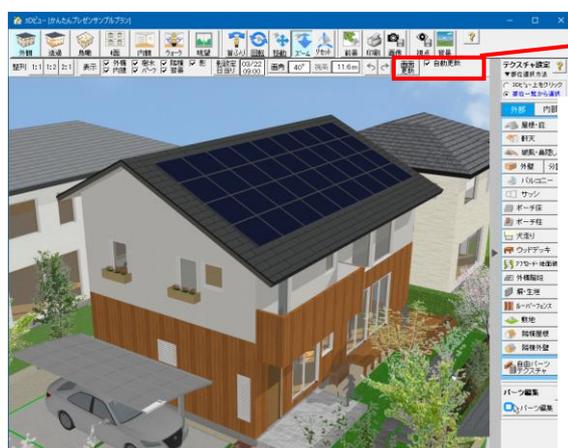
②軸方向にマウスマウスカーソルを動かしてパーツを伸縮させます。



③左クリックで形状を確定します。

3Dビューの表示が遅いとき

同じ3Dパーツを複数入力するなど、【CAD入力画面】で繰り返して一定の操作を行う場合などに、逐一【3Dビュー画面】の再描画させるのを抑制させることで、【CAD入力画面】での動作速度を向上させることができます。



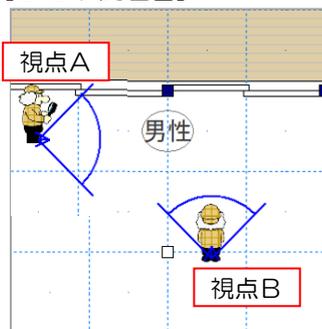
画面更新 自動更新

- 自動更新：ON（デフォルト）
【CAD入力画面】での操作内容（間取りの入力、3Dパーツの配置など）が即座に【3Dビュー画面】に反映されます。
- 自動更新：OFF
【CAD入力画面】での操作内容は即座には【3Dビュー画面】に反映されません。「画面更新」ボタンを押下することで、【3Dビュー画面】の表示内容を更新できます。

【人物】、【樹木・植物】カテゴリの3D表現

3Dパーツの【人物】、【樹木・植物】カテゴリのうち、一部は2D画像を使用しています。2D画像を3Dビューで見た場合、視点を変えても見え方は同じ向きで変わりません。

【CAD入力画面】

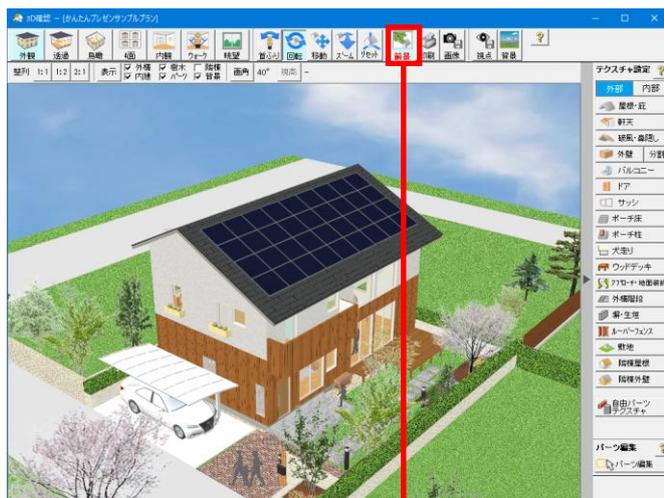


【3Dビュー画面】



視点の位置を変えても人物の見え方は同じ

4-6 前景



(前景設定前)

■概要

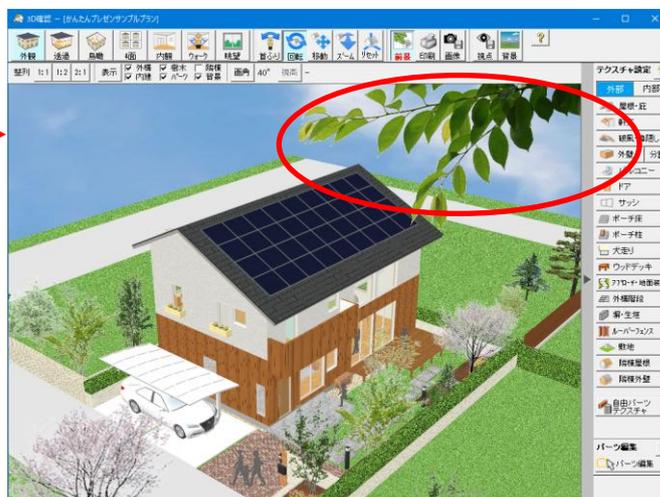
3D ビューの手前の四隅に画像を設定することができます。これにより、3D ビューに奥行きを持たせることができます。

表示/非表示はチェックボックスで指定します。

■ポイント

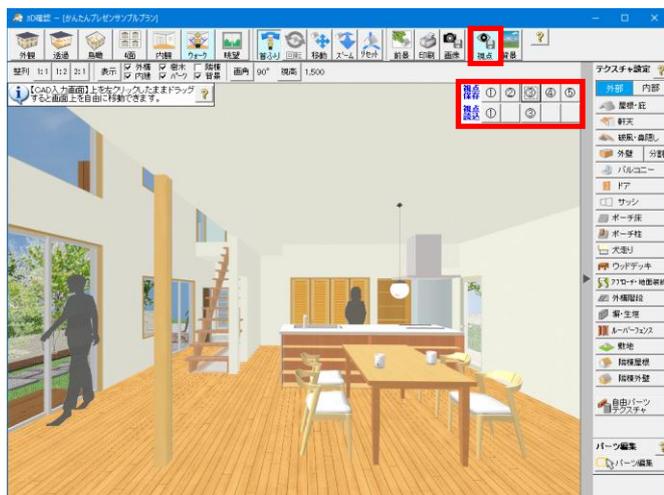
• 前景は、ビューモードが【外観】【透過】【鳥瞰】の場合に表示させることができます。

• 必ずしも設定する必要はありません。



(前景設定後)

4-7 視点保存



■概要

現在の視点、画角、視点高さを保存します。

■ポイント

• 保存した視点情報は任意のビューモードで随時呼び出すことができます。

• 視点は最大5か所まで保存できます。

• ビューモードは保存されません。



4-8 背景・パノラマ設定

4-8-1 背景設定



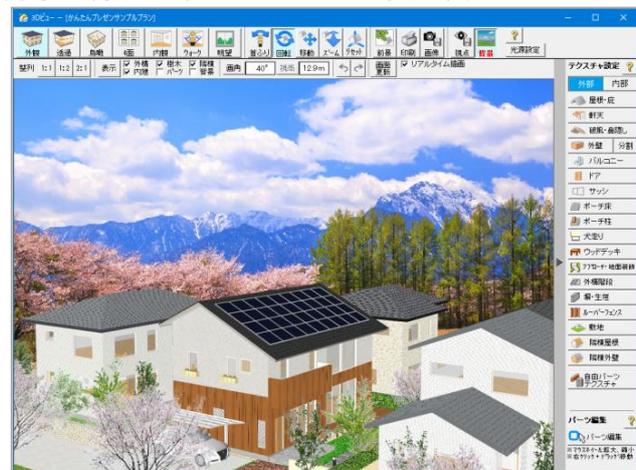
■概要

建物の背景となる画像を設定します。設定は任意です。表示/非表示をチェックボックスで選択します。

▼背景画像

- 実際の建築予定地の写真や、汎用的な背景となるような画像を設定します。
- 画像は視点の動きに連動しません。
- 背景に設定した画像は、実際の眺望に近づけるために位置や拡大率を調整することができます。

▼背景画像設定後の3Dビュー表示例



▼調整例



位置調整 (上)



拡大 (200%)



4-8-2 パノラマ設定

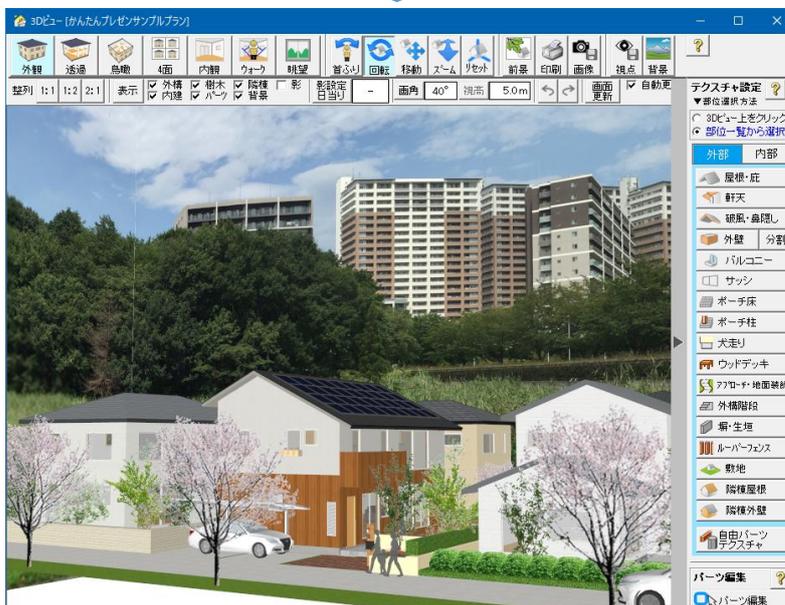


■操作方法

※設定は任意です。

- 建物周辺の写真や、遠景となるような画像を各面に設定します。
- 最大4方向に配置します。
- すべての面に画像を設定する必要はありません。
- 画像は視点の動きに連動します。
- 設定したパノラマ画像は、実際の眺望に近づけるために位置や拡大率を調整することができます。
- パノラマ画像の近景・遠景を設定することができます。近景の場合、視点を移動した際の見え方の変化が大きくなります。

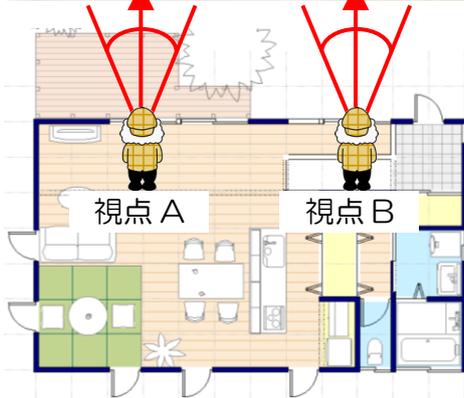
▼パノラマ画像設定後の表示例





パノラマ画像の見え方1

【背景設定】でパノラマ画像との距離を変更すると、以下のように見え方が変わります。



建物内の視点 A・視点 B から眺望を確認した際に、画像までの距離を変更すると、視点の移動量に対して画像の見える範囲の移動量が増減します。

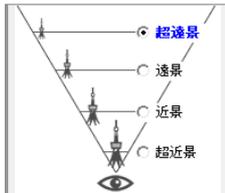
実際に配置する画像の内容によって、超近景・近景・遠景・超遠景から最適な距離を選択してください。

- ex) ・ 遠くの山やランドマーク
遠景～超遠景
- ・ 隣接する公園や建物
近景～超近景

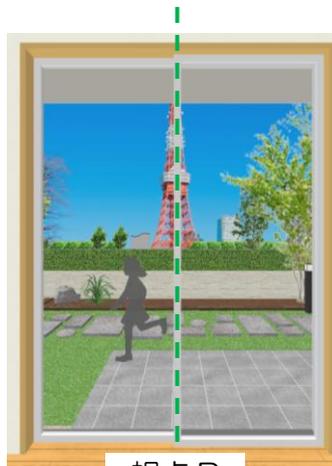
■ 超遠景の場合

▼パノラマ画像の近景・遠景の種類
 超近景 近景 遠景 超遠景

イメージ



視点 A



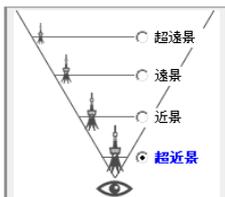
視点 B

建物内の視点 A・視点 B からの眺望を確認すると、視点 A・視点 B のどちらにおいても、サッシの中心に東京タワーが見えます。
 ※画像が遠いため、視点を移動しても、パネルの見える位置はほとんど変わりません。

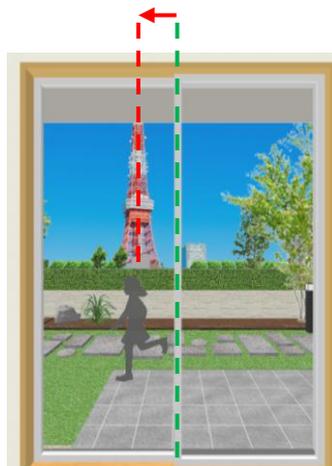
■ 超近景の場合

▼パノラマ画像の近景・遠景の種類
 超近景 近景 遠景 超遠景

イメージ



視点 A



視点 B

超遠景と同様に視点 A・視点 B からの眺望を確認すると、視点 A ではサッシより右側、視点 B ではサッシよりも左側に東京タワーが見えます。
 ※画像が近いので、視点を移動すると、画像の見える位置の変化が大きくなります。

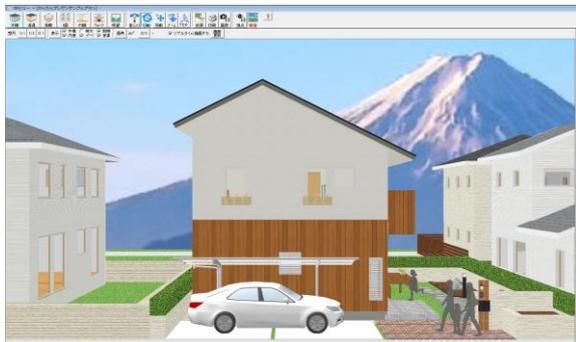
パノラマ画像の見え方2

【背景設定】でパノラマ画像を設定した場合、以下の要素によって見え方（大きさ等）が変わります。

■ 画角による違い

建物を同じ大きさとして見た場合、画角が大きいほどパノラマ画像は小さく見えます。

▼ 画角 40° の場合



▼ 画角 90° の場合



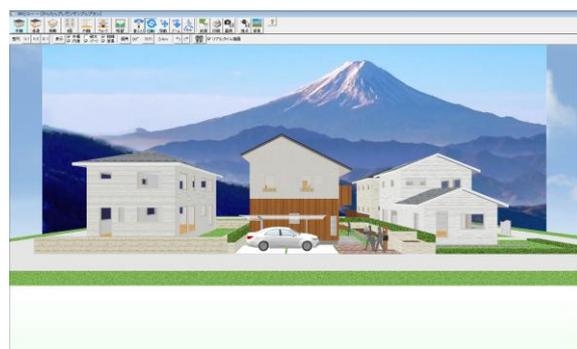
■ 建物と視点の距離

視点が建物から遠ざかると、建物に対して相対的にパノラマ画像が大きく見えます。

▼ 建物に視点が近い場合



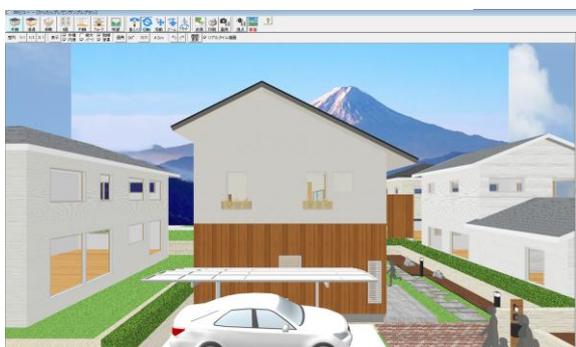
▼ 建物から視点が遠い場合



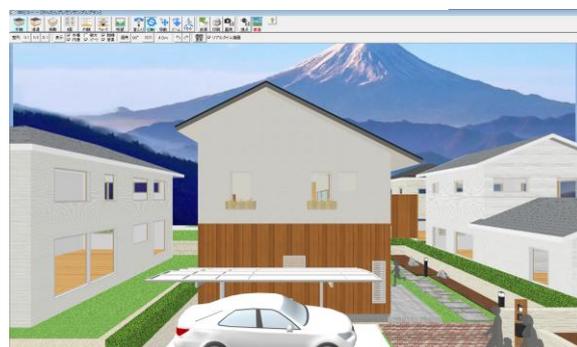
■ 建物とパノラマ画像の距離

建物に対してパノラマ画像が遠ざかると相対的にパノラマ画像は大きく見えます。

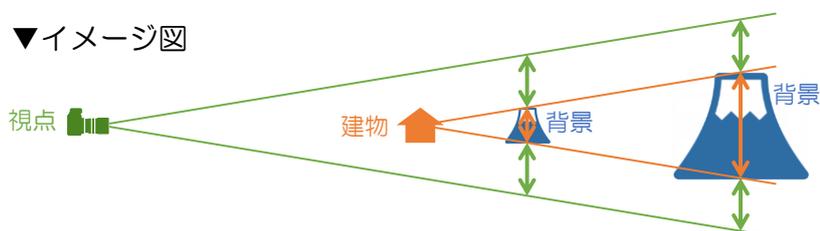
▼ 建物とパノラマ画像が近い場合



▼ 建物とパノラマ画像が遠い場合



▼ イメージ図

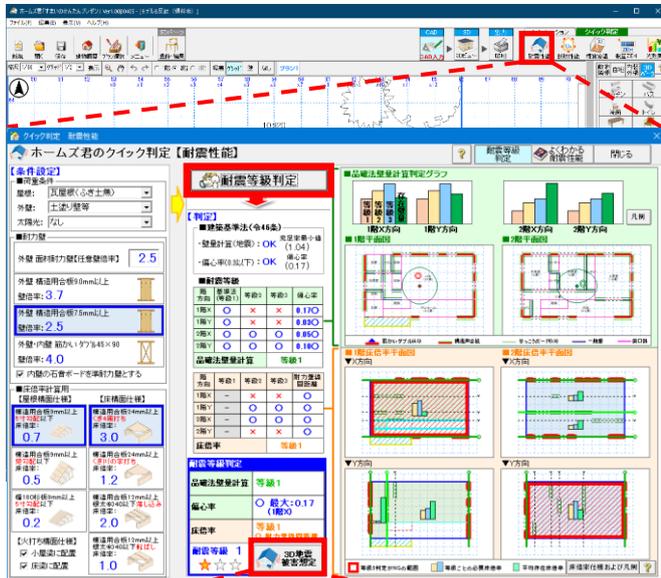


- 建物と画像が近い場合は画面の領域に対して背景が小さくなる
- 建物と画像が遠い場合は画面の領域に対して背景が大きくなる

5. クイック判定

※クイック判定は一定の仮定に基づいて行う簡易的なものです。詳細な検討は、ホームズ君「構造 EX」、「省エネ診断エキスパート」で行ってください。

5-1 耐震性能



■概要

開口部が設定されていないすべての壁に耐力壁を配置したと仮定して、品確法壁量計算、床倍率を求めた結果、および、耐震等級を表示します。

このクイック判定で、およその耐震性能を確認いただくことができます。

また、クイック判定で、等級判定が×となる場合は壁が少ない、あるいは、水平構面が弱い可能性があると言えます。

なお、偏心率を求め図示していますが、判定には考慮していませんので、耐震等級判定が○となっている場合もご注意ください。

詳細な検討は、ホームズ君「構造 EX」で行ってください。

■操作方法

- 判定条件となる、屋根の仕様、外壁の仕様、太陽光発電設備等の有無、耐力壁、屋根構面仕様、床構面仕様を指定します。

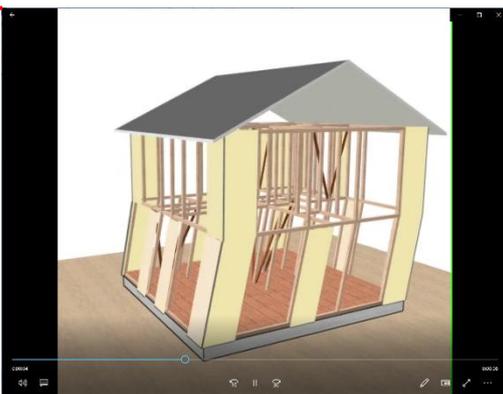
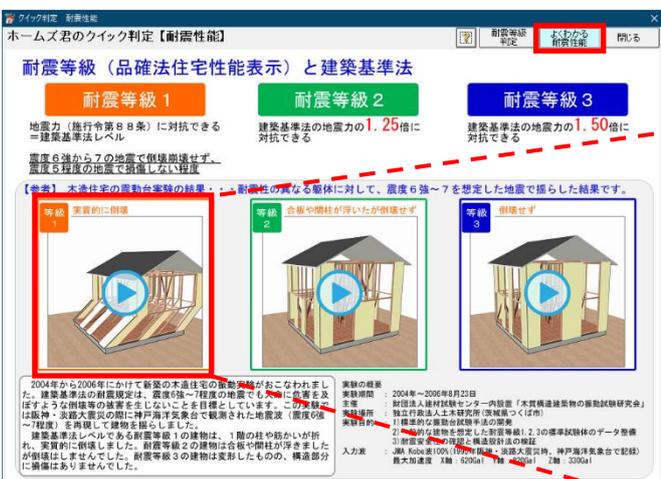
- 「耐震等級判定」ボタンを押下すると判定結果が表示されます。

- 「地震被害想定」ボタンを押下すると、判定結果に基づき、震度6強～7程度の地震が発生した場合に想定される建物の状態が四面表示されます。

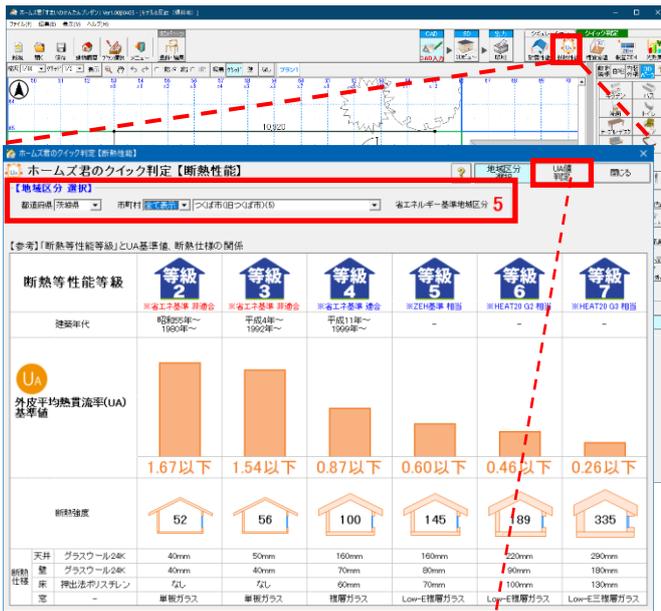
- 「よく分かる耐震性能」ボタンを押下すると、耐震等級を解説する画面が開きます。震度6強～7程度の地震が発生した場合に想定される建物の状態を耐震等級別に動画で確認することができます。

■ポイント

- 判定条件に任意の壁倍率を使用することができます。
- 床倍率（概算）では、筋かい有無により耐力壁線間距離が以下を超えていないかチェックします。
筋かい無し → 耐力壁線間距離 12m
筋かい有り → 耐力壁線間距離 8m
- 袖壁にも耐力壁を自動配置します。



5-2 断熱性能



■概要

断熱方法について、天井断熱、床下断熱と仮定して外皮表面積を求め、外皮平均熱貫流率(UA)、および、UA の判定結果を表示します。

このクイック判定で、およその断熱性能を確認いただくことができます。

なお、冷房期の平均日射取得率 (ηAC) については計算しておらず、判定にも考慮していませんのでご注意ください。

詳細な検討は、ホームズ君「省エネ診断エキスパート」で行ってください。

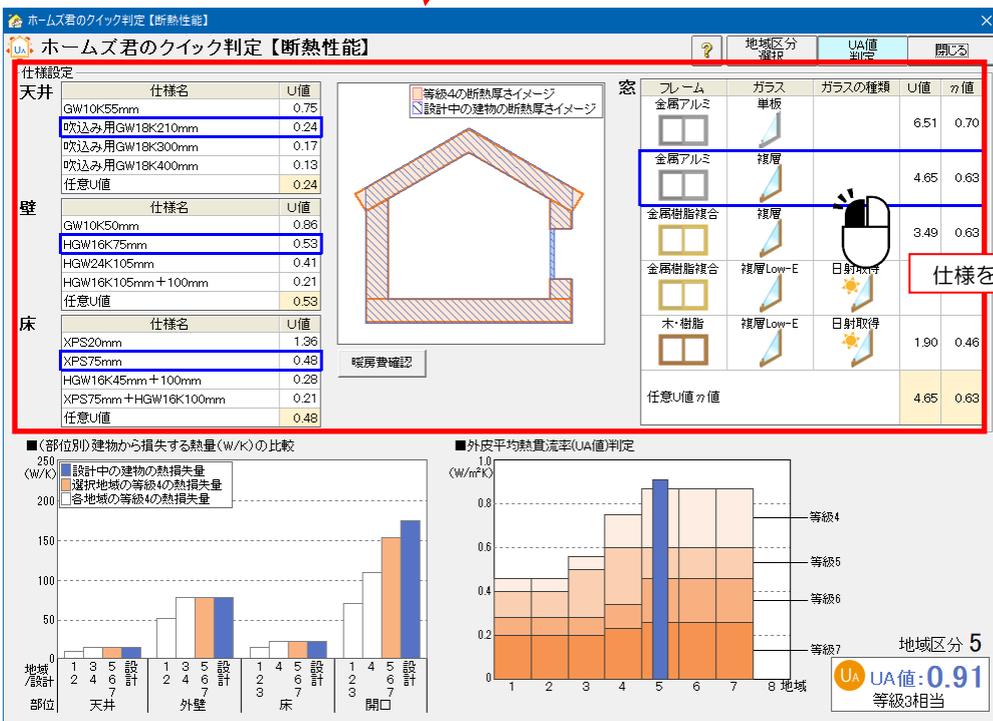
■操作方法

- 建築予定地の市町村を指定すると、その地域に対応する省エネルギー基準地域区分が決定されます。

- 「UA 値判定」ボタンを押下すると判定結果が表示されます。

■ポイント

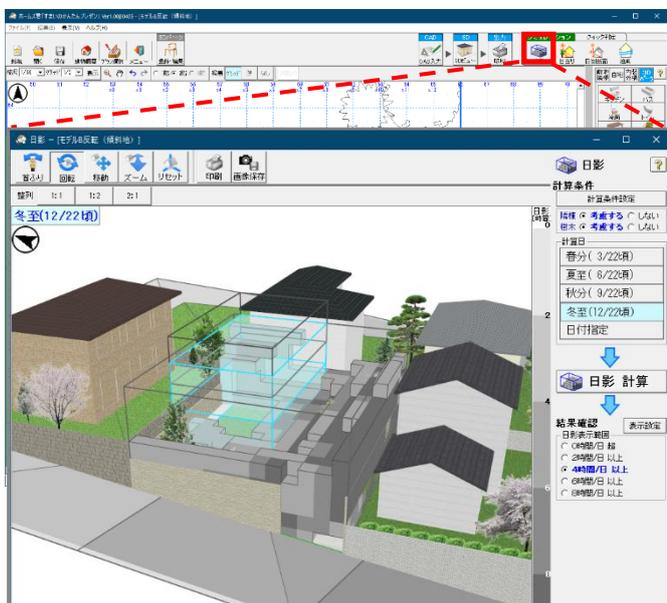
- 各仕様には、任意のU値・ η 値を設定することができます。



仕様を選択クリック

6. 日当り

6-1 日影



■概要

- 指定した日付の太陽の軌道と隣棟などの位置関係から、敷地にできる日影の位置を計算し、一日当たりの平均時間として日影となる時間を3Dビューに表示します。
- 日影となる箇所は、日影時間の長さに応じた色のキューブで表示されます。日影時間が長い箇所ほど、濃いグレーになります。
- 「日影 計算」ボタンを押下すると計算を開始します。

▼計算条件設定

- 敷地空間を区切る細かさ（計算区画）、隣棟・樹木等の考慮有無を指定します。

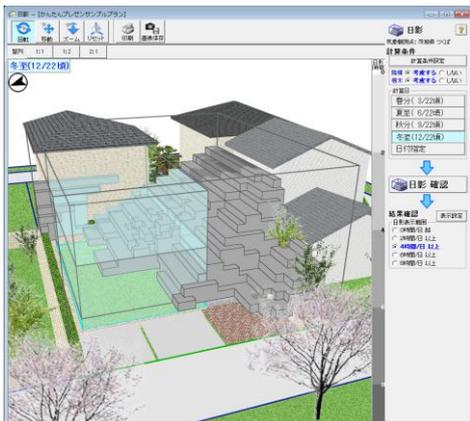
▼計算日

- 計算対象の日付を指定します。

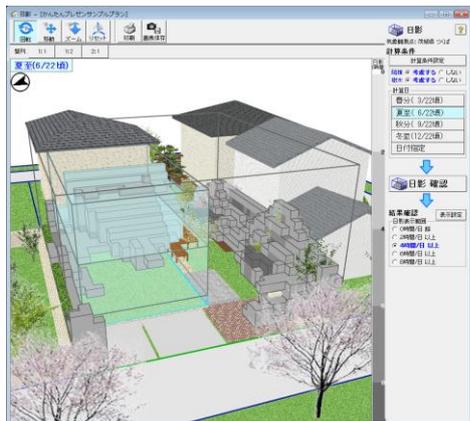
▼表示設定

- 3Dビューに表示する対象物、日影の色分け方法を設定します。

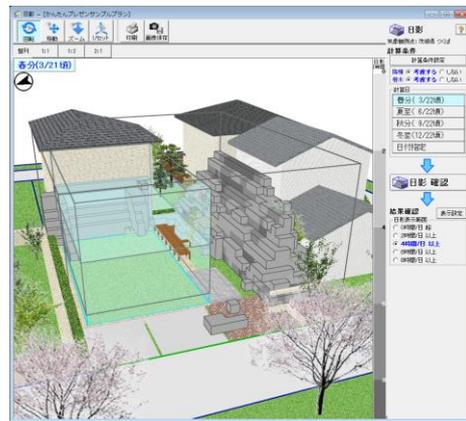
(冬至)



(夏至)



(春・秋分)



影を落とす対象（日影・日当りシミュレーション）

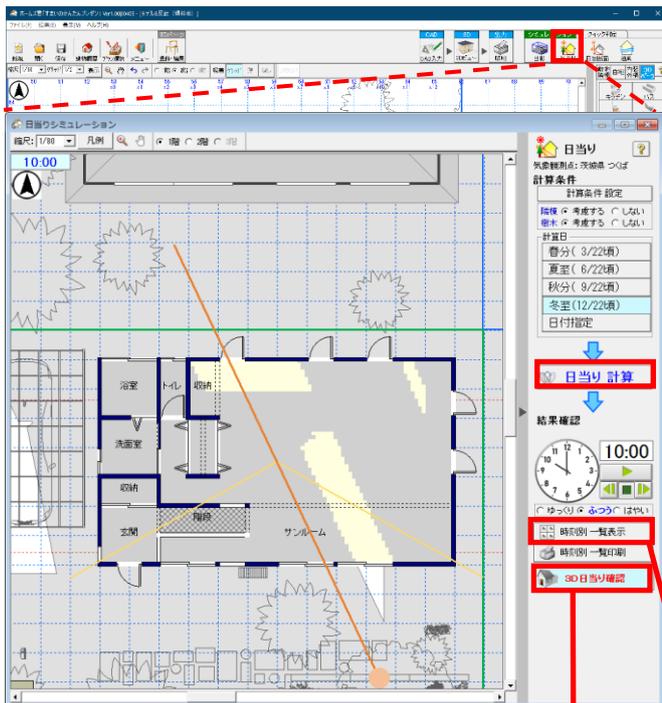
日影シミュレーション、日当りシミュレーションでは、CAD画面で入力した以下の項目が影を落とす対象として計算を行います。

入力項目	分類	日影対象	備考
敷地・隣棟	敷地、地盤高さ	○	-
	隣棟	○	-
自宅	壁、屋根、バルコニー、庇	○	-
	内装・外構	×	-
3Dパーツ	塀、生垣、ルーバーフェンス	○	※1、※2
	樹木	○	※1
	自由パーツ作成	○	※1
	上記以外	×	-

※1：（日当りシミュレーションのみ）高さ1m未満のものは除きます。

※2：ルーバーフェンスの隙間は考慮しません（隙間が無いものとして計算）

6-2 日当り



■概要

- 指定した日付の太陽の軌道と隣棟などの位置関係から、敷地にできる日面の位置を計算し、平面、3Dビューに表示します。
- 時刻別の一覧表示、アニメーション表示ができます。
- 「日当り 計算」ボタンを押下すると計算を開始します。

▼計算条件 設定

- 敷地空間を区切る細かさ（計算区画）、隣棟・樹木等の考慮有無を指定します。

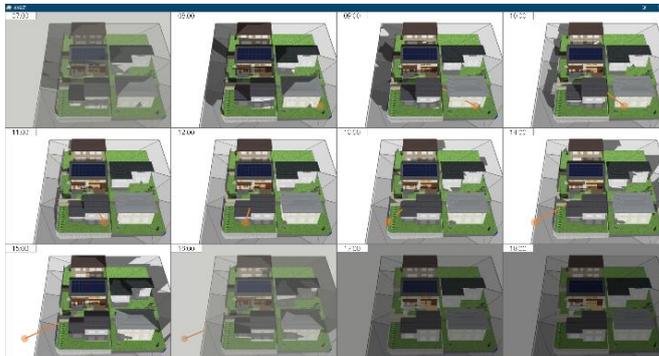
▼計算日

- 計算対象の日付、時刻を指定します。

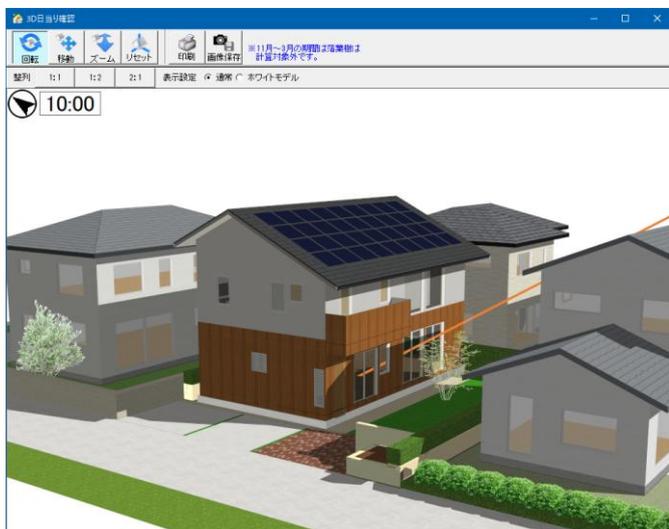
時刻別一覧



(3D)



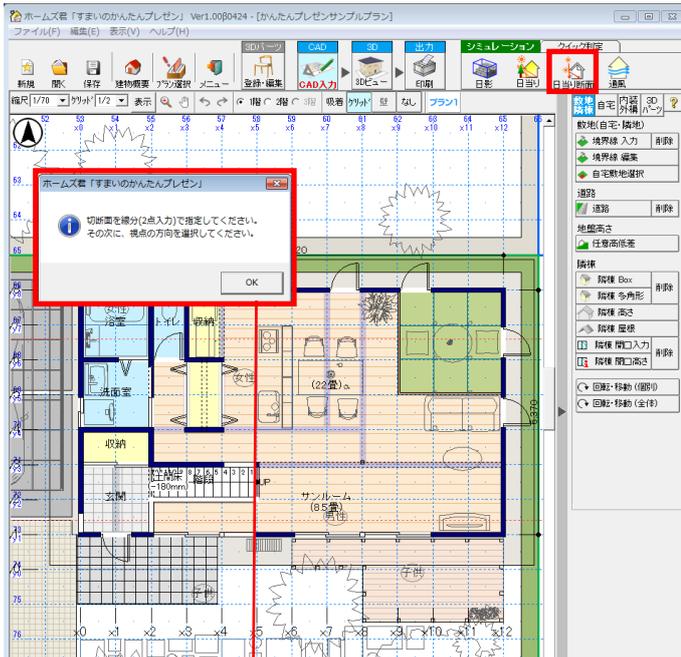
(3D日当り確認)



■補足

日当りシミュレーションで影を落とす対象については、「4-1 日影」を参照ください。

6-3 日当り断面



■概要

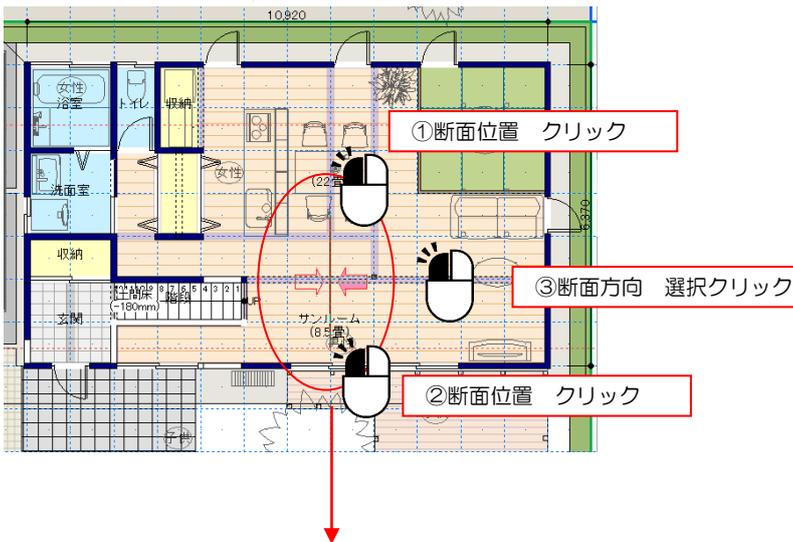
- 指定した日付の太陽の軌道と隣棟などの位置関係から、敷地にできる日照を計算し、指定した断面とそれに対する視点の方向から見た日照を立面に表示します。

▼軒の出シミュレーション

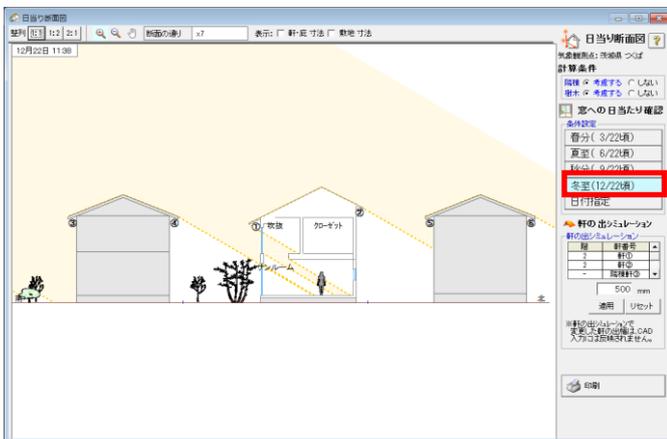
- 軒の出の寸法を変えることで、日照の変化を確認することができます。

▼条件設定

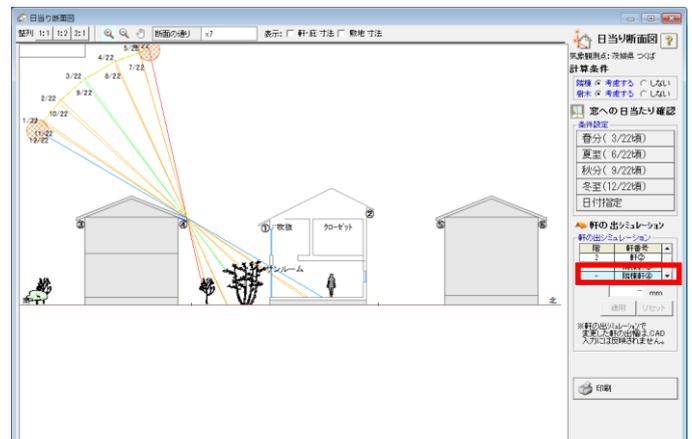
- 計算対象の日付を指定します。
「年間一括表示」を選択すると、選択した軒に対する月別の日照を表示します。



窓への日当り確認



軒の出シミュレーション



6-4 すまいの敷地・日当りレポート

■概要

- 日影と日当りシミュレーションを行い、1枚のレポートにまとめて表示します。
- 隣棟・道路等の周辺環境と簡易な自宅を入力する事で、具体的な設計の前に、日影と日当りシミュレーションが行えます。



すまいの敷地・日当りレポート

3Dプレビュー

①敷地周辺図 範囲設定
 自動 任意 範囲指定
 ※自動を選択した場合、CAD入力を行った範囲全体が収まるようなサイズで出力されます。

② 3D視点設定
 左の3Dプレビューを操作して、視点を設定してください。

③ 計算日
 冬: 12月22日 変更
 夏: 06月22日 変更

▼3D視点設定
 マウス操作で、レポートに表示する向き等を変更します。

▼フッター設定
 ③工事名称～⑥日付は、物件毎に入力して下さい。

フッター設定

プレビュー印刷 PDF出力 キャンセル

▼範囲設定
 自動…CAD画面の自宅敷地を範囲に設定します。

任意…「範囲指定」をクリックし、CAD画面でBOX入力(2点クリック)して下さい。

▼計算日
 日当りシミュレーションを行う冬・夏の日付を設定します。初期値は冬至および夏至です。

すまいの敷地・日当りレポート 出カイメージ

フッター設定

①ロゴマーク: ファイル参照 削除 INTEGRAL ※推奨サイズ 200×75

②会社名等: インテグラル一級建築士事務所

③工事名称: 2面接道(北東)敷地 + ラフ平面

④図面名称: 現況 (南空地)

⑤担当: インテグラル

⑥日付: 2020/03/13

⑦建築地名: 茨城県つくば市
 ※建築地名は「建物概要」で入力してください。

OK キャンセル

ホームズ君 すまいの敷地・日当りレポート

敷地周辺図 (建築地名:茨城県つくば市)

敷地の日影 12月22日
 ▼2時間以上日影となる空間 ▼4時間以上日影となる空間 ▼6時間以上日影となる空間

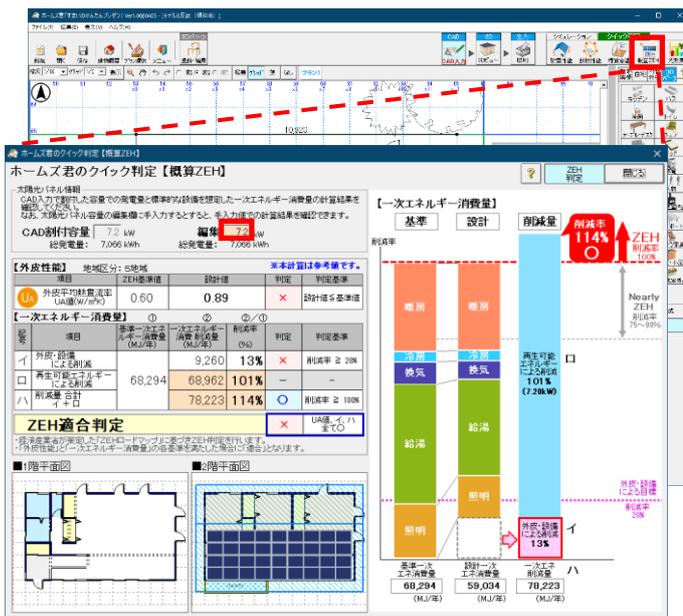
すまいの日当り 6月22日

すまいの日当り 12月22日

INTEGRAL インテグラル一級建築士事務所 工事名称 2面接道(北東)敷地 + ラフ平面 日付 2020年03月13日
 図面名称 現況 (南空地) 建築 へたグラル



7-2 概算 ZEH



■概要

クイック判定【断熱性能】、および、設定された太陽光発電の容量に基づき、ZEH判定した結果を表示します。

このクイック判定で、ZEH基準で求められる、外皮性能、一時エネルギー消費量、および、おおよそのゼロ・エネルギー判定を確認いただけます。

一次エネルギー消費量を求めた各設備の条件については、クイック判定【光熱費】の画面で確認できます。

なお、冷房期の平均日射取得率 (η_{AC}) については、判定に考慮していませんのでご注意ください。

詳細な検討は、ホームズ君「省エネ診断エキスパート」で行ってください。

■ポイント

- 太陽光パネルの総発電量を変更し、その値での判定結果を確認することができます。

7-3 光熱費



■概要

クイック判定【断熱性能】、および、【概算 ZEH】で求めた一次エネルギー消費量に基づき算出した光熱費を表示します。

このクイック判定で、設定した断熱性能に基づく暖冷房費、換気にかかる電気代、および、太陽光発電により相殺される電気代が確認できます。

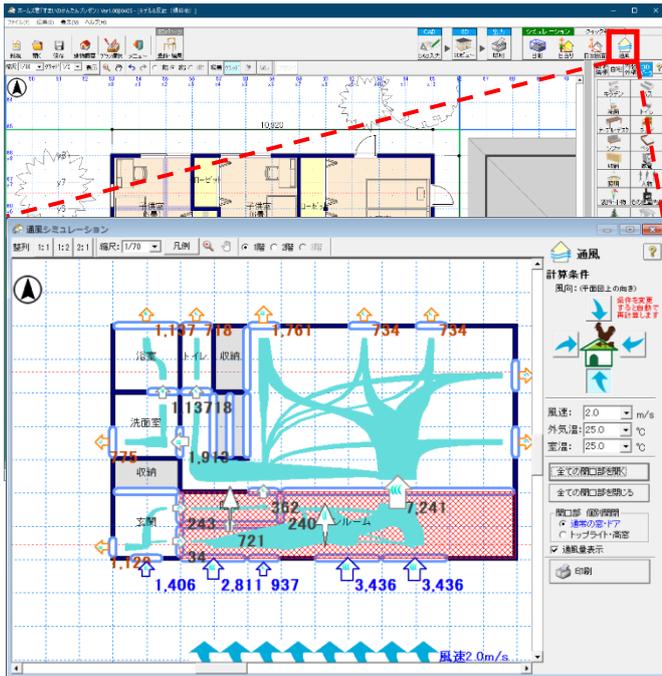
また、省エネ基準の基準レベルの住宅との光熱費と比較表示しますので、断熱性能レベルを上げた時の光熱費での効果を確認することができます。

詳細な検討は、ホームズ君「省エネ診断エキスパート」パッシブ設計オプションで行ってください。

■ポイント

- 電気・ガス・灯油の単価を編集し、その値での判定結果を確認することができます。

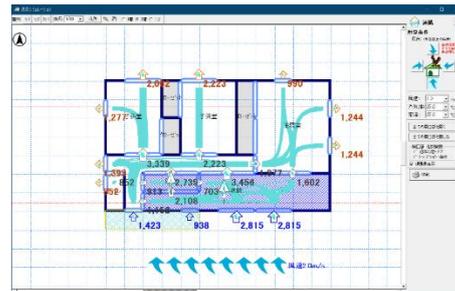
7-4 通風



1F

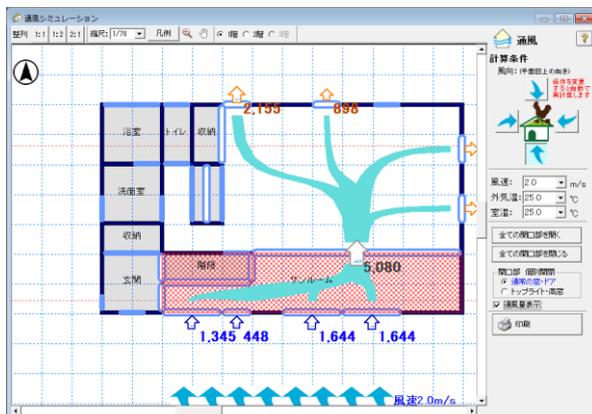
■概要

- 開口の開け閉めによる、建物内の通気性（風通しの良さ）を検討できます。建物外部の風速、風向き、外気温や室温、開口の開閉状況等の条件をもとに、換気量を計算し図面上に表示します。
- 開口部は任意に開閉できます。



2F

個別の窓の開閉を設定してシミュレーション





8. 印刷



■概要

• 「間取り図」「立面図」「3Dビュー（水平投影）」
「3Dビュー（外観パース）」を印刷、または、
PDF出力できます。
さらに、DXFの出力も可能です。

• 印刷対象はそれぞれチェックボックスで
選択します。



■ユーザーサポート

お問い合わせ先：ホームズ君サポートセンター

サービス時間：【平日】 10:00～12:00、13:00～17:00

メールアドレス：homes-support@integral.co.jp

電話番号：050-3104-6477

FAX番号：029-850-3334

※お問い合わせ前に、サポートページ(<https://www.homeskun-f.com/support/>)、
ホームズ君FAQ(<https://faq.homeskun.jp/>) もご参照ください。

■ホームズ君マイページ (<https://mypage.homeskun.jp/auth/login>)

▼ホームズ君シリーズのユーザー様全員が利用可能です。

▼できること

- ・お客様の登録情報の確認、変更
- ・ホームズ君シリーズの購入履歴・シリアル番号の確認
- ・最新の更新プログラムの確認およびダウンロード※
- ・「ホームズ君すまいの安心フォーラム」会員専用コンテンツの閲覧※
※「ホームズ君すまいの安心フォーラム」へのご入会が必要です。
(年会費¥40,000【税別】)

住宅性能診断士ホームズ君「すまいのかんたんプレゼン」
操作マニュアル

2019年 5月20日 初版発行

2025年 2月 7日 第19版発行

著作/発行 株式会社インテグラル

茨城県つくば市学園南2丁目7番地

TEL:029-850-3331

FAX:029-850-3334

<https://www.integral.co.jp/>

無断転載を禁ず